

第6次総合計画（前期基本計画）指標 令和6年度実績報告書

1 目的

第6次総合計画（前期基本計画）において、各施策目的に設定した指標についての令和6年度実績を把握するとともに、成果や課題と方向性を整理することにより、今後の計画推進に役立てるものです。

2 結果

各課から報告された令和6年度実績結果を取りまとめました。指標の目標値に対する結果は次表のとおりです。

(1) 指標達成率 33.9% (前年度比 △8.1ポイント)

※ 指標進捗率がA・B（80%以上）となった割合

基本目的	全指標数	令和6年度							(参考) 令和5年度
		対象指標数	A	B	C	D	一	指標達成率(A・B)	
I 安全と環境 危機対応能力が高く 良好的な生活環境で暮らせる 安全安心なまち	19	19	4	1	3	11	0	26.3%	35.7%
II 福祉と健康 地域で支え合い 生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち	29	28	5	0	3	20	1	17.9%	26.3%
III 子育てと学び 育てる幸せを感じ 生涯にわたり互いに学び続ける 家庭と文化を築くまち	23	23	8	0	4	11	0	34.8%	36.8%
IV 経済と都市 都市と自然が調和し 人と産業が躍動する 魅力あるまち	41	38	13	2	3	20	3	39.5%	42.9%
V 行政経営 公民連携を推進し 地域経営の視点を持つ 持続可能なまち	13	13	7	1	1	4	0	61.5%	100.0%
計	125	121	37	4	14	66	4	33.9%	42.0%

※ 調査の対象年度でないものはー（ハイフン）としました。

※ 全指標数には、「基本目的V No.118」を含んでいません。

(2) 実績に対する分析

① 指標について

各指標は、令和元年度時点の数値（現状値）及び令和7年度時点の数値（目標値）を設定し、原則毎年度報告される実績値によって、総合計画が着実に実施されているか進捗状況を測定するものです。

第五次総合計画においては、指標は今後の目標として方向性を設定したものでし

たが、第6次総合計画においては、指標に現状値と具体的な目標値を設定して進捗状況を管理することとしています。なお、毎年度の評価については、現状値と目標値から案分した年次目標値を設定し、年次目標値に対する実績値の進捗状況を評価します。

※ ただし、指標の性質上、特定の年度にのみ目標値を設定しているものや、規則的な案分値でない目標値もあります（各所管課において年次目標値の考え方がある場合など）。

② 評価方法

第6次総合計画前期基本計画における125指標中、出典元となる統計調査等の集計年次でなかった4指標を除く、計121指標について評価を実施しました。

評価に当たっては、まず次のいずれかの計算式により各指標の進捗率を算出しました。

$$\left. \begin{array}{l} \text{ア} \ (実績値 - 現状値) / (年次目標値 - 現状値) \\ \text{イ} \ 实績値 / 年次目標値 \ (\text{※指標が計画期間5か年の累計値の場合}) \end{array} \right\}$$

次に、上記の計算式によって得られた進捗率について、以下のとおり4段階の評価を行いました。

$$\left. \begin{array}{ll} 100\% \text{以上の進捗率} & \text{A} \\ 80\% \text{以上} \sim 100\% \text{未満の進捗率} & \text{B} \\ 50\% \text{以上} \sim 80\% \text{未満の進捗率} & \text{C} \\ 50\% \text{未満の進捗率} & \text{D} \end{array} \right\}$$

さらに、A・B判定については現状値から順調に推移したものとして判断し、「達成」として取り扱いました。基本目的ごとに「達成」となった指標の個数を数え、達成率を算出しています。

※ 各分野における全指標の進捗率を平均し、分野別の進捗状況をA～Dの4段階で評価しています。

③ 全体分析

- 全体の指標達成率が33.9%と、前年度に比べ8.1ポイント減少しています。基本目的I～Vのいずれにおいても前年度に比べ指標達成率が減少しており、その要因の1つとして、前年度は未実施として評価に含まれていない、第6次総合計画（後期基本計画）の策定にあたり令和6年度に実施した市民アンケート結果（満足度）が思わしくなかったことが挙げられます（市民アンケート33指標のうち24指標がD判定）。
- 達成率の水準が相対的に高い基本目的は、V行政経営「公民連携を推進し 地域経営の視点を持つ 持続可能なまち」で、61.5%（前年度比△38.5ポイント）でした。

- ・達成率の水準が相対的に低い基本目的は、Ⅱ福祉と健康「地域で支え合い 生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち」で、17.9%（前年度比△8.4ポイント）で、対象指標数28のうち6割以上がD判定となっています。
- ・また、前年度と比較して評価が向上した指標が比較的多く見られたのは、基本目的Ⅳ 経済と都市「都市と自然が調和し 人と産業が躍動する 魅力あるまち」で、「商店店舗診断数」や「交通事故発生件数」などがA・B判定へと移行しました。
- ・一方で、基本目的Ⅰ 安全と環境「危機対応能力が高く 良好的な生活環境で暮らせる 安全安心なまち」においては、前年度と比べて評価が悪化した指標が見受けられ、「準用河川及び幹線排水路の整備率」や「刑法犯認知件数」などがD判定となりました。

④ 個別分析

基本目的Ⅰ 安全と環境

「危機対応能力が高く 良好的な生活環境で暮らせる 安全安心なまち」

【該当分野】防災、防犯、自然環境、ごみ・資源（4分野）

【指標達成率】26.3%（前年度比△9.4ポイント）

- ・基本目的Ⅰにおいては、対象指標数19のうち約6割がD判定となっており、分野別進捗状況がD判定の分野としては、「防災」分野及び「防犯」分野が挙げられます。
- ・「防災」分野では7指標中6指標がD判定となっており、行政区による自主防災組織設置の動機付けを行うほか、関係者との調整を図りながら雨水きよの整備を計画的に進めていくことなどが必要となっています。
- ・また、「防犯」分野では3指標すべてがD判定となっており、関係機関等と連携して啓発活動や情報提供、相談事業等に努める必要があります。
- ・一方で、分野別進捗状況が比較的良好な分野としては、B判定の「ごみ・資源」分野が挙げられ、「ごみ処理・リサイクル（収集・処理、再利用など）の充実度」に関する市民アンケート結果が目標値を達成していることから、ごみ収集体制の整備や分別への理解促進が進んでいるものと考えられます。

【A判定の指標（主なもの）】

- 災害（風水害、地震、土砂災害、火災など）の対策の満足度
- 環境にやさしい暮らしを実践している市民の割合
- ごみ処理・リサイクル（収集・処理、再利用など）の充実度の満足度

【D判定の指標（主なもの）】

- 公共下水道雨水きよの整備率
- 建物火災の平均鎮圧時間
- 刑法犯認知件数

基本目的Ⅱ 福祉と健康

「地域で支え合い 生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち」

【該当分野】地域福祉、高齢者、障がい、社会保障、健康、医療（6分野）

【指標達成率】17.9%（前年度比△8.4ポイント）

- ・ 基本目的Ⅱにおいては、5つの基本目的の中で最も達成率が低い結果となりました。
- ・ 対象指標数25のうち6割以上がD判定となっており、分野別進捗状況がD判定の分野としては、「高齢者」分野及び「社会保障」分野が挙げられます。
- ・ 「高齢者」分野では4指標すべてがD判定となっており、社会福祉協議会との連携強化や、会員の高齢化により休止する通いの場の増加などが課題となっています。
- ・ 「社会保障」分野では3指標すべてがD判定となっており、ひとり親家庭への相談及び経済的支援の実施、制度の周知などに努める必要があります。
- ・ 一方で、分野別進捗状況がA判定の分野としては、「障がい」分野、「医療」分野が挙げられます。
- ・ 「障がい」分野では、障がい福祉サービスの利用者数が増加傾向にある中、相談支援専門員を増員するなど体制整備に努めました。
- ・ 「医療」に関する分野では、救急救命士の資格を有した職員の採用などにより、有資格者数が前年度からさらに増加しました。しかしながら、有資格者の割合は増加傾向にあるものの、経験が乏しいことから、現役消防職員による養成・教育の強化が課題となっています。

【A判定の指標（主なもの）】

- 民生委員・児童委員相談支援件数
- 健康づくりグループ活動人数
- 救急救命士の有資格数

【D判定の指標（主なもの）】

- 福祉ボランティア登録者数
- 認知症初期集中支援推進事業件数
- 大腸がん検診受診率

基本目的Ⅲ 子育てと学び

「育てる幸せを感じ 生涯にわたり互いに学び続ける 家庭と文化を築くまち」

【該当分野】子育て、学校教育、青少年、生涯学習、文化、スポーツ（6分野）

【指標達成率】34.8%（前年度比△2.0ポイント）

- ・ 基本目的Ⅲにおいては、対象指標数23のうち約半数がD判定となっています。
- ・ 分野別進捗状況がD判定の分野としては、「生涯学習」分野が挙げられ、5指標中3指標D判定となっています。ふるさとづくり出前講座のメニュー充実と認知度向上を図るほか、図書館利用者の様々なニーズに対応するため蔵書の充実

に努めることなどが求められています。

- ・一方で、分野別進捗状況がA判定の分野としては、「子育て」分野及び「青少年」分野が挙げられます。
- ・「子育て」分野では、妊婦家庭訪問率、乳幼児健康診査受診率が非常に高い水準となっています。特に、乳幼児健康診査受診率については、未受診者に対して積極的に受診勧奨を行った成果が表れていると考えられます。
- ・「青少年」分野では、全公民館合同での少年少女教室を開催するなどしたことでの目標値を大幅に達成することが出来ています。

【A判定の指標（主なもの）】

- 妊婦家庭訪問率
- 乳幼児健康診査受診率
- 向井千秋記念子ども科学館利用者数
- 公民館で開催する少年少女教室の参加者数

【D判定の指標（主なもの）】

- 地域子育て支援センター利用登録率
- ふるさとづくり出前講座件数
- 各種スポーツ教室への参加者数

基本目的IV 経済と都市

「都市と自然が調和し 人と産業が躍動する 魅力あるまち」

【該当分野】産業、商業、労働環境、農業、観光、まちのにぎわい、土地利用、道路・交通、居住環境、公園・緑地（10分野）

【指標達成率】39.5%（前年度比△3.4ポイント）

- ・基本目的IVにおいては、対象指標数38のうち半数がD判定となっており、分野別進捗状況がD判定の分野としては、「労働環境」分野、「農業」分野及び「観光」分野が挙げられます。
- ・「労働環境」分野では、3指標中1指標がD判定となっており、館林邑楽地域内への高校生の就職が減少していることなどから、待遇改善等により企業の魅力向上や情報発信の必要性に関する企業への働きかけを推進することが求められます。
- ・「農業」分野では、5指標中4指標がD判定となっており、農業従事者の高齢化や後継者不足による、遊休農地や耕作放棄地の増加などが課題となっています。
- ・「観光」分野では、4指標すべてD判定となっています。H o t e l K O M O R I N Uのオープンなどにより、前年度に比べて観光入込数は増加しているものの、各指標とも未だ目標値とは乖離が大きい状況です。観光イベントのブランディングや、群馬県等と連携したつつじまつりのPRなど、今後さらなる改善のための取組が求められています。

- 一方で、分野別進捗状況がA判定の分野としては、「産業」分野、「まちのにぎわい」分野、「道路・交通」分野、「居住環境」分野が挙げられます。
- 「産業」分野では、従業員1人当たりの付加価値額及び製造品出荷額等が前年度から大幅に増加しました。
- 「まちのにぎわい」分野では、空き家バンク登録物件及び遊休不動産の利活用件数が前年度から増加しました。
- 「道路・交通」分野では、関係機関・団体等と連携した交通安全運動等により交通事故発生件数が前年度より減少したほか、継続的に整備している路線の完成と、民間開発行為による道路の市への帰属により、市道の整備率も上昇しました。
- 「居住環境」分野では、空き家の利活用や区画整理が進んだことにより、全体として進捗率が非常に高い水準となりました。

【A判定の指標（主なもの）】

- 遊休不動産の利活用件数
- 担い手の農地利用集積状況
- 空き家バンク登録物件利活用件数
- 交通事故発生件数

【D判定の指標（主なもの）】

- 農業産出額
- 荒廃農地面積
- つつじまつり外国人訪問者数
- 観光ボランティアガイドの登録者数

基本目的V 行政経営

「公民連携を推進し 地域経営の視点を持つ 持続可能なまち」

【該当分野】市民協働、人権の尊重、行政活動、情報の共有（4分野）

【指標達成率】61.5%（前年度比△38.5ポイント）

- 基本目的Vにおいては、対象指標数13の半数以上がA判定と、5つの基本目的の中で最も高い結果となりました。
- 分野別進捗状況については、4分野すべてがA判定又はB判定であり、A判定となった分野としては、「市民協働」分野、「人権の尊重」分野が挙げられます。
- 「市民協働」分野では、ボランティアに関する問い合わせが増加しており、社会貢献意識が向上しているとともに、地域活動への関心も拡大していると考えられます。
- 「人権の尊重」分野では、日本語教室や国際交流まつりの実施に加え、70周年歓迎事業や公開セミナーも実施したことで、国際交流関係事業の参加者数が目標値を大きく上回りました。事業を通して文化の違いを学ぶ機会が増え、多文化共生社会の実現への一助となっています。

- 一方で、行政活動に関する分野で指標に設定されている「第6次総合計画指標達成率」の進捗率は、33.9%と低い水準になっています。

【A判定の指標（主なもの）】

- 国際交流関係事業の参加者数
- 資金運用の総合計額
- ホームページへのアクセス数
- SNSのフォロワー数

【D判定の指標（主なもの）】

- 第6次総合計画指標達成率

3 今後の予定及び対応

指標の目標を達成できなかった事業につきましては、施策の見直しを行うなどの改善を行い、各指標の目標達成に向けて取り組みます。また、目標を達成した事業につきましても、成果の更なる拡大に努めます。

第6次総合計画前期基本計画 指標 令和6年度実績一覧

部会	基本目的	分野	No.	指標の名称	出典元	単位	現状値 (令和元年度)	目標値 (R7年度)	令和6年度	目標値 (R6年度)	進捗率	達成状況 (A~D)	分野別 平均 進捗率	分野別 達成状況 (A~D)	成果	課題・方向性	担当課	
									実績値									
I 危機対応能力が高く 良好的な生活環境で暮らせる 安全安心なまち																		
防災	防災	1	自主防災組織の組織率	課データ	%	92.4	100	93.9	98.5	24%	D	50%	D	自主防災組織が未設立の行政区に対し、自主防災組織の有用性について説明した。	各地区において自主的な防災活動が行われるよう、地区防災計画策定の支援を行うことなどにより、行政区による自主防災組織設置の動機づけをし、設置率の向上に努めていく。	安全安心課		
		2	準用河川及び幹線排水路の整備率	幹線排水路整備率一覧表	%	78.4	78.8	78.5	78.7	33%	D			宮田2号幹線排水路の調整池掘削及び茂林寺川の浚渫工事を実施した。	既設排水路の流下断面を阻害している堆積土砂の浚渫を計画的に進める。	道路河川課		
		3	公共下水道雨水きよの整備率	課データ	%	74.4	75.6	71.3	75.4	0%	D			令和6年度は富士西幹線の整備を進め、整備率は上昇した(企業会計移行に伴い実施した固定資産整理により雨水きよ延長が修正されたため、実績値は現状値より減少している)。	関係者と事業の調整を図りながら、雨水きよの整備を計画的に進めていく。	下水道課		
		4	建物火災の平均鎮圧時間	消防組合指令課データ	分	33	30	48	31	0%	D			前年度と比較し7分の増加となり、目標達成には至らなかった。	令和7年度目標値30分を目指し、指令課の覚知から出場指令まで1分で消防隊を出動させ、速やかに現場到着し、8分以内に放水を開始させることを目標としている。	館林地区消防組合		
		5	救急事案の平均病院到着時間	救急統計データ	分	39 (H30年)	37 (R7年)	38.2	37	47%	D			救急出動件数は過去最多を更新し、管轄する出動区域以外の出動、管外医療機関(県外を含む)の搬送も多いことから、搬送時間の延長に繋がっている。搬送時間の短縮には救急隊の増強が必要である。	救急出動件数は過去最多を更新し、管轄する出動区域以外の出動、管外医療機関(県外を含む)の搬送も多いことから、搬送時間の延長に繋がっている。搬送時間の短縮には救急隊の増強が必要である。	館林地区消防組合		
		6	住宅用火災警報器の設置率	総務省消防庁データ	%	50 (H30年)	100 (R7年)	70	93	47%	D			前年度と比較して1ポイント減となり、目標達成には至らなかった。	量販店等でPRしているものの、火災警報器を購入する世帯は少ない。特に高齢者世帯においては、設置率を上昇させるために配布から設置までを行政でサポートする必要がある。	館林地区消防組合		
		7	【市民アンケート】災害(風水害、地震、土砂災害、火災など)の対策の満足度	市民アンケート調査結果	%	31.0	37.0	40.8	36.0	196%	A			前回調査時と比較して満足度が9.8ポイント增加了。	-	企画課		
安全・環境	防犯	8	刑法犯認知件数	館林警察署(群馬県警)	件	602 (R元年)	520 (R7年)	607	536	0%	D	7%	D	行政区による自主防犯パトロール等の防犯活動を支援するとともに、関係機関と連携を図り、犯罪や事故の未然防止に努めた。	行政区や関係機関と連携し、様々な場面での啓発や情報提供に努め、犯罪の減少を図っていく。	安全安心課		
		9	消費生活センター出前講座回数	消費生活センター事業概要	回	17	20	10	19	0%	D			前年度の実施回数と同様の10回であり、目標には届かなかったが、出前講座は効果的な消費者教育の場となっており、参加者から高い満足度が示されている。	手口が巧妙化する消費者トラブルや特殊詐欺が増えている中、被害を未然に防ぐため、出前講座の実施や資料の配布等での啓発活動や相談業務を強化することで、市民生活の安全性の確保に努める必要がある。 成年年齢引下げによる社会経験の浅い若年層の啓発を進めていくため、小中学校長会議の際に、出前講座の広報活動を行い、実施回数を増やしていく。 また、高齢者の不安(健康・お金・孤独)をあおる消費生活のトラブルが今後も増えていくことが懸念されるため、通いの場に出向いての啓発を進めしていく。	共生社会推進課		
		10	【市民アンケート】防犯(犯罪からの安全、パトロール)の対策の満足度	市民アンケート調査結果	%	27.1	33.1	28.2	32.1	22%	D			前回調査時と比較して満足度が1.1ポイント增加了。	-	企画課		
自然環境	自然環境	11	下水道水洗化率	課データ	%	89.6	91.4	92.0	91.1	160%	A	70%	C	計画的な汚水管整備と下水道の利用促進により、水洗化率が上昇した。	今後も計画的に汚水管整備を進め、下水道の利用促進を実施していく。	下水道課		
		12	BOD数値(城沼中央の水質)	課データ	mg/l	8.3	5.0以下	6.9	5.6	51%	C			前年度実績より改善がみられる。合併処理浄化槽への転換や公共下水道の普及が進み生活排水由来の汚染は減っていると考えられるが、目標達成には至っていない。	合併処理浄化槽への転換の更なる促進と、県や関係機関と連携して対策の検討を進める。	地球環境課		
		13	汚水処理率	地球環境課データ 県下水環境課データ	%	79.3	89.2	84.6	87.6	64%	C			前年度の実績値から微増しており、合併処理浄化槽への転換や公共下水道への接続が増えたものと考える。	合併処理浄化槽への転換の啓発活動を継続して推進していく。	地球環境課		
		14	環境にやさしい暮らしを実践している市民の割合	環境アンケート調査による	%	93.6	96.8	97.6	96.4	143%	A			前年度の実績を下回ったが、目標値は達成できた。	引き続き多くの市民に環境にやさしい暮らしを実践してもらえるようさらに啓発を推進していく。	地球環境課		
		15	【市民アンケート】自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全の満足度	市民アンケート調査結果	%	60.6 (H30年度)	66.6	59.5	65.6	0%	D			前回調査時と比較して満足度が1.1ポイント減少了。	-	企画課		
		16	【市民アンケート】下水道(生活排水処理、合併処理浄化槽など)の整備の満足度	市民アンケート調査結果	%	48.1	54.1	45.7	53.1	0%	D			前回調査時と比較して満足度が2.4ポイント減少了。	-	企画課		

第6次総合計画前期基本計画 指標 令和6年度実績一覧

部会	基本目的	分野	No.	指標の名称	出典元	単位	現状値 (令和元年度)	目標値 (R7年度)	令和6年度	目標値 (R6年度)	進捗率	達成状況 (A~D)	分野別 平均 進捗率	分野別 達成状況 (A~D)	成果	課題・方向性	担当課
									実績値								
ごみ・資源	ごみ・資源	ごみ・資源	17	1人1日当たりのごみ排出量	課データ	g/人・日	944	896	916	909	80%	B	80%	B	目標値は達成できなかった。また、前年度実績(912g)より微増した。	生ごみの水切りや堆肥化、食品ロスの啓発となる「3010」運動の周知のほか、出前講座、館林市公式LINE等による3Rの啓発を推進していく。	地球環境課
			18	リサイクル率	課データ	%	20.8	21.0	17.3	20.3	54%	C			目標値は達成できなかった。また、前年度実績(18.3%)も下回った。	出前講座、館林市公式LINE等による周知、啓発を実施し、引き続き分別の徹底を推進していく。	地球環境課
			19	【市民アンケート】ごみ処理・リサイクル(収集・処理、再利用など)の充実度の満足度	市民アンケート調査結果	%	49.4	55.4	54.7	54.4	106%	A			前回調査時と比較して満足度が5.3ポイント增加了。	-	企画課
II 地域で支え合い 生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち																	
地域福祉	地域福祉	地域福祉	20	福祉ボランティア登録者数	市民生活と福祉	人	461	556	157	539	0%	D	53%	C	登録団体構成員の高齢化が進み、目標値に届かない状況となっている。	ボランティア団体の高齢化が顕著であり、新たな担い手の育成が課題である。	社会福祉課
			21	福祉NPO法人数	市民生活と福祉	法人	15	15	10	15	67%	C			法人の活動停止等により法人数が減少した。	館林市社会福祉協議会のNPO法人連絡協議会との連携を強化していく。	社会福祉課
			22	民生委員・児童委員相談支援件数	福祉行政報告例	件	1,619	1,660	1,668	1,653	144%	A			適切に相談支援活動を実施している。	民生委員児童委員活動が、適切に実施できるよう、支援を行っていく。	社会福祉課
			23	生活保護受給世帯から自立した世帯数	被保護者調査	世帯	19	19	8	19	42%	D			生活保護受給者に対して就労支援等を行ったが、自立することができた人は前年度より減少しした。	生活保護受給者の高齢化が進み、稼働年齢層は減少傾向にある。ハローワークと連携した就労支援などにより、適切な支援を継続していく。	社会福祉課
			24	【市民アンケート】地域福祉(近隣での見守り・助け合い・社会参加など)の対策の満足度	市民アンケート調査結果	%	26.0	32.0	26.7	31.0	14%	D			前回調査時と比較して満足度が0.7ポイント增加了。	-	企画課
高齢者	高齢者	高齢者	25	コミュニティサロンの件数	課データ	件	39	45	39	44	0%	D	9%	D	休会となるサロンがある一方、新規立ち上げの動きもみられ、前年度よりも件数は増加した。	参加者の高齢化、運営役員の不足などにより活動の継続が困難なサロンがある。サロンの運営支援を行う館林市社会福祉協議会への支援を継続する。	高齢障がい政策課
			26	通いの場の件数	課データ	件	32	60	40	55	35%	D			新規6団体が立ち上がり合計40団体となった。	会員の高齢化により休止する団体が増えるなか、新規団体の立ち上げや、新たに参加する高齢者を増やしていく必要がある。	介護保険課
			27	認知症初期集中支援推進事業件数	課データ	件	8	13	2	12	0%	D			地域包括支援センターと連携し、チームアプローチでの支援が必要な困難ケース2件を初期集中支援に繋げることができた。	市内にある認知症疾患医療センターとの連携を強化していく。	介護保険課
			28	【市民アンケート】高齢者(福祉・介護サービス、社会参加など)の対策の満足度	市民アンケート調査結果	%	25.2	31.2	22.4	30.2	0%	D			前回調査時と比較して満足度が2.8ポイント減少しした。	-	企画課
障がい	障がい	障がい	29	相談支援専門員数	課データ	人	13	20	21	19	133%	A	133%	A	前年度から増員し、目標値を達成することができた。今後も維持できるよう支援等を継続する。	障がい福祉サービス利用者数は増加傾向にあるため、相談支援専門員の確保については引き続き課題である。各事業所への働きかけを続けていく。	高齢障がい政策課
			30	障がい福祉サービスの満足度	課データ	%	48.2 (H28年度)	60.0	-	58.0	-	-			-	-	高齢障がい政策課
社会保障	社会保障	社会保障	31	児童扶養手当受給者のうち自立支援のための能力開発及び資格取得のための各種支援事業を活用している人数	課データ	人	10	12	0	12	0%	D	3%	D	能力開発及び資格取得を目指すひとり親家庭へ、児童扶養手当現況届受付時等に自立支援のための各種制度周知に努めた。各種支援事業に関する相談はあったが、事業活用には至らなかつた。	ひとり親家庭の職業能力の開発又は資格取得を促進するため、相談及び経済的支援をする。自立支援制度が複雑になっているが、取得できる資格の幅は広がっており、資格取得を目指す人を取りこぼさないよう、制度の周知に努め、制度の活用促進を図る。	子育て支援課
			32	特定健診の受診率(国民健康保険)	課データ	%	37.8	60.0	39.7	56.3	10%	D			前年度より0.6ポイント增加了。	個別健診と集団健診の実施体制を維持し、がん検診等と同時受診できる機会を引き続き提供し、受診しやすい環境を整えていく。	健康推進課
			33	【市民アンケート】社会保障(国民健康保険、年金、生活困窮者、母子・父子家庭など)の対策の満足度	市民アンケート調査結果	%	19.2	25.2	19.2	24.2	0%	D			前回調査時から満足度の増減はなかった。	-	企画課

第6次総合計画前期基本計画 指標 令和6年度実績一覧

部会	基本目的	分野	No.	指標の名称	出典元	単位	現状値 (令和元年度)	目標値 (R7年度)	令和6年度	目標値 (R6年度)	進捗率	達成状況 (A~D)	分野別 平均 進捗率	分野別 達成状況 (A~D)	成果	課題・方向性	担当課
									実績値								
福祉・健康	健康	C	34	健康づくりグループ活動団体数	課データ	団体	17	21	15	20	0%	D	57%	C	昨年度と団体数の変化はなかった。	当初から比較すると団体数は減少傾向にある。各地域で活動している団体を登録へ促すなど呼びかけを行っていく。	健康推進課
			35	健康づくりグループ活動人数	課データ	人	324	390	502	379	324%	A			前年度に比べ34人増加した。	活動人数は増加傾向にある。健康づくりグループの周知を継続して行っていく。	健康推進課
			36	大腸がん検診受診率	地域保健・健康増進事業報告	%	6.9	40.0	6.5	34.7	0%	D			受診率は横ばいであり、前年度に比べ0.1ポイント減少した。	受診率はここ数年大きな変化なく推移している。引き続き未受診者への受診勧奨を行っていく。	健康推進課
			37	子宮頸がん検診受診率	地域保健・健康増進事業報告	%	18.5	50.0	19.1	43.6	2%	D			ショッピングモール検診等女性の受診機会を確保するよう努め、前年度より0.6ポイント増加した。	若年者が受けやすいような受診機会の提供を整えていく。	健康推進課
			38	乳がん検診受診率	地域保健・健康増進事業報告	%	20.1	50.0	19.8	43.2	0%	D			ショッピングモール検診等女性の受診機会を確保するよう努め、前年度より0.9ポイント増加した。	乳がんの好発年齢層に対して受診勧奨を行うとともに、女性が受けやすい環境を整えていく。	健康推進課
		A	39	生活習慣病予防健康診査のうち、要指導、要医療者の割合	課データ	%	78.3	71.1	77.1	72.3	20%	D	101%	A	要指導者50.9%、要医療者26.2%であり前年度より5.5ポイント減少した。	若年者に向けた生活習慣病予防のための情報の発信を引き続き行っていく。	健康推進課
			40	メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合	課データ	%	30.8	30.0	31.9	30.1	0%	D			前年度より0.5ポイント減少した	内臓脂肪の蓄積により高血圧や脂質異常症を発症し、循環器疾患等のリスクを高めることから周知啓発や健診結果説明会などの機会を設けていく。	健康推進課
			41	かかりつけ医所持率	市民健康づくりアンケート調査	%	69.9	73.0	68.7	72.5	0%	D			前回調査時と比較してかかりつけ医所持率は1.2ポイント減少した。	今後も、かかりつけ医・かかりつけ歯科医の重要性を啓発し、所持率の増加を図る。	健康推進課
			42	スポーツ実施率(週1回以上)	スポーツに関するアンケート調査	%	31.3	50.0	60.6	46.9	188%	A			スポーツ実施率は、スポーツ事業参加者及び公民館利用者等へのアンケートにより算出している。体力の保持増進や健康志向の高まりから各種スポーツ事業への参加意識の向上が見られ、仲間づくりやコミュニケーション形成など、市民それぞれの目的に応じ取り組んでおり、目標値に達することができた。	今後も、市民ニーズを取り入れた各種スポーツ体験教室や家族や団体で気軽に楽しめるレクリエーション事業等を実施するとともに、よりスポーツに取り組みやすい環境を整備し、実施率を向上させていく。	スポーツ振興課
			43	【市民アンケート】保健活動(健康診査、健康相談・教室、健康づくり活動など)の充実度の満足度	市民アンケート調査結果	%	40.8	46.8	42.8	45.8	40%	D			前回調査時と比較して満足度が2.0ポイント增加了した。	-	企画課
医療	医療	C	44	救急救命士の有資格数	館林地区消防組合	人	52	56	65	55	390%	A	57%	C	目標値を大きく上回った。	救急救命士の資格を有した職員の入職により、全職員に占める救急救命士の割合は増加傾向にあるが、経験に乏しいため、現役消防職員からの救急救命士養成を継続するとともに、教育に力を入れていく。	館林地区消防組合
			45	救命講習受講者数	館林地区消防組合	人	735 (R元年)	1,000 (R7年)	88	955	0%	D			当初の目標値を大きく下回る結果となった。	コロナ禍を経た集合教育の減少や働き方改革による講習会の制約が課題となるため、救命講習会と並行して、動画等のコンテンツ作成、HPやSNS等を活用した普及啓発を検討する必要がある。	館林地区消防組合
		A	46	館林市夜間急病診療所の認知度	市民健康づくりアンケート調査	%	92.6	95	90.7	94.6	0%	D	101%	A	認知度は前回調査時より1.9ポイント減少したが、引き続き高い状態である。	協力医の確保に努めつつ、地域住民の夜間急病患者に対し、応急的な診療を行い適切な医療を提供する。	健康推進課
			47	たてばやし健康ダイヤルの認知度	市民健康づくりアンケート調査	%	33.7	40	36.4	39.0	51%	C			前回調査時と比較して認知度が2.7ポイント增加了した。	今後も、お医者さんマップやホームページ等に、たてばやし健康ダイヤルの情報を掲載して、認知度を上げていく。	健康推進課

第6次総合計画前期基本計画 指標 令和6年度実績一覧

部会	基本目的	分野	No.	指標の名称	出典元	単位	現状値 (令和元年度)	目標値 (R7年度)	令和6年度	目標値 (R6年度)	進捗率	達成状況 (A~D)	分野別 平均 進捗率	分野別 達成状況 (A~D)	成果	課題・方向性	担当課		
									実績値										
			48	【市民アンケート】医療体制(地域医療、休日医療など)の充実度の満足度	市民アンケート調査結果	%	24.9	30.9	28.2	29.9	66%	C			前回調査時と比較して満足度が3.3ポイント增加了。	-	企画課		
III 育てる喜びと 生涯にわたり学び続ける 家庭と文化を築くまち																			
子育て	子育て	49	妊婦家庭訪問率	課データ	%	90.4	93.4	96.2	92.9	232%	A				妊婦中の体調不良による入院等により、妊婦訪問の未実施者が14名おり、前年度に比べ実施率は0.7ポイント低下した。しかしながら、年度目標(92.9%)及び令和7年度目標値は達成することができた。	今後も妊婦届出時の面談で、既往歴や前回出産時の様子、里帰り時期等を丁寧に聞き取り、必要に応じて早期介入及び継続的な支援を行うことで、妊娠期の家庭訪問による支援を継続して行っていく。	健康推進課		
		50	乳幼児健康診査受診率	課データ	%	98.3	98.5	99.3	98.5	500%	A				未受診者に対し、積極的な受診勧奨を行ったため、受診率は前年度と比較し大きく上昇し、目標を達成することができた。	子どもの発育・発達の確認や保護者支援の観点から、健康診査を受けることは非常に重要であることから、健診事後フォローと合わせ、未受診者の対応を丁寧に行い、乳幼児健診の高い受診率の維持を目指す。	健康推進課		
		51	地域子育て支援センター利用登録率	課データ	%	79.4	85.0	71.5	84.1	0%	D				利用者同士の交流の場を提供することで子育てに関する不安や悩みを解消する環境づくりに貢献できた。	引き続き利用者が地域の方々と交流できる場を提供するとともに、寄り添った支援を行う。	こども課		
		52	保育施設等の入所率	課データ	%	96.3	97.0	90.7	96.9	0%	D				令和7年度開園に向けた認定こども園化を1施設進めるとともに、公立偏重とならないよう定員管理を進めることで、入所率を上昇させることができた。	保育施設2園の民営化の進捗を踏まえながら適切な定員管理を行い、引き続き保護者のニーズに合わせた入所決定を行う。	こども課		
		53	【市民アンケート】子育て環境(保育施設、相談、交流の場など)の充実度の満足度	市民アンケート調査結果	%	30.1	36.1	26.8	35.1	0%	D				前回調査時と比較して満足度が3.3ポイント減少した。	-	企画課		
	学校教育	54	標準学力テストで全国平均を上回る学校数	図書文化社	校	小学校 11 中学校 3	小学校 11 中学校 5	小学校 10 中学校 0	小学校 11 中学校 5	45%	D				実績値は、小学校・中学校において令和元年に比べて下がっている。しかし、市内全体の結果を見ると、小学校では4、5、6年生の国語・算数の正答率が全国平均を上回った。中学校では、2年の英語で全国平均を上回った。	学校間の学力の差や教員の授業力の差が課題であると考える。今後も、学校訪問での指導等を通して、学習指導要領に基づいた授業改善や「指導と評価の一体化」について具体的に継続して指導していく。	学校教育課		
		55	新体力テストで全国平均を上回る学校数	文部科学省	校	小学校 男子6 女子5 中学校 男子2 女子3	小学校 男子11 女子11 中学校 男子5 女子5	小学校 男子 6 女子 4 中学校 男子 4 女子 1	小学校 男子 11 女子 10 中学校 男子 4 女子 5	25%	D				令和元年度と比較すると、全国平均を上回った校数は、小学校では男子が同数の6校、女子が1校減少の4校、中学校では男子が2校増加の4校、女子が2校減少の1校であった。	全国的に児童生徒の体力低下は否めないが、市小中学校は組織的な体力向上の取組により、中学女子以外は大きく数値を落とさず維持することができた。今後は、生涯スポーツの視点から「体育の授業では、進んで学習に参加している」ことについて指導し、評価していく。	学校教育課		
		56	小中学生の豊かな心の育成の達成度	課データ	校	小学校 3 中学校 2	小学校 11 中学校 5	小学校 9 中学校 4	小学校 9 中学校 4	100%	A				各校の学校評価「豊かな心の育成」の評価は、小学校では2校がB評価で、中学校では1校がC評価であった。全小中学校において、学校が先導役になり、保護者・地域と連携し細かな指導を行ったことで児童生徒の豊かな心の醸成が図られたと考える。	市内全校コミュニティ・スクールにより、学校と地域が一体となって、地域の教育力を生かし、様々な人たちとの体験活動や交流活動などを通して、あいさつの励行や温かな人間関係づくり、自己有用感の向上を図ることができた。引き続き、地域の教育力を生かした教育活動を推進していく。	学校教育課		
		学校における教育の情報化		文部科学省	-	全国平均を上回った指標数	5	全国平均を上回る指標数	6	全国平均を上回った指標数	6	全国平均を上回る指標数	6	100%	A				
		教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数			市(全国)		人/台	5.7(5.4) (H30年度)	市(全国)										
		普通教室の無線LAN整備率			%		0(41.0) (H30年度)	100 (99.3)											
		インターネット接続率			%		100(93.9) (H30年度)	100 (-)											
		普通教室の大型掲示装置整備率			%		61.6(52.2) (H30年度)	100 (91.0)											
		統合型校務支援システム整備率			%		100(57.5) (H30年度)	100 (94.8)											
		教員のICT活用指導力			%		82.9(69.7) (H30年度)	90.7 (86.3)											
子育て・学び	青少年	58	放課後子ども教室開設数	課データ	箇所	1	6	4	5	75%	C				地域学校協働活動の一つである放課後子ども教室を多数の地域住民の参画のもと3学校区においてモデル事業として実施することができた。	地域の公民館を中心とし、地域で活躍する人材発掘を行うと同時に地域住民の参画を得て、学校を核とした地域づくりに努める。	生涯学習課		
		59	公民館で開催する少年少女教室の参加者数	課データ	人	1,697	2,000	2,080	1,950	152%	A				全公民館合同での少年少女教室を開催するなど、令和7年度の目標値を達成することができた。	実績値を維持しつつ、内容の充実を図る。	生涯学習課		
		60	インターネット問題に関する講座への参加率	課データ	%	3.4	20.0	14.2	17.2	78%	C				青少年及び補導員会の共同開催にて、ネットパトロールの研究目的を含めた講演会を実施した。	青少年及び補導員を中心とし、青少年健全育成団体等に講座受講を促し、地域の児童・生徒又はその保護者などへインターネット問題について広く周知を図る。	生涯学習課		

第6次総合計画前期基本計画 指標 令和6年度実績一覧

部会	基本目的	分野	No.	指標の名称	出典元	単位	現状値 (令和元年度)	目標値 (R7年度)	令和6年度	目標値 (R6年度)	進捗率	達成状況 (A~D)	分野別 平均 進捗率	分野別 達成状況 (A~D)	成果	課題・方向性	担当課
									実績値								
生涯学習	生涯学習	生涯学習	61	ふるさとづくり出前講座件数	課データ	件	198	205	151	203	0%	D	49%	D	目標値には達していないが、必要とする市民の学習ニーズには対応することができた。	出前講座メニューの充実と認知度の向上を図り、本市並びに公共機関が推進する事業を市民へ周知啓発する機会の提供を継続する。	生涯学習課
			62	生涯学習ボランティア登録数	課データ	件	個人 90 企業・団体 7	個人100 企業・団体 10	個人 56 企業・団体 10	個人 99 企業・団体 10	60%	C			新型コロナウイルス感染症の影響により、個人登録数は減少したままだが、団体登録数は増加し、学習機会を提供することができた。	生涯学習社会の構築には、個人の学習成果を還元する場として、ボランティア講師の活動の場を広げていく必要がある。また、多様な学習ニーズに応えるため、様々な分野で活躍する個人や団体、企業など登録への働きかけをし、今後もより一層のボランティア講師の充実に努める。	生涯学習課
			63	向井千秋記念子ども科学館利用者数 (平均値)	課データ	人	入館者 62,812 観覧者 25,006 (H27~R元年度)	入館者 66,000 観覧者 27,000	入館者 65,458 観覧者 29,470	入館者 65,469 観覧者 26,668	185%	A			前年対比で入館者数は9.4%、プラネタリウムの観覧者数は3.6%増加している。入館に対するプラネタリウムの観覧率(観覧者数/入館者数)は45%であることから、プラネタリウムを目的に来館している方が多く、令和5年度より導入した「観覧券付入館券」(セット券)の効果が出ている。	現在、入館者に対する観覧者の割合は増加しているため、今後もこの水準を維持してリピーターを増やすことが重要である。また、新規の入館者・観覧者の獲得のため、引き続き広報活動に努める。	向井千秋記念 子ども科学館
			64	図書館資料延べ貸出点数	図書館	点	227,537	228,500	219,869	228,340	0%	D			コロナ前の数値には戻っていないが、貸出点数は、前年度の218,356点から0.7%の微増となつた。	資料収集方針に基づき、利用者の多様なニーズに対応できるよう蔵書の充実に努めるとともに、利用しやすい環境を整えていく。	図書館
			65	【市民アンケート】生涯学習活動(学習機会、公民館活動など)の充実度の満足度	市民アンケート調査結果	%	36.4	42.4	30.4	41.4	0%	D			前回調査時と比較して満足度が6.0ポイント減少した。	-	企画課
文化	文化	文化	66	芸術文化施設における市民1人当たり年間利用回数	課データ	回	2.5	2.5	1.37	2.5	55%	C	63%	C	目標値には届かなかったものの、イベント開催の増加傾向により文化会館・芸術ホールともに利用者数が増加した。	老朽化した施設の維持管理が課題であり、安全安心な施設の利用のため、施設の長寿命化を図っていく。	文化振興課
			67	歴史文化施設における市民1人当たり年間利用回数	課データ	回	0.3	0.3	0.4	0.3	133%	A			第一資料館及び田山花袋記念文学館において、魅力ある企画展・特別展を開催した結果、入館者数が増加した。また、文化財を活用したイベント「文化財ルネッサンス」の新規活用者を獲得したことで、第二資料館入館者増加につながった。	魅力ある良質な展示会は担当者のスキルに左右されがちなことから、安定・継続的な展示水準の維持が課題であり、今後も人材育成に努める必要がある。また、新規入館者獲得が課題であるが、市内にある県立や民間のミュージアム・見学施設との連携による共同イベント等を実施し、回遊性向上のみならず本市がもつ文化の特徴・特色を学習する機会の創出を図ることが重要である。	文化振興課
			68	【市民アンケート】文化活動(文化・芸術、伝統文化、地域活動など)の充実度の満足度	市民アンケート調査結果	%	30.5	36.5	28.4	35.5	0%	D			前回調査時と比較して満足度が2.1ポイント減少した。	-	企画課
スポーツ	スポーツ	スポーツ	69	スポーツ実施率(週1回以上)(再掲)	スポーツに関するアンケート調査	%	31.3	50.0	60.6	46.9	188%	A	75%	C	スポーツ実施率は、スポーツ事業参加者及び公民館利用者等へのアンケートにより算出している。体力の保持増進や健康志向の高まりから各種スポーツ事業への参加意識の向上が見られ、仲間づくりやコミュニケーション形成など、市民それぞれの目的に応じ取り組んでおり、目標値に達することができた。	今後も、市民ニーズを取り入れた各種スポーツ体験教室や家族や団体で気軽に楽しめるレクリエーション事業等を実施するとともに、よりスポーツに取り組みやすい環境を整備し、実施率を向上させていく。	スポーツ振興課
			70	各種スポーツ教室への参加者数	課データ	人	706	1,000	66	951	0%	D			市民がより参加しやすいよう、新種目の導入を図るなどの工夫を試みた。しかし、参加者が集まらず、目標値に達することができなかった。	市民が気軽にスポーツをする機会を設けて、運動習慣を身に着け、定着化が図れる事業の実施が必要である。	スポーツ振興課
			71	スポーツ施設に関する満足度	スポーツに関するアンケート調査	%	45.3	50.0	46.8	49.2	38%	D			施設の大半が建設後40年以上経過し、老朽化が進む各スポーツ施設であるが、定期的な点検を実施の上、改修や修繕を行うことで、利用者の安全性を確保することができた。	老朽化した施設の維持・改修のほか、熱中症対策やバリアフリー化など、年間を通して利用者が快適かつ安全にスポーツができる環境を整えていく必要がある。	スポーツ振興課

第6次総合計画前期基本計画 指標 令和6年度実績一覧

部会	基本目的	分野	No.	指標の名称	出典元	単位	現状値 (令和元年度)	目標値 (R7年度)	令和6年度	目標値 (R6年度)	進捗率	達成状況 (A~D)	分野別 平均 進捗率	分野別 達成状況 (A~D)	成果	課題・方向性	担当課	
									実績値									
IV 都市と自然が調和し 人と産業が躍動する 魅力あるまち																		
産業	産業	72	企業立地及び設備投資件数	工場立地動向調査 課データ	件	4	(累計)20	7	16	44%	D	9037%	A	国の先端設備導入計画策定に伴う固定資産税の特例により毎年一定数の設備投資が行われている。令和6年度2件、令和5年度4件、令和4年度1件	企業が立地するための用地の確保が課題。また、本市への立地、又は既存工場の拡張を望む企業ニーズの把握が必要。新規団地造成の動向も踏まえ、各種支援策の検討を進める。	商工課		
		73	従業員1人当たりの付加価値額	経済構造実態調査 (製造業事業所調査)	万円	1.194 (H30年度)	1,230	1,729	1,222	1911%	A			年度目標値(1,222万円)を上回るとともに、令和7年度目標値にも達している。	製造業では人手不足が深刻な課題となっている。現状を維持するためには生産性向上が必要であり、国や県などの支援メニューを斡旋して先端設備の投資を促進する。	商工課		
		74	製造品出荷額等	経済構造実態調査 (製造業事業所調査)	億円	2,842 (H30年度)	2,845	3,706	2,844	43200%	A			年度目標値(2,844億円)を上回るとともに、令和7年度目標値にも達している。	現状維持のため、引き続き地場産業(中小企業等)を支援し企業イノベーションや生産性向上を促進する。	商工課		
		75	【市民アンケート】企業誘致・起業(新規企業誘致、起業など)の振興の満足度	市民アンケート調査 結果	%	11.3	17.3	12.8	16.3	30%	D			前回調査時と比較して満足度が1.5ポイント增加了した。	—	企画課		
		76	【市民アンケート】商工業(経営改善、跡取り、担い手など)の振興の満足度	市民アンケート調査 結果	%	6.7	12.7	6.7	11.7	0%	D			前回調査時から満足度の増減はなかった。	—	企画課		
	商業	77	小売業・卸売業の1店舗当たりの年間商品販売額	経済センサス	百万円	337 (H28年度)	340	—	339	—	—	97%	B	—	—	商工課		
		78	商店店舗診断件数	課データ	件	2	(累計)15	11	12	92%	B			中小企業診断士が申込店舗の経営状況等診断を行い、経営継続に向けた課題の洗い出し・アドバイスを行った。	今後も継続的に診断事業を実施し、地域に根付くような店舗経営の実現に向けた支援を行う。	商工課		
		79	遊休不動産の利活用件数	課データ	件	2	(累計)15	15	12	125%	A			遊休不動産を改装し、新たに店舗とするなどして利活用を図った。	空き店舗等の遊休不動産を利活用される方に対して支援を行うことで、経済活動の活性化を図る。	商工課		
		80	【市民アンケート】買物(商店、スーパーなど)の便利さ、まちなかにぎわいの満足度	市民アンケート調査 結果	%	28.5	34.5	37.1	33.5	172%	A			前回調査時と比較して満足度が8.6ポイント增加了した。	—	企画課		
		81	【市民アンケート】商工業(経営改善、跡取り、担い手など)の振興の満足度(再掲)	市民アンケート調査 結果	%	6.7	12.7	6.7	11.7	0%	D			前回調査時から満足度の増減はなかった。	—	企画課		
労働環境	労働環境	82	企業ガイダンス参加者数	課データ	人	507 (H30年度)	(累計)2,500	1,088	2,000	54%	C	46%	D	西邑楽高校、関東学園大学附属高校、板倉高校、館林商工で出張ガイダンスを開催。延べ30社が学生330人に対して企業説明を行った。	進学率の向上により、館林邑楽地域内の高校生の就職が少なくなっている。事業の在り方について検討を進める。	商工課		
		83	UIターン支援奨励金の受給労働者数	課データ	人	46	(累計)200	134	160	84%	B			7社30名に奨励金を支給した。	少子化の影響で企業が人材確保することが非常に難しくなっている。また、近隣に比べ低賃金であることから、域外への労働力の流出も懸念される。待遇改善等による企業の魅力向上や自社の情報発信の必要性について、企業への働きかけを推進する。	商工課		
		84	【市民アンケート】労働環境(労働者支援、ワーク・ライフ・バランスなど)の充実度の満足度	市民アンケート調査 結果	%	9.8	15.8	9.0	14.8	0%	D			前回調査時と比較して満足度が0.8ポイント減少了した。	—	企画課		
	農業	85	担い手の農地利用集積状況	課データ	%	58.2	65.0	64.7	63.9	114%	A	29%	D	担い手の農地利用集積状況は、昨年度よりは低下しているが、農地中間管理事業の取り組み効果が出ている。	農業従事者の高齢化や後継者不足により遊休農地や耕作放棄地の増加が予想されるが、引き続き、農地利用の最適化の促進を図る。	農業振興課		
		86	農業産出額	農林水産省	億円	59.5 (H30年)	61.0 (R7年)	59.2	60.8	0%	D			農産物出荷額は、昨年度より増加しているが、新型コロナウイルス感染症の影響がまだあり、消費低迷の要因と思われる。	農業従事者の高齢化や後継者不足や資材高騰など情勢が不安定なため、引き続き各種政策を通じて支援を行う。	農業振興課		
		87	農用地利用集積面積	課データ	ha	840	1,020	885	990	30%	D			農用地利用集積状況は、年度目標を下回っている。要因としては、農業従事者の高齢化や後継者不足、新規就農者の減少などにより農地の集積・集約化が図れなかったことが考えられる。	農業従事者の高齢化や後継者不足などにより遊休農地の増加が予想されるが、引き続き、農地利用の最適化の促進を図る。	農業委員会事務局		
農業	農業	88	荒廃農地面積	課データ	ha	35	17	45	20	0%	D	29%	D	農業従事者の高齢化等に伴い離農農家の増加や生産性が低く耕作不便農地などにより耕作されない農地が増えているため、令和6年度の目標値(20ha)まで解消することは達成できなかった。	農業従事者の高齢化や後継者不足のほか、生産性が低く耕作不便農地などにより耕作されない農地が増加しているため、引き続き、遊休農地の発生防止の呼びかけや農地バトルによる早期発見に努める。また、農地中間管理機構の活用や担い手への農地集積・集約化を推進することによって遊休農地の解消に努める。	農業委員会事務局		
		89	【市民アンケート】農林業(担い手の育成、生産性の向上、農地の整備など)の振興の満足度	市民アンケート調査 結果	%	8.5	14.5	8.1	13.5	0%	D			前回調査時と比較して満足度が0.4ポイント減少了した。	—	企画課		

第6次総合計画前期基本計画 指標 令和6年度実績一覧

部会	基本目的	分野	No.	指標の名称	出典元	単位	現状値 (令和元年度)	目標値 (R7年度)	令和6年度	目標値 (R6年度)	進捗率	達成状況 (A~D)	分野別 平均 進捗率	分野別 達成状況 (A~D)	成果	課題・方向性	担当課
									実績値								
経済・都市	観光	観光	90	観光入込客数	課データ	人	1,489,539	1,650,000	1,519,158	1,622,122	22%	D	15%	D	HOTEL KOMORINUのオープンなど新規観光コンテンツにより観光入込数が前年からは若干増加した。	既存の観光イベントのプラスアップや積極的な情報発信、里沼やアニメーション等の新規コンテンツの開発により入込数の増加を目指す。	つつじのまち観光課
			91	つつじまつり外国人訪問者数	課データ	人	10,600	12,000	3,697	11,767	0%	D			前年と比べ、つつじまつり全体で、コロナ禍で減少していたツアーバスの増加もあったことから、インバウンド観光客も増加がみられたが、目標値とはまだ乖離がある。	群馬県等と連携し、外国人旅行会社向け情報サイトへの記事の投稿や観光商談会等を活用し広くPRを図る。	つつじのまち観光課
			92	観光ボランティアガイドの登録者数	課データ	人	65	80	41	77	0%	D			高齢化等の影響で、会員数が大幅に減少してしまった。	観光客等からの要請に対応できるよう、適宜ボランティアの育成研修や・支援等を実施し、案内技術の向上を図る。また、高齢化が課題となつて、登録者の確保に務める。	つつじのまち観光課
			93	【市民アンケート】観光産業(観光資源の活用、PRなど)の振興の満足度	市民アンケート調査結果	%	15.1	21.1	17.0	20.1	38%	D			前回調査時と比較して満足度が1.9ポイント増加した。	-	企画課
	まちのにぎわい	まちのにぎわい	94	居住誘導区域の人口密度	課データ	人/ha	39 (H27年度)	39	-	39	-	-	139%	A	立地適正化計画の中で示した誘導施策の進捗管理を行い、各課と連携し、居住誘導区域内の人口密度を維持できるような施策内容であるか検討を行った。	社会情勢の変化や関連計画の改定など、関連する状況の変化に対応しながら各施策の進捗管理を行い、各施策の位置づけや内容について今後も担当課と検討をしていく。検討結果を踏まえ、立地適正化計画の改定を行う。	都市計画課
			95	空き家バンク登録物件利活用件数	課データ	件	2	(累計)20	19	16	119%	A			令和6年度の利活用件数は3件であり、前年度実績(5件)からやや数値が低下した。	利活用推進のためには、空き家バンクの登録物件を増やす必要があるものの、現状1軒となつていることから、市内の不動産会社に働きかけるなどして、登録物件を増やしていく。	企画課
			96	遊休不動産の利活用件数(再掲)	課データ	件	2	(累計)15	15	12	125%	A			遊休不動産を改装し、新たに店舗とするなどして利活用を図った。	空き店舗等の遊休不動産を利活用される方に対して支援を行うことで、経済活動の活性化を図る。	商工課
			97	【市民アンケート】買物(商店、スーパーなど)の便利さ、まちなかのにぎわいの満足度(再掲)	市民アンケート調査結果	%	28.5	34.5	37.1	33.5	172%	A			前回調査時と比較して満足度が8.6ポイント増加した。	-	企画課
	土地利用	土地利用	98	居住誘導区域の人口密度(再掲)	課データ	人/ha	39 (H27年度)	39	-	39	-	-	-	-	立地適正化計画の中で示した誘導施策の進捗管理を行い、各課と連携し、居住誘導区域内の人口密度を維持できるような施策内容であるか検討を行った。	社会情勢の変化や関連計画の改定など、関連する状況の変化に対応しながら各施策の進捗管理を行い、各施策の位置づけや内容について今後も担当課と検討をしていく。検討結果を踏まえ、立地適正化計画の改定を行う。	都市計画課
			99	【市民アンケート】景観(まちなみ、自然・農地の風景など)の美しさの満足度	市民アンケート調査結果	%	42.9	48.9	43.9	47.9	20%	D			前回調査時と比較して満足度が1.0ポイント増加した。	-	企画課
道路・交通	道路・交通	道路・交通	100	路線バスの年間利用者数	課データ	人	248,074	300,000	251,641	289,614	9%	D	209%	A	館林都市圏地域公共交通計画に基づき、広域路線2路線の経路変更、市内生活路線1路線の経路変更及びダイヤ改正を行った。利用促進事業としては、沿線高校への啓発チラシ配布や乗り方教室を実施した。	館林都市圏地域公共交通計画に基づく施策を推進することにより、暮らしに寄り添う交通ネットワークの構築に取り組み、利用者数の増加を目指す。	安全安心課
			101	交通事故発生件数	館林警察署(群馬県警)	件	283 (R元年)	280 (R7年)	252	280	1033%	A			関係機関・団体と連携し交通安全運動を実施するとともに、地域要望等に基づき、交通安全施設の整備・維持に努めた。	関係機関・団体と連携し啓発に取り組むとともに、交通安全施設の整備・維持の推進を図る。	安全安心課
			102	市道の整備率	館林市道路台帳(改良率)	%	38.4	39.1	39.0	38.9	120%	A			継続的に整備している路線の完成と、民間開発行為による道路の市への帰属により整備率が上昇した。	着手中の路線の整備を進めるとともに、予算確保の促進による要望道路の整備を進める。	道路河川課
			103	【市民アンケート】交通安全(意識啓発、交通安全施設などの整備)の対策の満足度	市民アンケート調査結果	%	28.0	34.0	31.9	33.0	78%	C			前回調査時と比較して満足度が3.9ポイント増加した。	-	企画課
			104	【市民アンケート】道路網(国道、県道、市道など)の充実度の満足度	市民アンケート調査結果	%	36.4	42.4	37.2	41.4	16%	D			前回調査時と比較して満足度が0.8ポイント増加した。	-	企画課
			105	【市民アンケート】公共交通(鉄道・バスなど)の充実度の満足度	市民アンケート調査結果	%	17.9	23.9	17.9	22.9	0%	D			前回調査時から満足度の増減はなかった。	-	企画課

第6次総合計画前期基本計画 指標 令和6年度実績一覧

部会	基本目的	分野	No.	指標の名称	出典元	単位	現状値 (令和元年度)	目標値 (R7年度)	令和6年度	目標値 (R6年度)	進捗率	達成状況 (A~D)	分野別 平均 進捗率	分野別 達成状況 (A~D)	成果	課題・方向性	担当課	
									実績値									
居住環境	・公 園 地	106	空き家バンク登録物件利活用件数(再掲)	課データ	件	2	(累計)20	19	16	119%	A	105%	A	令和6年度の利活用件数は3件であり、前年度実績(5件)からやや数値が低下した。	利活用推進のためには、空き家バンクの登録物件を増やす必要があるものの、現状1軒となっていることから、市内の不動産会社に働きかけるなどして、登録物件を増やしていく。	企画課		
			107	西部第一南土地区画整理事業事業進捗率(事業費ベース)	課データ	%	87	94.0	91.3	93.4	67%	C			令和6年度末現在での進捗状況は、仮換地指定率97.9%、道路築造率94.7%、建物移転率98.3%である。	難航地権者の強固な反対により事業進捗に支障をきたしている。難航地権者と交渉を進め、区画道路等の整備、移転補償等を推進していく。	区画整理課	
			108	西部第一中土地区画整理事業事業進捗率(事業費ベース)	課データ	%	89.7	93.0	94.5	92.5	171%	A			令和6年度末現在での進捗状況は、仮換地指定率100%、道路築造率96.4%、建物移転率99.5%である。	事業の終盤に差し掛かっているが、未移転物件が数件残っている。未移転物件との交渉を進め、事業完了に向けた事業展開を計画的に行っていく。	区画整理課	
			109	西部第二土地区画整理事業事業進捗率(事業費ベース)	課データ	%	44.9	51.9	59.7	50.7	255%	A			令和6年度末現在での進捗状況は、仮換地指定率96.2%、道路築造率53.7%、建物移転率56.4%である。	本地区の事業進捗による宅地化の進行により、地区内の幹線排水路の整備や通学路等の道路整備が喫緊の課題であり、計画的な建物移転等を進めていく。	区画整理課	
			110	【市民アンケート】上水道(安全安心な水の安定供給など)の整備の満足度	市民アンケート調査結果	%	67.7	73.7	67.1	72.7	0%	D			前回調査時と比較して満足度が0.6ポイント減少しした。	-	企画課	
			111	【市民アンケート】情報基盤(インターネット環境など)の充実度の満足度	市民アンケート調査結果	%	22.1	28.1	23.0	27.1	18%	D			前回調査時と比較して満足度が0.9ポイント增加了した。	-	企画課	
		112	【市民アンケート】公園・緑地など緑の充実度の満足度	市民アンケート調査結果	%	50.2	56.2	47.7	55.2	0%	D	-	-	前回調査時と比較して満足度が2.5ポイント減少しした。	-	企画課		
V 公民連携を推進し 地域経営の視点を持つ 持続可能なまち																		
行政経営	市民協働	113	市民活動に関する問合せ件数	課データ	件	67	80	183	78	1055%	A	528%	A	各種イベントやそれにかかるボランティア事業についての問い合わせが増加した。特にボランティア関連の問い合わせが増加しており、社会貢献意識の向上や地域活動への関心が拡大していると捉えている。	様々な能力や経験を持つ市民が市民活動において活躍できるよう「きっかけづくり・仲間づくり・活躍の場づくり」などの支援を引き続き進める。	共生社会推進課		
			114	【市民アンケート】まちづくり(市民と行政との協働・共創など)の活発さ・充実度の満足度	市民アンケート調査結果	%	17.5	23.5	16.3	22.5	0%	D		前回調査時と比較して満足度が1.2ポイント減少しした。	-	企画課		
	人権の尊重	115	国際交流協会個人会員数	国際交流協会総会資料	人	234	250	262	248	200%	A	537%	A	定期事業として日本語教室を毎週月・火・木曜日の計4教室及び小・中学生、高校生の学習支援のためのスタジールームを開催するとともに、国際交流まつりや日本語教室研修旅行など交流事業を開催し、会員数の増加につながった。	外国人住民の増加に伴い、協会の果たす役割は一層重要となっている。安定的に事業を推進するためには、会員数の確保が課題である。今後も情報発信や周知を図るなどして会員を増やしていく。	共生社会推進課		
			116	国際交流関係事業の参加者数	課・国際交流協会資料	人	472	600	1,982	579	1411%	A		通年での日本語教室や、国際交流まつりなどに加え、70周年歓迎事業や公開セミナーなどを実施できることで、参加者数が増加した。また、国際交流協会の各事業を通じて、文化の違いを学んだり、コミュニケーションを取る機会が増え、多文化共生社会の実現への一助となった。	外国人住民の増加に伴い、生活習慣や価値観の多様化など多文化共生社会への対応が求められている。日本人も外国人も安心して暮らせる地域を目指し、相互理解のための交流事業や言葉の問題を抱える外国人住民のための日本語教室など、多文化共生の地域づくりを推進していく。	共生社会推進課		
			117	【市民アンケート】人権尊重(人権尊重、男女共同参画など)の充実度の満足度	市民アンケート調査結果	%	18.3	24.3	18.3	23.3	0%	D		前回調査時から満足度の増減はなかった。	-	企画課		
	行政活動	118	第6次総合計画指標達成率	課データ	%	53.0	80.0	33.9	75.5	0%	D	69%	C	全125指標中、出典元となる統計調査等の集計年次でなかった計7指標を除く、計118指標について評価を実施した結果、現状値からの進捗率が80%以上となったものが37指標であった。	指標の目標を達成できなかった事業については、施策の見直しを行うなどの改善を行い、各指標の目標達成に向けて取り組む。また、目標を達成した事業についても、成果の更なる拡大に努める。	企画課		
			119	第七次行政改革大綱の取組状況割合	課データ	%	70.0	100	92.8	95.0	91%	B		全28計画のうち、「実施・完了」又は「継続実施」の計画が20件、予定通りに進んでいる計画が6件であり、進捗率が92.8%となり、目標値を下回った。	引き続き進捗管理を行うとともに、スケジュールより遅れている計画については、できるだけ早く目標が達成されるよう努める。	企画課		
		120	経常収支比率	課データ	%	98.2	95.6	97.0	96.1	57%	C	前年度から0.6ポイント增加了した(前年度96.4%)		目標値を達成することができなかった。今後も公共施設等の維持管理費や社会保障費等の経常経費が上昇していくことが見込まれるため、財政の健全性に留意しつつ、適切な財政運営に取り組んでいく。	財政課			
			121	資金運用の総合計額	債券管理台帳(売却)	万円	500	(累計)2,750	3,085	2,200	140%	A		効果的な運用を行うことができた。	指標については目標値を達成しており、引き続き市況を把握しながら効率的な運用に努める。	出納室		
			122	【市民アンケート】行政サービス(高品質・迅速・正確なサービスなど)の充実度の満足度	市民アンケート調査結果	%	21.1	27.1	22.2	26.1	22%	D		前回調査時と比較して満足度が1.1ポイント增加了した。	-	企画課		

第6次総合計画前期基本計画 指標 令和6年度実績一覧

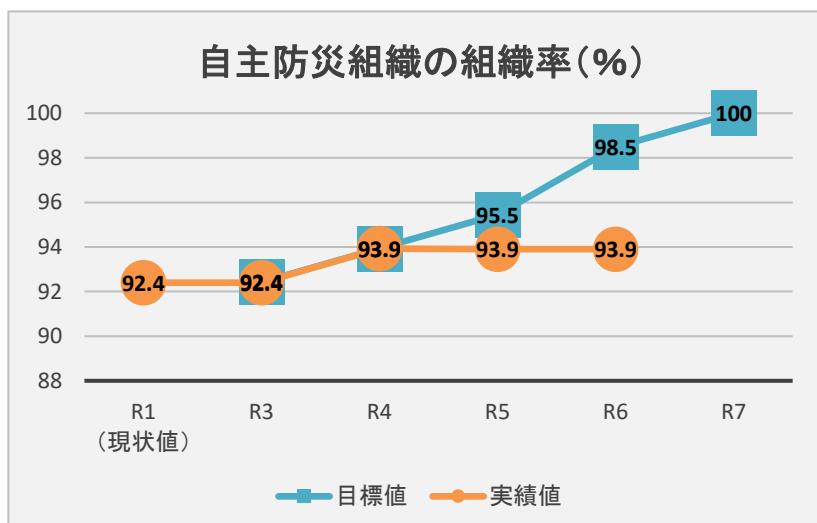
部会	基本目的	分野	No.	指標の名称	出典元	単位	現状値 (令和元年度)	目標値 (R7年度)	令和6年度	目標値 (R6年度)	進捗率	達成状況 (A~D)	分野別 平均 進捗率	分野別 達成状況 (A~D)	成果	課題・方向性	担当課
									実績値								
情報の共有	情報の共有	123	【市民アンケート】行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政など)の運営の満足度	市民アンケート調査結果	市民アンケート調査結果	%	16.8	22.8	22.0	21.8	104%	A			前回調査時と比較して満足度が5.2ポイント增加了。	-	企画課
			124	ホームページへのアクセス数	課データ	件	2,509,601	4,015,361	4,560,632	3,764,401	163%	A	95%	B	年度目標値(3,764,401件)を上回るとともに、令和7年度目標値にも達している。	ホームページは、市民など利用者にとって利便性の高い情報手段である。分かりやすいページ作りのほか、早く、正確な情報の提供に努めていく。	秘書課
		125	SNSのフォロワー数	課データ	人	1,520	4,520	4,605	4,020	123%	A	年度目標値(4,020人)を上回るとともに、令和7年度目標値にも達している。		市ホームページなど他媒体と連動させながら特性を生かした運用を行っていく。	秘書課		
		126	【市民アンケート】住民参加(広報・広聴活動、参加機会、情報公開など)の充実度の満足度	市民アンケート調査結果	市民アンケート調査結果	%	25.5	31.5	13.6	30.5	0%	D			前回調査時と比較して満足度が11.9ポイント減少した。	-	企画課

第6次総合計画前期基本計画指標 令和6年度実績一覧

基本目的 I【安全と環境】危機対応能力が高く 良好的な生活環境で暮らせる 安全安心なまち

◆分野01「防災」

施策目的「防災意識や危機対応力を高め、自助・共助・公助が一体となった災害に強いまちになる」



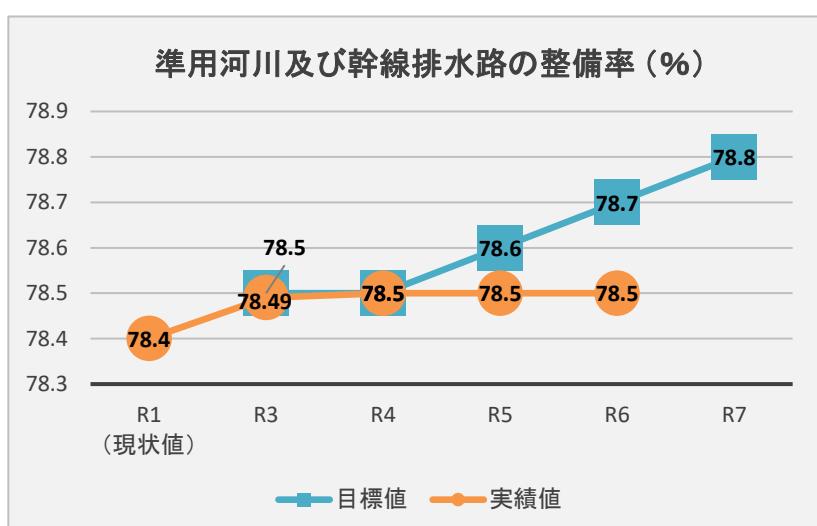
担当課
安全安心課

成果

自主防災組織が未設立の行政区に対し、自主防災組織の有用性について説明した。

課題・方向性

各地区において自主的な防災活動が行われるよう、地区防災計画策定の支援を行うことなどにより、行政区による自主防災組織設置の動機づけをし、設置率の向上に努めていく。



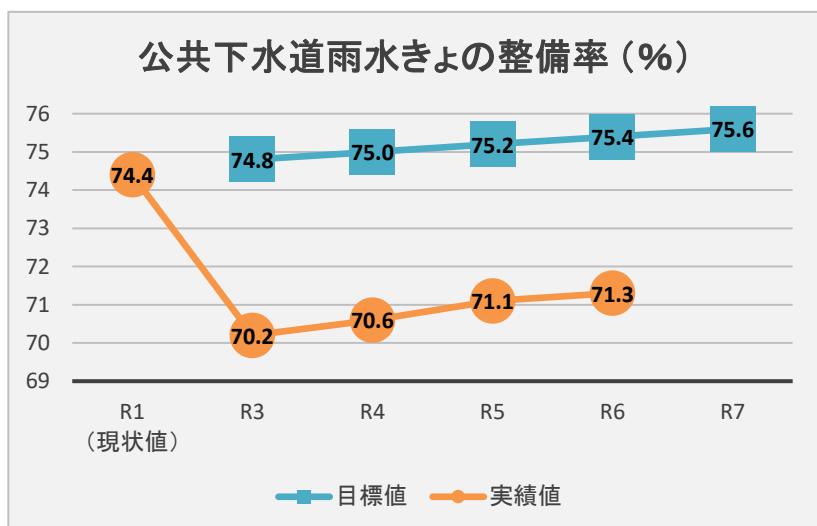
担当課
道路河川課

成果

宮田2号幹線排水路の調整池掘削及び茂林寺川の浚渫工事を実施した。

課題・方向性

既設排水路の流下断面を阻害している堆積土砂の浚渫を計画的に進める。



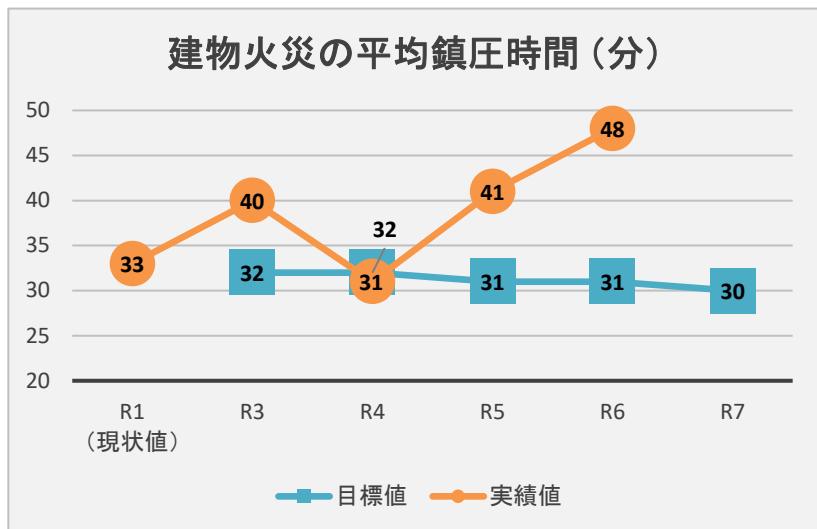
担当課
下水道課

成果

令和6年度は富士西幹線の整備を進め、整備率は上昇した(企業会計移行に伴い実施した固定資産整理により雨水きよ延長が修正されたため、実績値は現状値より減少している)。

課題・方向性

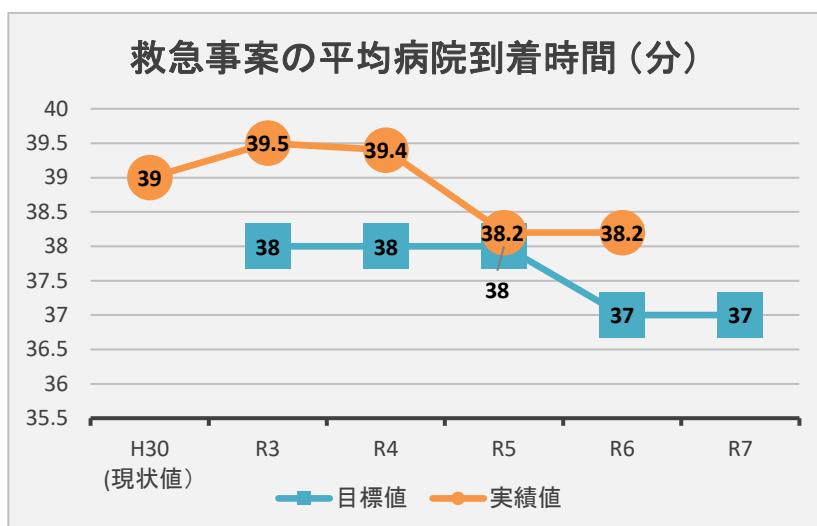
関係者と事業の調整を図りながら、雨水きよの整備を計画的に進めていく。



担当課
館林地区消防組合

成果
前年度と比較し7分の増加となり、目標達成には至らなかった。

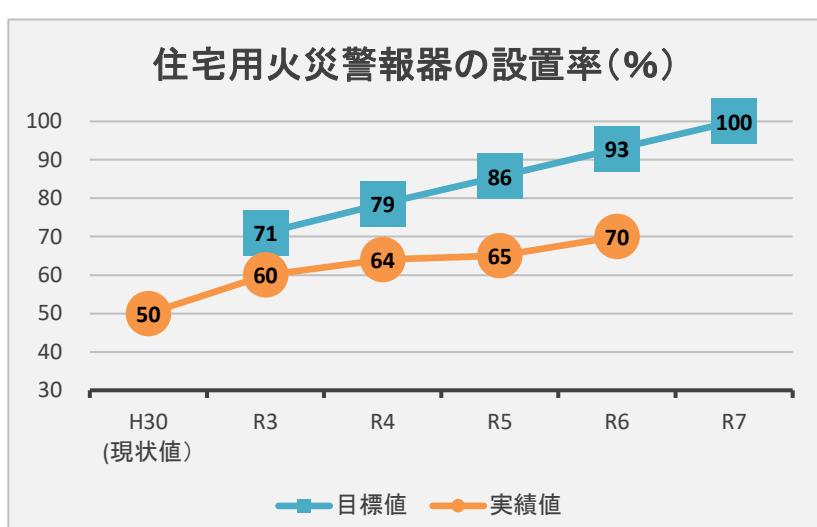
課題・方向性
令和7年度目標値30分を目指し、指令課の覚知から出場指令まで1分で消防隊を出動させ、速やかに現場到着し、8分以内に放水を開始させることを目標としている。



担当課
館林地区消防組合

成果
救急出動の増加、管内医療機関の収容率も横ばいのため目標達成には至らなかった。

課題・方向性
救急出動件数は過去最多を更新し、管轄する出動区域以外の出動、管外医療機関(県外を含む)の搬送も多いことから、搬送時間の延長に繋がっている。搬送時間の短縮には救急隊の増隊が必要である。

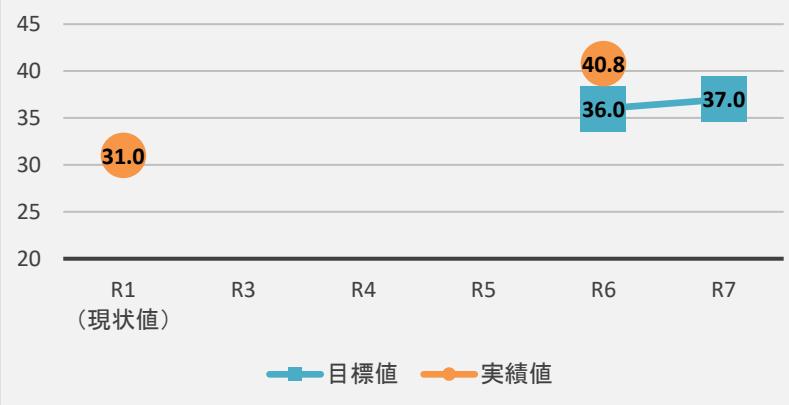


担当課
館林地区消防組合

成果
前年度と比較して1ポイント減となり、目標達成には至らなかった。

課題・方向性
量販店等でPRしているものの、火災警報器を購入する世帯は少ない。特に高齢者世帯においては、設置率を上昇させるために配布から設置までを行政でサポートする必要がある。

【市民アンケート】災害(風水害、地震、土砂災害、火災など)の対策の満足度(%)



担当課
企画課

成果

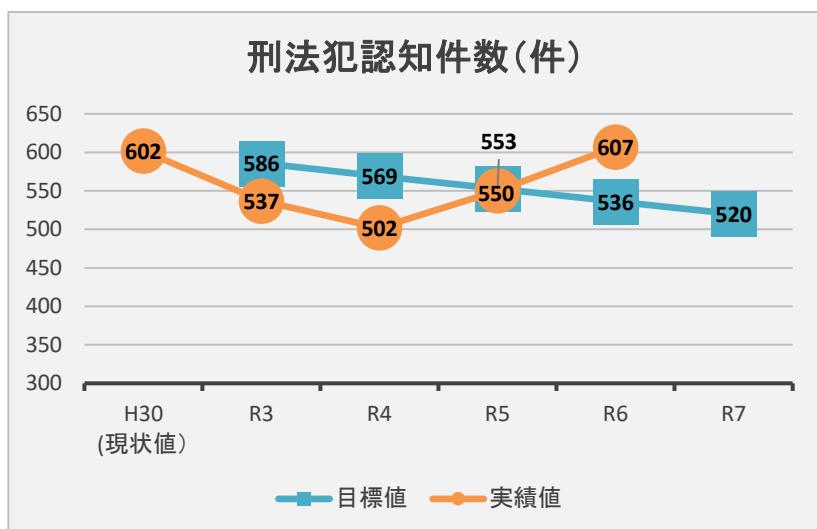
前回調査時と比較して満足度が9.8ポイント增加了。

課題・方向性

-

◆分野02「防犯」

施策目的「地域と市が連携して、防犯に取り組む安全安心なまちになる」



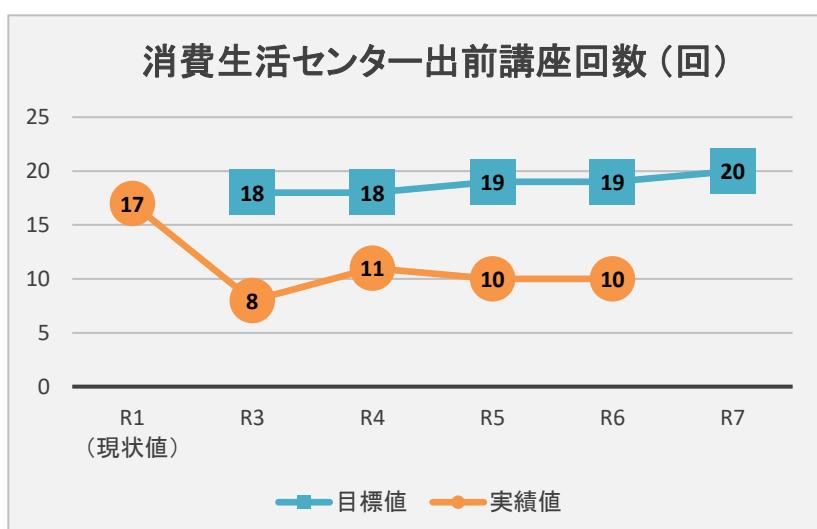
担当課
安全安心課

成果

行政区による自主防犯パトロール等の防犯活動を支援するとともに、関係機関と連携を図り、犯罪や事故の未然防止に努めた。

課題・方向性

行政区や関係機関と連携し、様々な場面での啓発や情報提供に努め、犯罪の減少を図っていく。



担当課
共生社会推進課

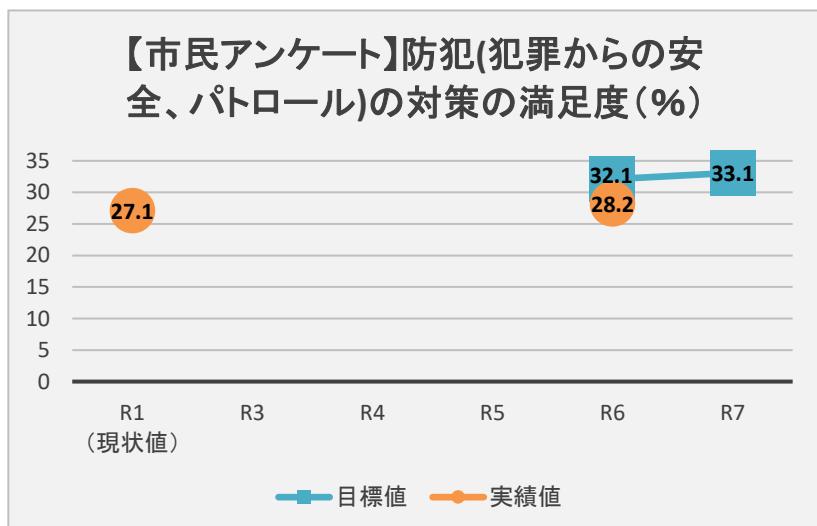
成果

前年度の実施回数と同様の10回であり、目標には届かなかったが、出前講座は効果的な消費者教育の場となっており、参加者から高い満足度が示されている。

課題・方向性

手口が巧妙化する消費者トラブルや特殊詐欺が増えている中、被害を未然に防ぐため、出前講座の実施や資料の配布等での啓発活動や相談業務を強化することで、市民生活の安全性の確保に努める必要がある。

成年年齢引下げによる社会経験の浅い若年層の啓発を進めていくため、小中学校長会議の際に、出前講座の広報活動を行い、実施回数を増やしていく。また、高齢者の不安(健康・お金・孤独)をあおる消費生活のトラブルが今後も増えていくことが懸念されるため、通いの場に出向いての啓発を進めていく。



担当課
企画課

成果

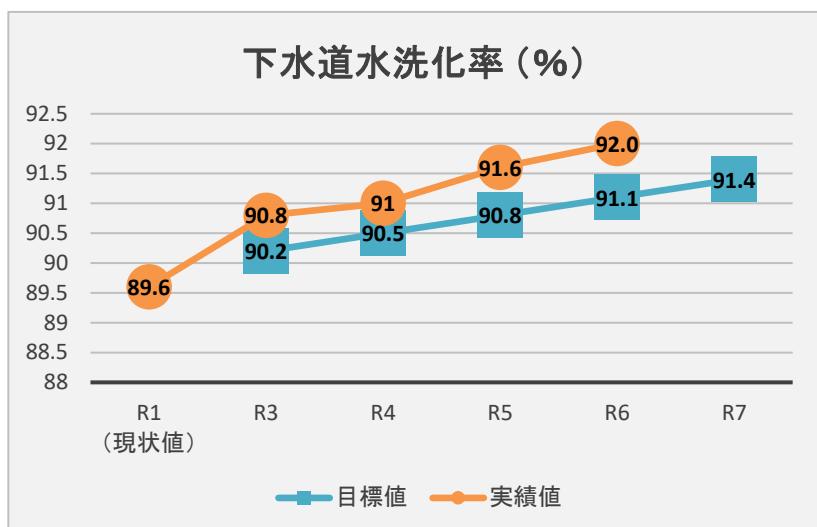
前回調査時と比較して満足度が1.1ポイント增加了。

課題・方向性

—

◆分野03「自然環境」

施策目的「人と環境にやさしい快適な生活が送れるまちになる」



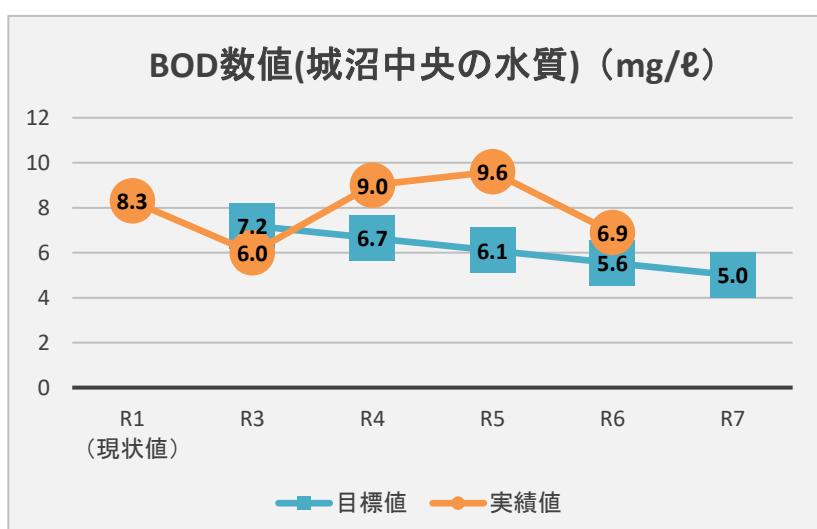
担当課
下水道課

成果

計画的な汚水管整備と下水道の利用促進により、水洗化率が上昇した。

課題・方向性

今後も計画的に汚水管整備を進め、下水道の利用促進を実施していく。



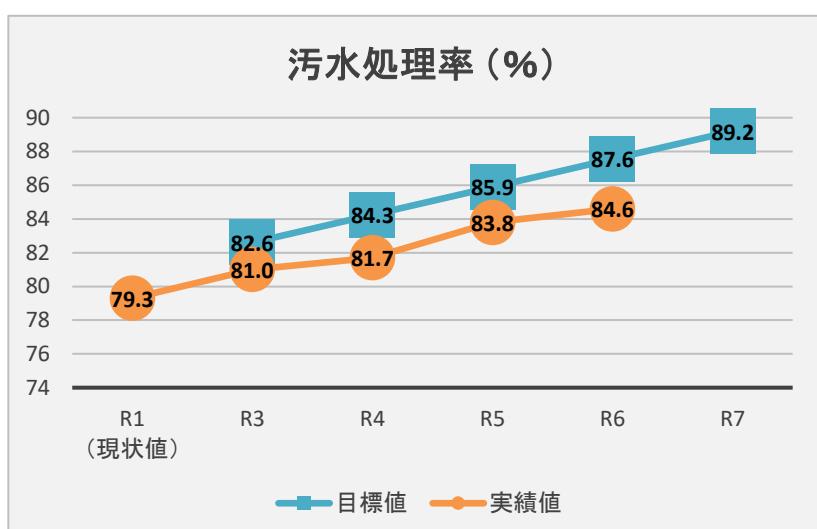
担当課
地球環境課

成果

前年度実績より改善がみられる。合併処理浄化槽への転換や公共下水道の普及が進み生活排水由来の汚染は減っていると考えられるが、目標達成には至っていない。

課題・方向性

合併処理浄化槽への転換の更なる促進と、県や関係機関と連携して対策の検討を進める。



担当課
地球環境課

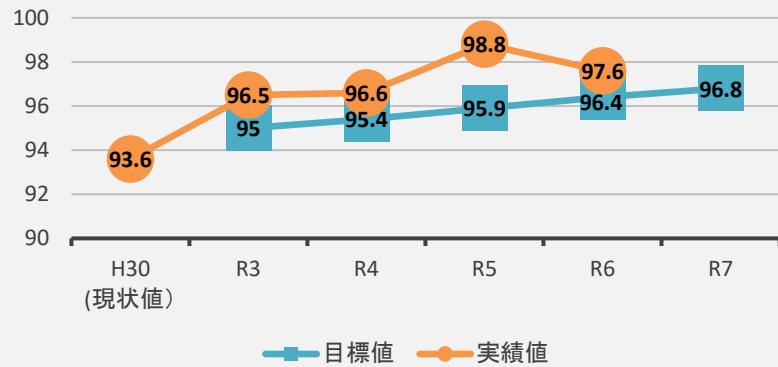
成果

前年度の実績値から微増しており、合併処理浄化槽への転換や公共下水道への接続が増えたものと考える。

課題・方向性

合併処理浄化槽への転換の啓発活動を継続して推進していく。

環境にやさしい暮らしを実践している市民の割合 (%)



担当課
地球環境課

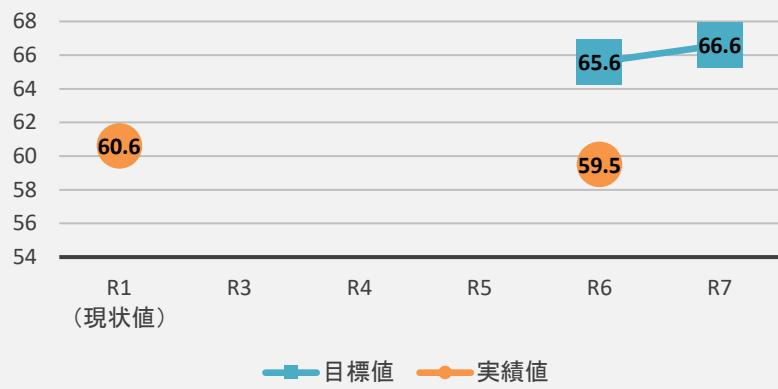
成果

前年度の実績を下回ったが、目標値は達成できた。

課題・方向性

引き続きより多くの市民に環境にやさしい暮らしを実践してもらえるようさらに啓発を推進していく。

【市民アンケート】自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全の満足度 (%)



担当課
企画課

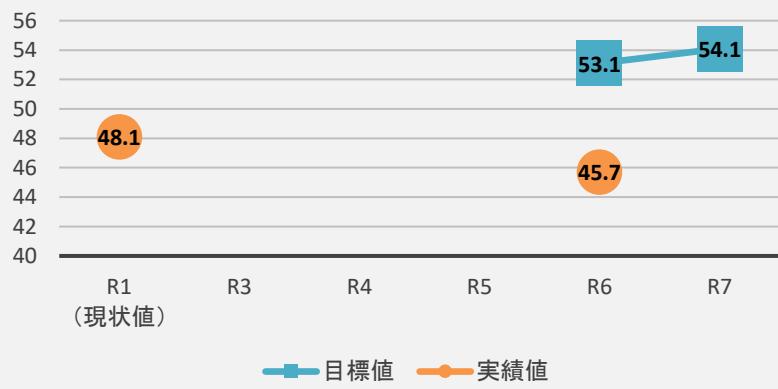
成果

前回調査時と比較して満足度が1.1ポイント減少した。

課題・方向性

-

【市民アンケート】下水道(生活排水処理、合併処理浄化槽など)の整備の満足度 (%)



担当課
企画課

成果

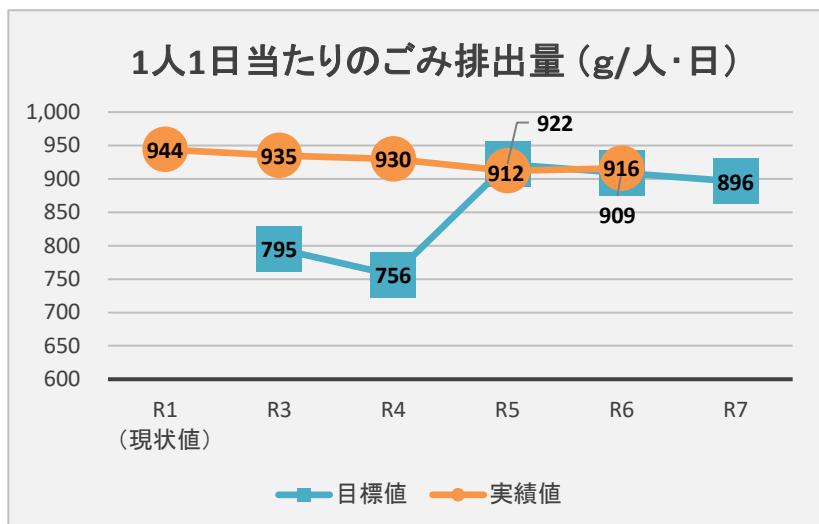
前回調査時と比較して満足度が2.4ポイント減少した。

課題・方向性

-

◆分野04「ごみ・資源」

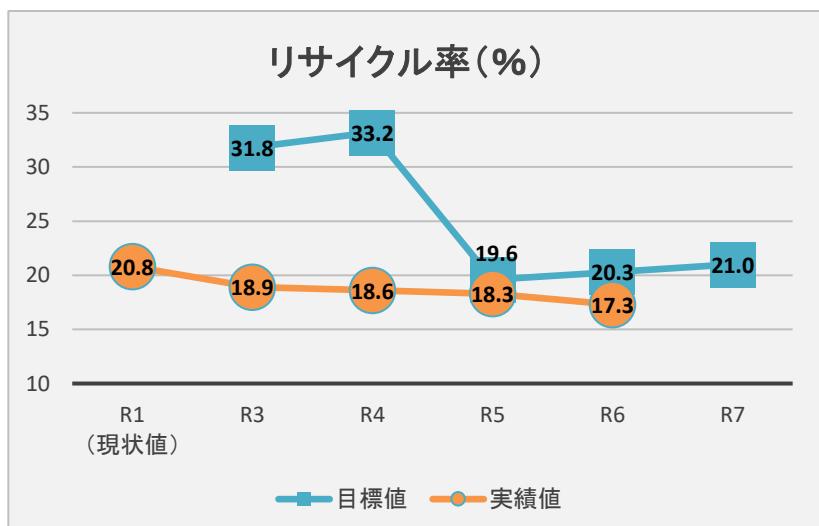
施策目的「ごみを減らして資源を生かす循環型のまちになる」



担当課
地球環境課

成果
目標値は達成できなかった。また、前年度実績 (912g) より微増した。

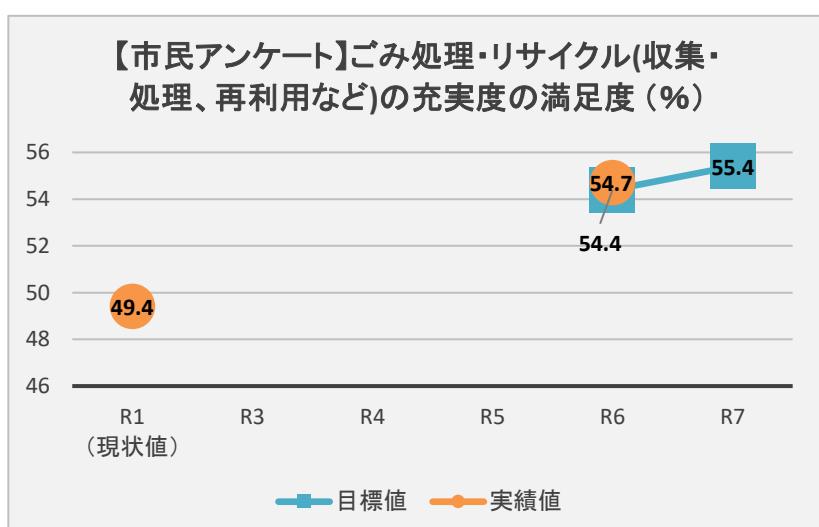
課題・方向性
生ごみの水切りや堆肥化、食品ロスの啓発となる「3010」運動の周知のほか、出前講座、館林市公式LINE等による3Rの啓発を推進していく。



担当課
地球環境課

成果
目標値は達成できなかった。また、前年度実績 (18.3%) も下回った。

課題・方向性
出前講座、館林市公式LINE等による周知、啓発を実施し、引き続き分別の徹底を推進していく。



担当課
企画課

成果
前回調査時と比較して満足度が5.3ポイント增加了。

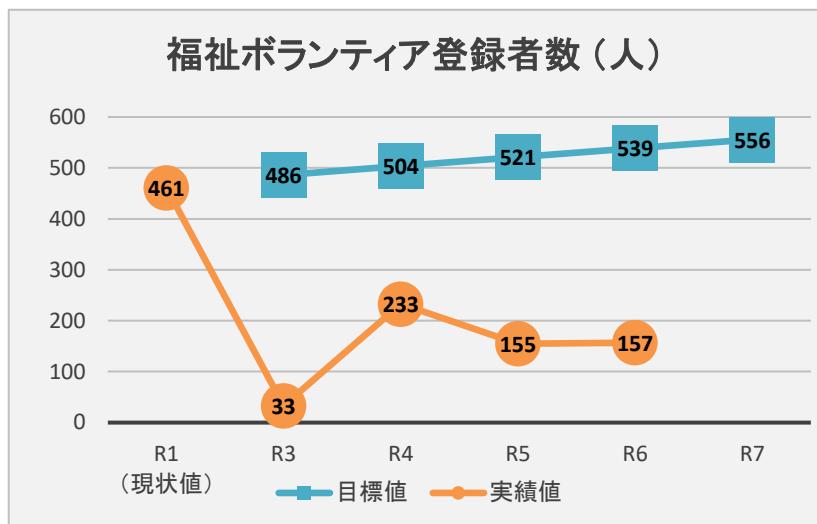
課題・方向性

-

基本目的Ⅱ【福祉と健康】地域で支え合い 生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち

◆分野05「地域福祉」

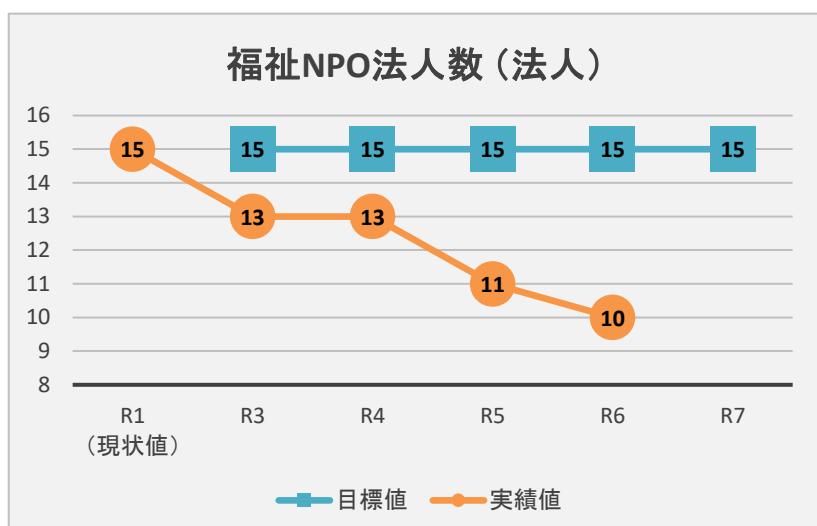
施策目的「地域で支え合い、誰もが安心して暮らせるまちになる」



担当課
社会福祉課

成果
登録団体構成員の高齢化が進み、目標値に届かない状況となっている。

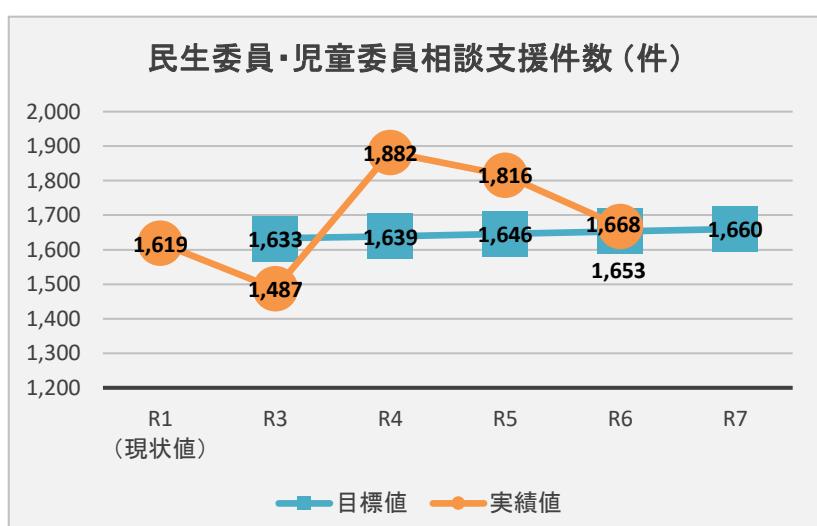
課題・方向性
ボランティア団体の高齢化が顕著であり、新たな担い手の育成が課題である。



担当課
社会福祉課

成果
法人の活動停止等により法人数が減少した。

課題・方向性
館林市社会福祉協議会のNPO法人連絡協議会との連携を強化していく。

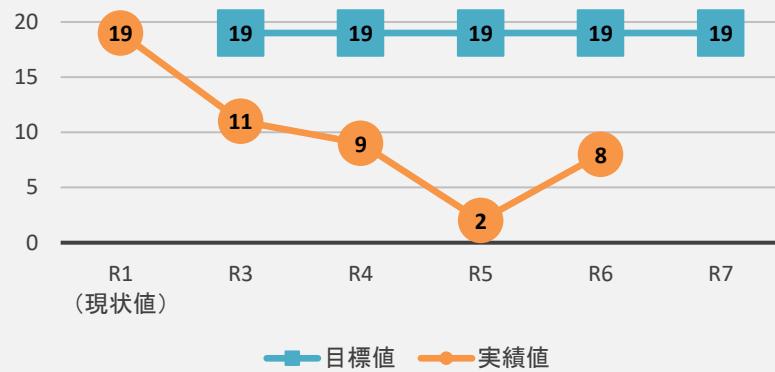


担当課
社会福祉課

成果
適切に相談支援活動を実施している。

課題・方向性
民生委員児童委員活動が、適切に実施できるよう、支援を行っていく。

生活保護受給世帯から自立した世帯数 (世帯)



担当課
社会福祉課

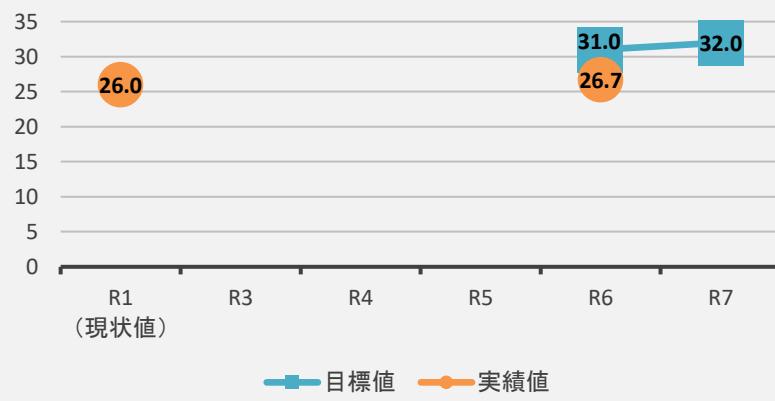
成果

生活保護受給者に対して就労支援等を行ったが、自立することができた人は前年度より減少した。

課題・方向性

民生委員児童委員活動が、適切に実施できるよう、支援を行っていく。

【市民アンケート】地域福祉(近隣での見守り・助け合い・社会参加など)の対策の満足度 (%)



担当課
企画課

成果

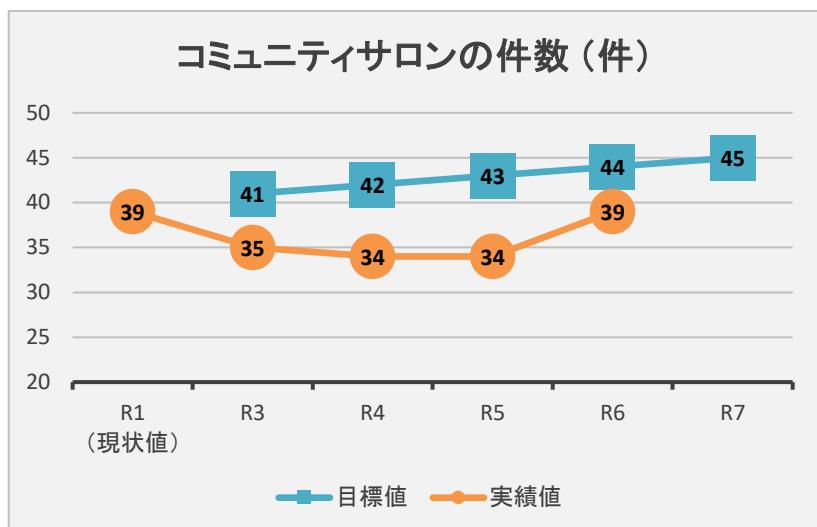
前回調査時と比較して満足度が0.7ポイント增加了。

課題・方向性

-

◆分野06「高齢者」

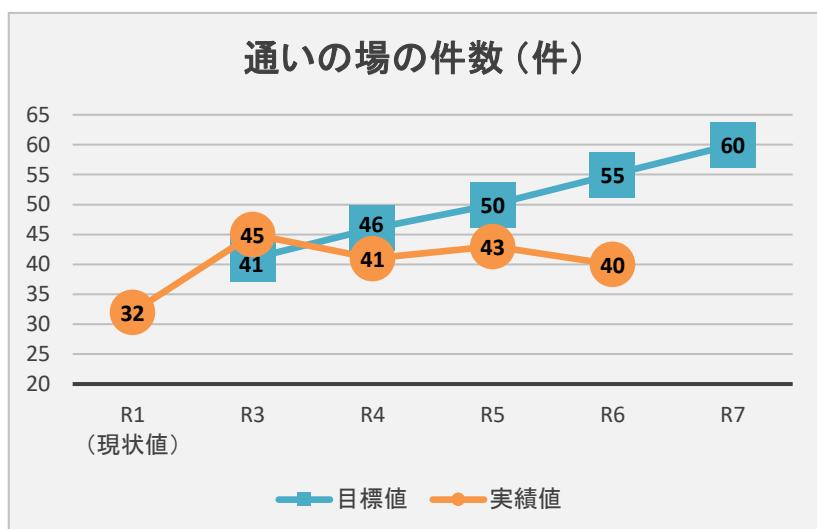
施策目的「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる」



担当課
高齢障がい政策課

成果
休会となるサロンがある一方、新規立ち上げの動きもみられ、前年度よりも件数は増加した。

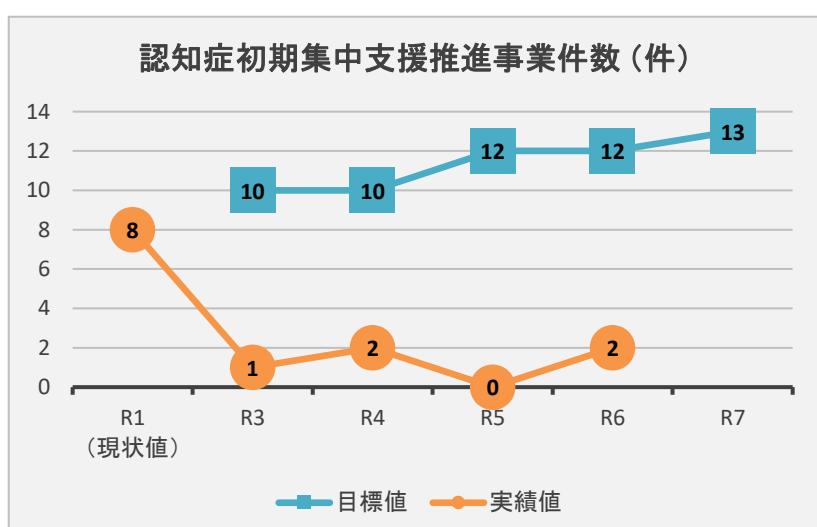
課題・方向性
参加者の高齢化、運営役員の不足などにより活動の継続が困難なサロンがある。サロンの運営支援を行う館林市社会福祉協議会への支援を継続する。



担当課
介護保険課

成果
新規6団体が立ち上がり合計40団体となった。

課題・方向性
会員の高齢化により休止する団体が増えるなか、新規団体の立ち上げや、新たに参加する高齢者を増やしていく必要がある。

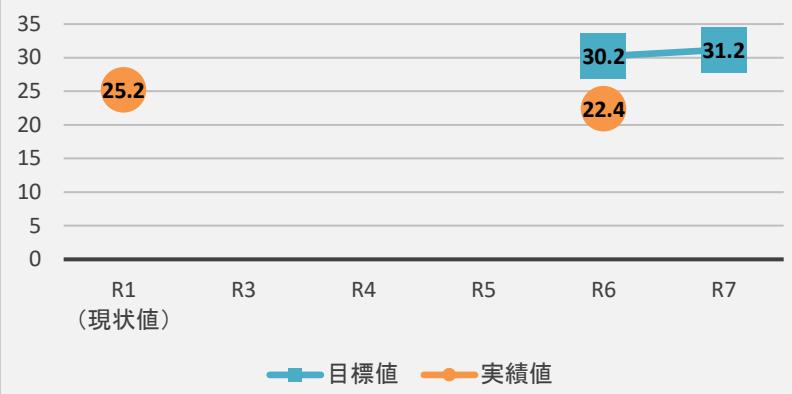


担当課
介護保険課

成果
地域包括支援センターと連携し、チームアプローチでの支援が必要な困難ケース2件を初期集中支援に繋げることができた。

課題・方向性
市内にある認知症疾患医療センターとの連携を強化していく。

【市民アンケート】高齢者(福祉・介護サービス、社会参加など)の対策の満足度(%)



担当課
企画課

成果

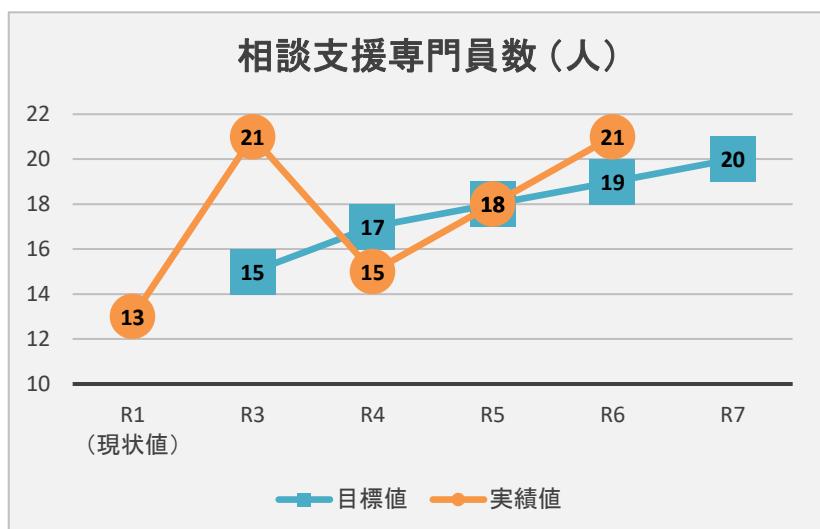
前回調査時と比較して満足度が2.8ポイント減少した。

課題・方向性

-

◆分野07「障がい」

施策目的「障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる」



担当課

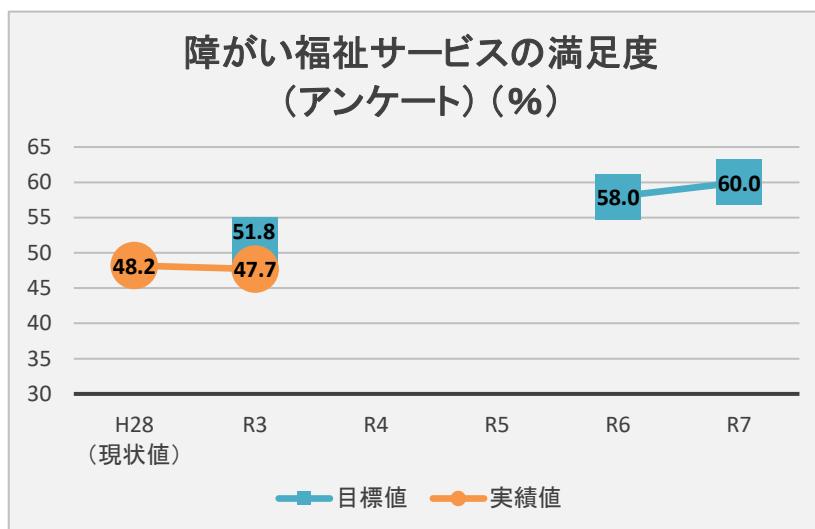
高齢障がい政策課

成果

前年度から増員し、目標値を達成することができた。今後も維持できるよう支援等を継続する。

課題・方向性

障がい福祉サービス利用者数は増加傾向にあるため、相談支援専門員の確保については引き続き課題である。各事業所への働きかけを続けていく。



担当課

高齢障がい政策課

成果

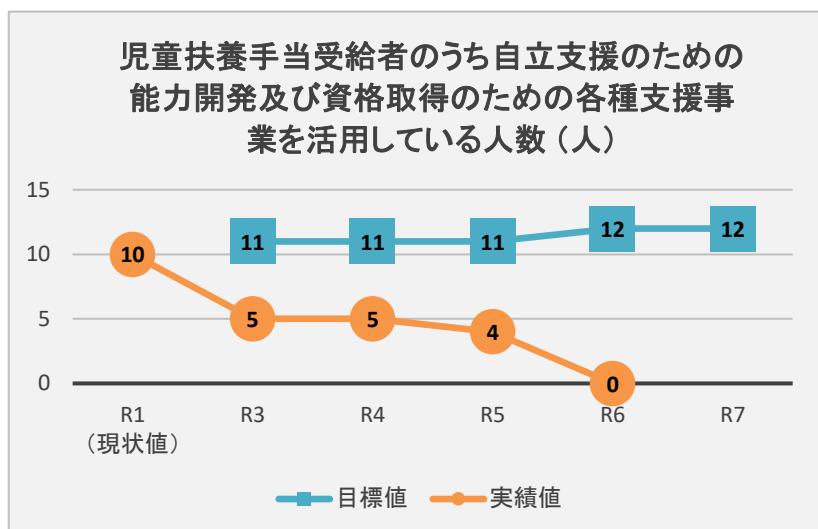
アンケート実施年度ではないため、データなし。

課題・方向性

-

◆分野08「社会保障」

施策目的「市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる」



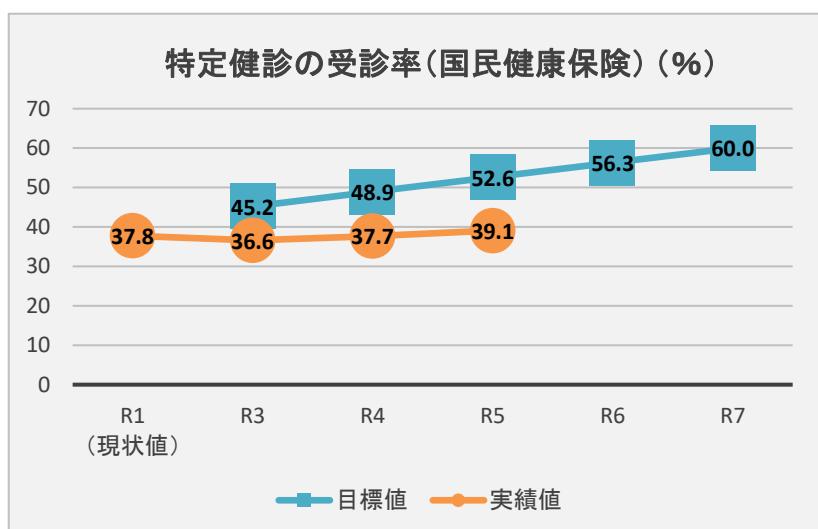
担当課
子育て支援課

成果

能力開発及び資格取得を目指すひとり親家庭へ、児童扶養手当現況届受付時等に自立支援のための各種制度周知に努めた。各種支援事業に関する相談はあったが、事業活用には至らなかった。

課題・方向性

ひとり親家庭の職業能力の開発又は資格取得を促進するため、相談及び経済的支援をする。自立支援制度が複雑になっているが、取得できる資格の幅は広がっており、資格取得を目指す人を取りこぼさないよう、制度の周知に努め、制度の活用促進を図る。



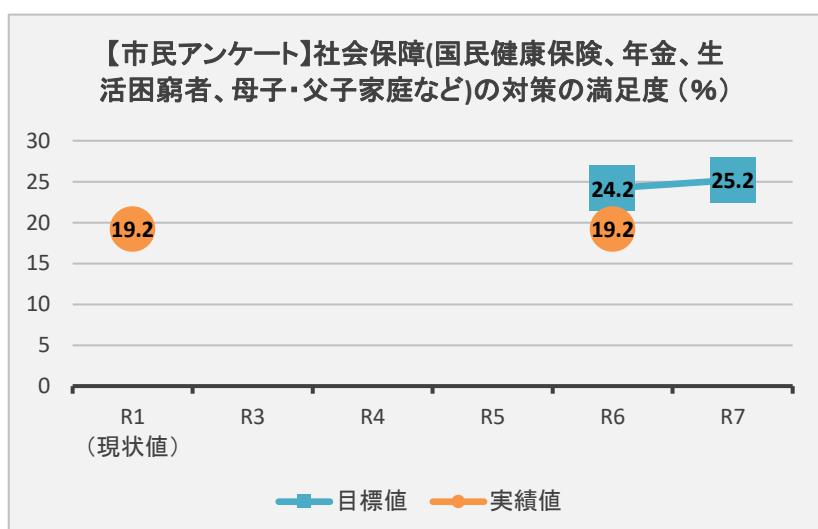
担当課
健康推進課

成果

前年度より0.6ポイント増加した。

課題・方向性

個別健診と集団健診の実施体制を維持し、がん検診等と同時受診できる機会を引き続き提供し、受診しやすい環境を整えていく。



担当課
企画課

成果

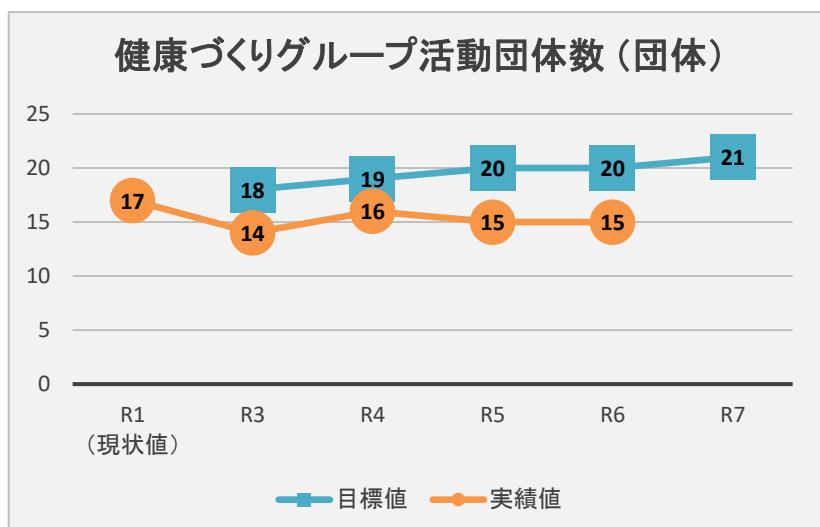
前回調査時から満足度の増減はなかった。

課題・方向性

-

◆分野09「健康」

施策目的「心身ともに健康で、いきいきと暮らせるまちになる」

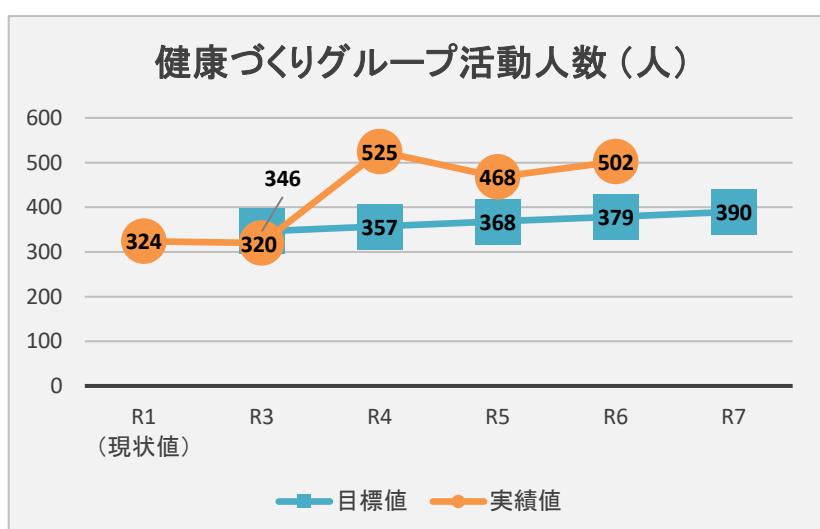


担当課
健康推進課

成果
昨年度と団体数の変化はなかった。

課題・方向性

当初から比較すると団体数は減少傾向にある。各地域で活動している団体を登録へ促すなど呼びかけを行っていく。

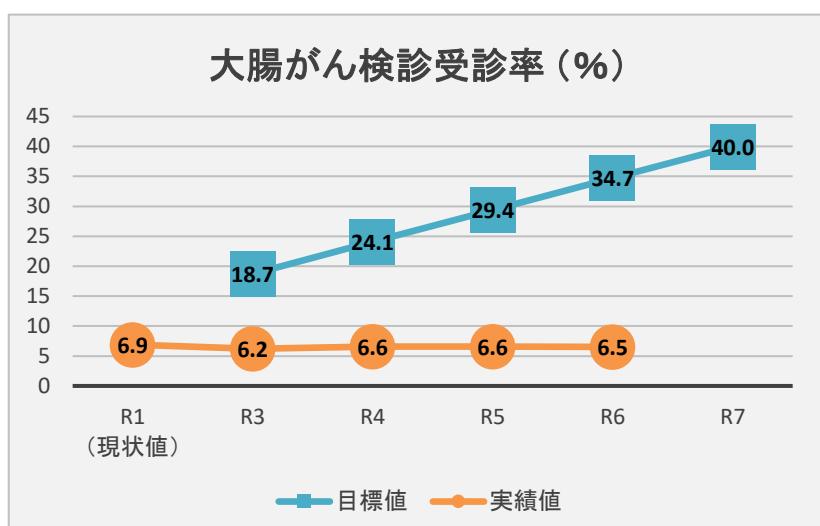


担当課
健康推進課

成果
前年度に比べ34人増加した。

課題・方向性

活動人数は増加傾向にある。健康づくりグループの周知を継続して行っていく。



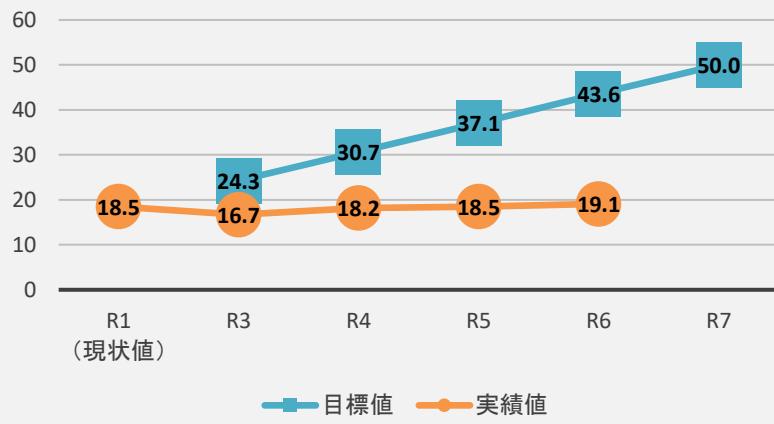
担当課
健康推進課

成果
受診率は横ばいであり、前年度に比べ0.1ポイント減少した。

課題・方向性

受診率はここ数年大きな変化なく推移している。引き続き未受診者への受診勧奨を行っていく。

子宮頸がん検診受診率 (%)



担当課

健康推進課

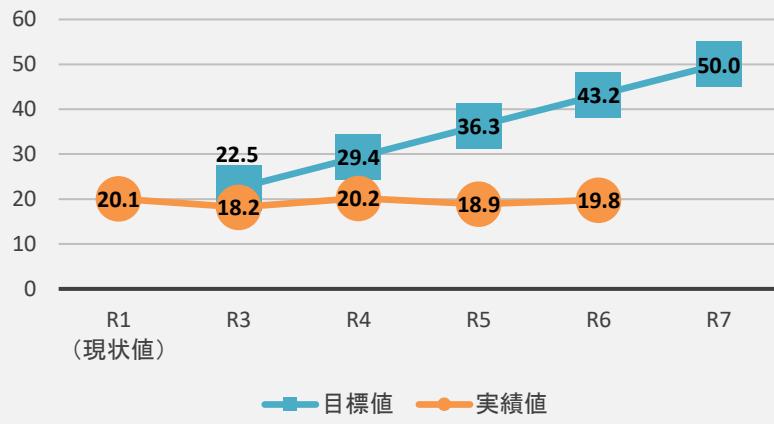
成果

ショッピングモール検診等女性の受診機会を確保するよう努め、前年度より0.6ポイント増加した。

課題・方向性

若年者が受けやすいような受診機会の提供を整えていく。

乳がん検診受診率 (%)



担当課

健康推進課

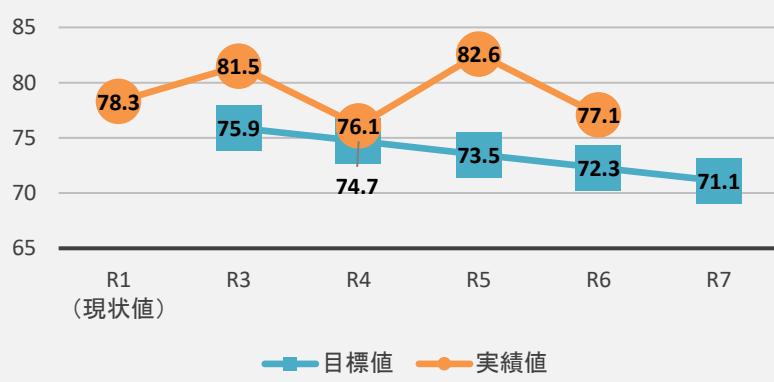
成果

ショッピングモール検診等女性の受診機会を確保するよう努め、前年度より0.9ポイント増加した。

課題・方向性

乳がんの好発年齢層に対して受診勧奨を行うとともに、女性が受けやすい環境を整えていく。

生活習慣病予防健康診査のうち、要指導、要医療者の割合 (%)



担当課

健康推進課

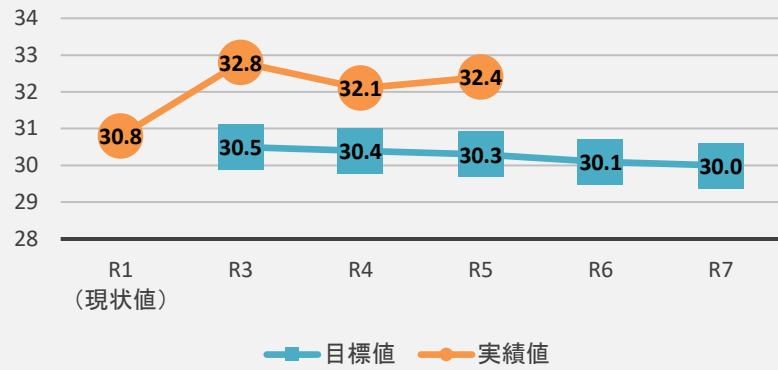
成果

要指導者50.9%、要医療者26.2%であり前年度より5.5ポイント減少した。

課題・方向性

若年者に向けた生活習慣病予防のための情報の発信を引き続きしていく。

メタボリックシンドロームの該当者及び 予備軍の割合 (%)



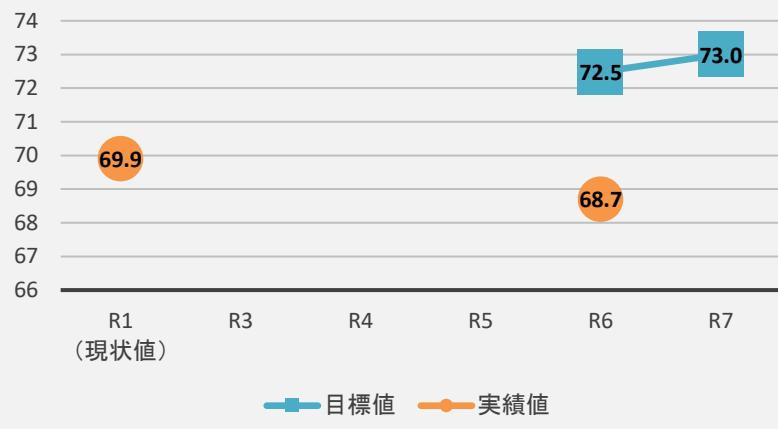
担当課
健康推進課

成果
前年度より0.5ポイント減少した

課題・方向性

内臓脂肪の蓄積により高血圧や脂質異常症を発症し、循環器疾患等のリスクを高めることから周知啓発や健診結果説明会などの機会を設けていく。

かかりつけ医所持率 (%)



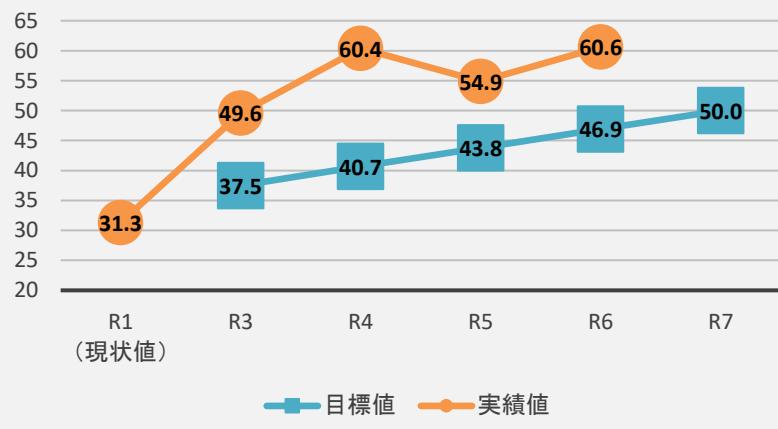
担当課
健康推進課

成果
前回調査時と比較してかかりつけ医所持率は1.2ポイント減少した。

課題・方向性

今後も、かかりつけ医・かかりつけ歯科医の重要性を啓発し、所持率の増加を図る。

スポーツ実施率(週1回以上) (%)

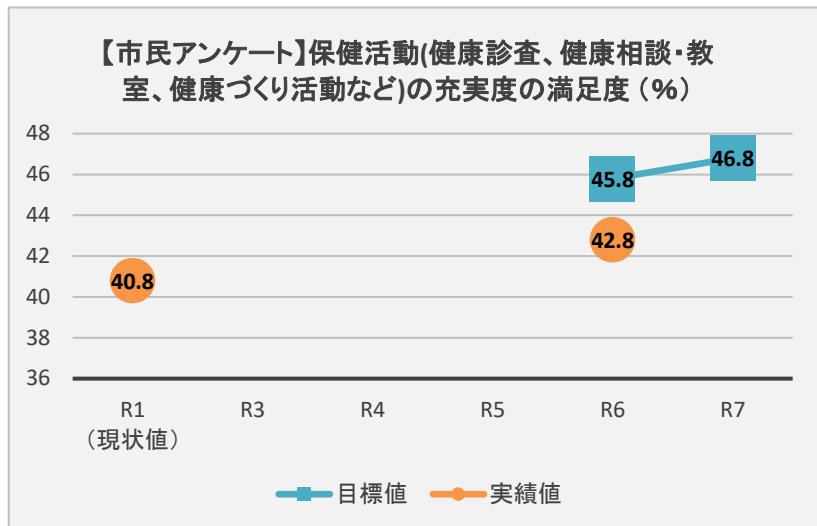


担当課
スポーツ振興課

成果
スポーツ実施率は、スポーツ事業参加者及び公民館利用者等へのアンケートにより算出している。体力の保持増進や健康志向の高まりから各種スポーツ事業への参加意識の向上が見られ、仲間づくりやコミュニケーション形成など、市民それぞれの目的に応じ取り組んでおり、目標値に達することができた。

課題・方向性

今後も、市民ニーズを取り入れた各種スポーツ体験教室や家族や団体で気軽に楽しめるレクリエーション事業等を実施するとともに、よりスポーツに取り組みやすい環境を整備し、実施率を向上させていく。



担当課
企画課

成果

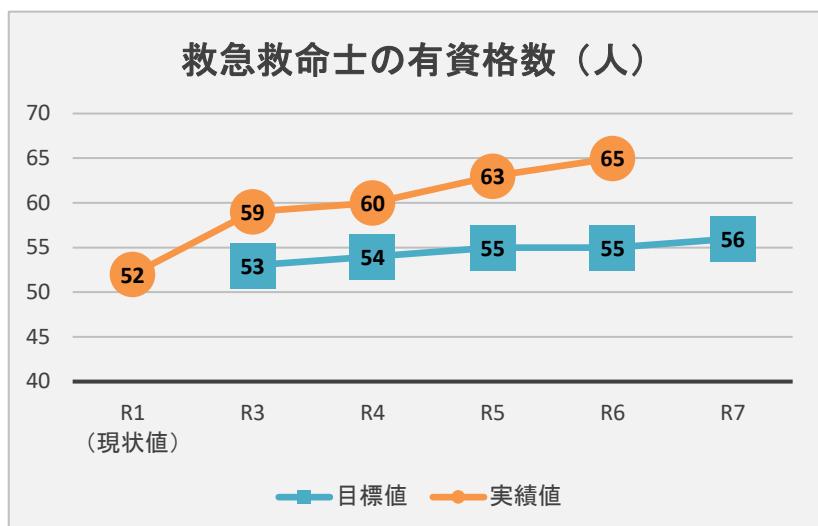
前回調査時と比較して満足度が2.0ポイント増加した。

課題・方向性

—

◆分野10「医療」

施策目的「適切な医療がいつでも受けられるまちになる」



担当課

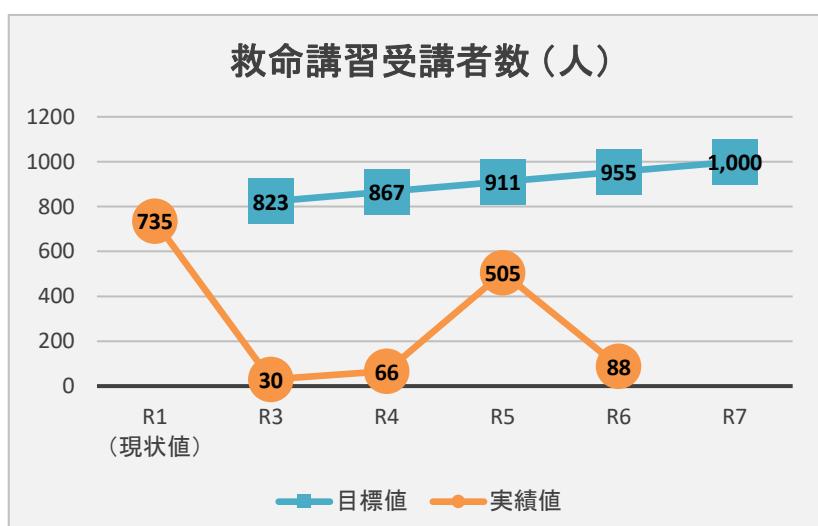
館林地区消防組合

成果

目標値を大きく上回った。

課題・方向性

救急救命士の資格を有した職員の入職により、全職員に占める救急救命士の割合は増加傾向にあるが、経験に乏しいため、現役消防職員からの救急救命士養成を継続するとともに、教育に力を入れていく。



担当課

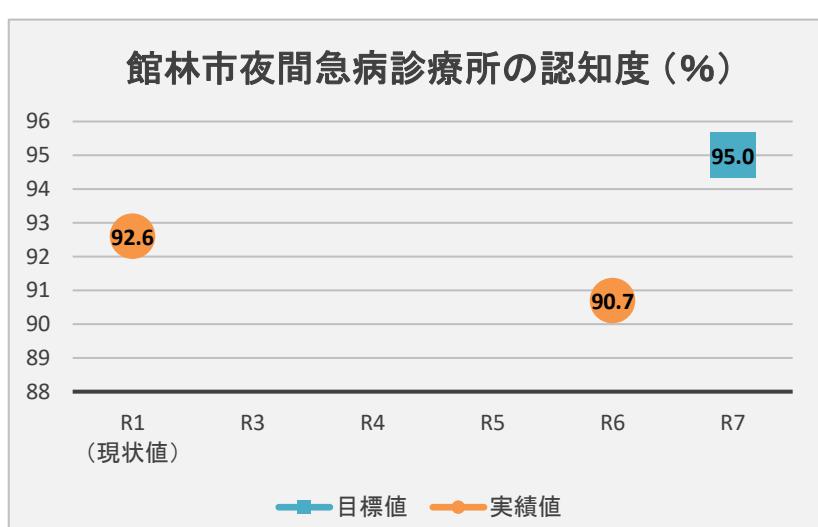
館林地区消防組合

成果

当初の目標値を大きく下回る結果となった。

課題・方向性

コロナ禍を経た集合教育の減少や働き方改革による講習会の制約が課題となるため、救命講習会と並行して、動画等のコンテンツ作成、HPやSNS等を活用した普及啓発を検討する必要がある。



担当課

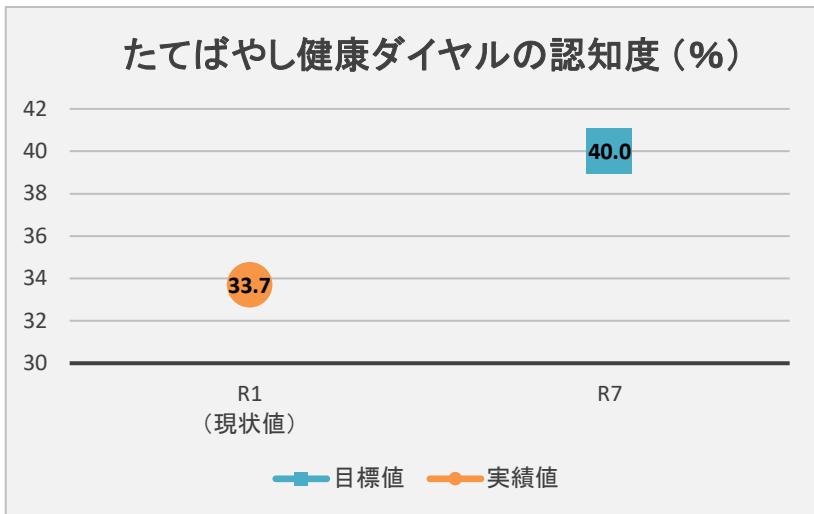
健康推進課

成果

認知度は前回調査時より1.9ポイント減少したが、引き続き高い状態である。

課題・方向性

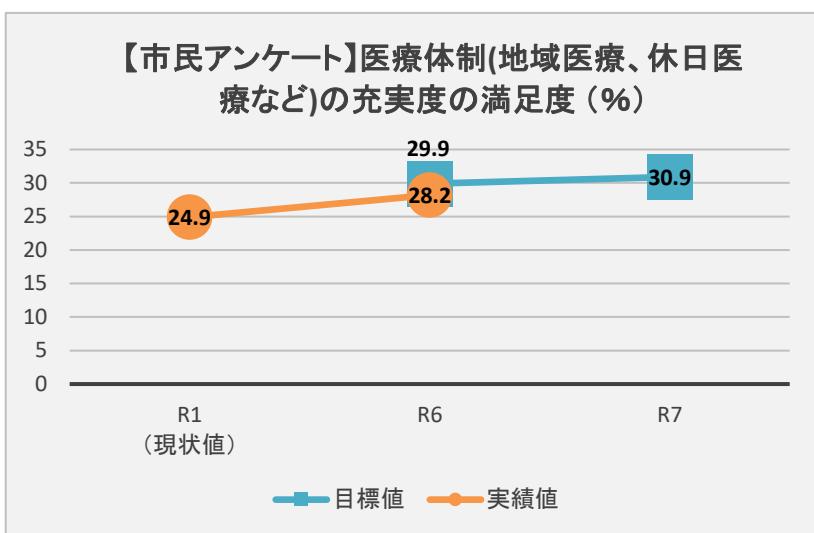
協力医の確保に努めつつ、地域住民の夜間急病患者に対し、応急的な診療を行い適切な医療を提供する。



担当課
健康推進課

成果
前回調査時と比較して認知度が2.7ポイント增加了。

課題・方向性
今後も、お医者さんマップやホームページ等に、たてばやし健康ダイヤルの情報を掲載して、認知度を上げていく。



担当課
企画課

成果
前回調査時と比較して満足度が3.3ポイント增加了。

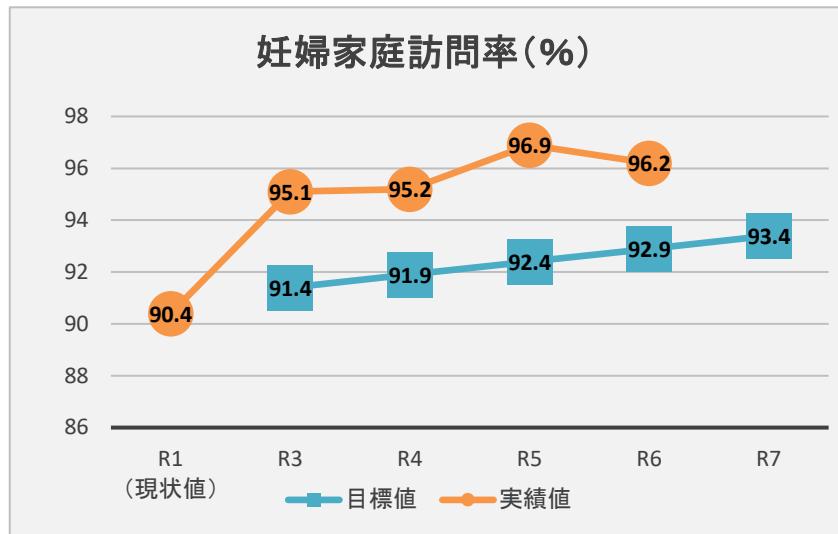
課題・方向性

—

基本目的Ⅲ【子育てと学び】育てる幸せを感じ 生涯にわたり互いに学び続ける 家庭と文化を築くまち

◆分野11「子育て」

施策目的「社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる」



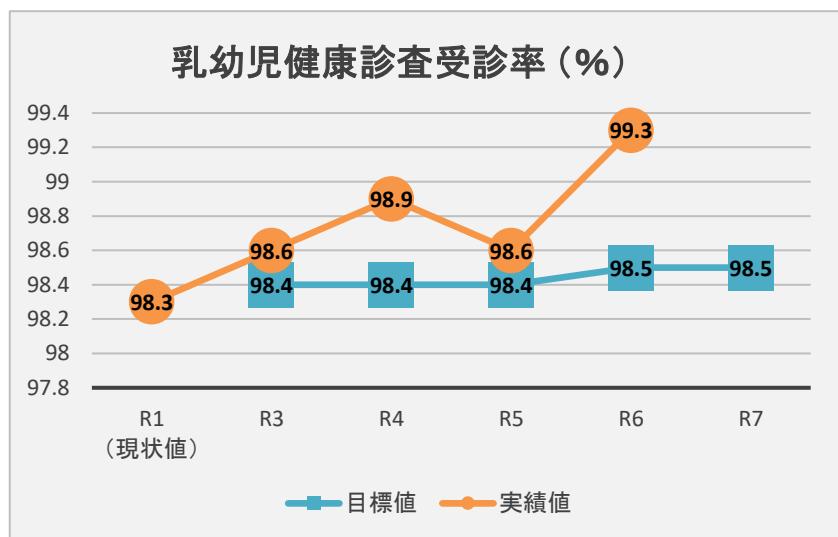
担当課
健康推進課

成果

妊娠中の体調不良による入院等により、妊婦訪問の未実施者が14名おり、前年度に比べ実施率は0.7ポイント低下した。しかしながら、年度目標(92.9%)及び令和7年度目標値は達成することができた。

課題・方向性

今後も妊娠届出時の面談で、既往歴や前回出産時の様子、里帰り時期等を丁寧に聞き取り、必要に応じて早期介入及び継続的な支援を行うことで、妊娠期の家庭訪問による支援を継続して行っていく。



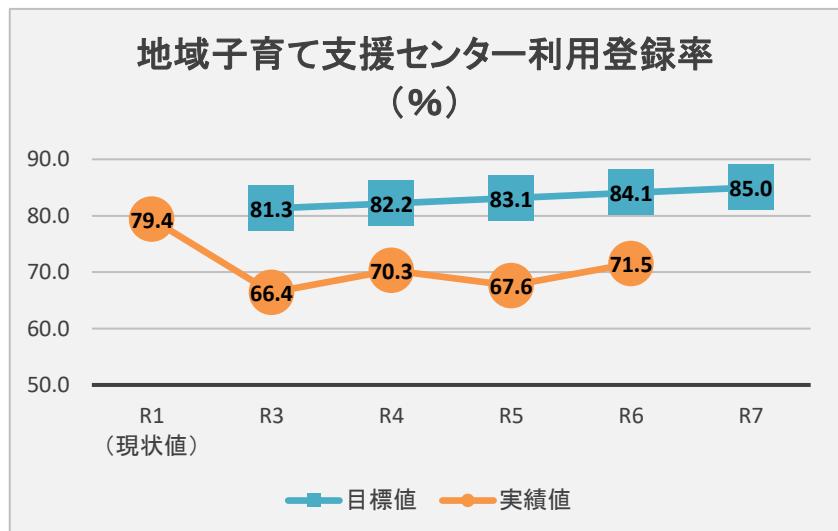
担当課
健康推進課

成果

未受診者に対し、積極的な受診勧奨を行ったため、受診率は前年度と比較し大きく上昇し、目標を達成することができた。

課題・方向性

子どもの発育・発達の確認や保護者支援の観点から、健康診査を受けることは非常に重要であることから、健診事後フォローと合わせ、未受診者の対応を丁寧に行い、乳幼児健診の高い受診率の維持を目指す。



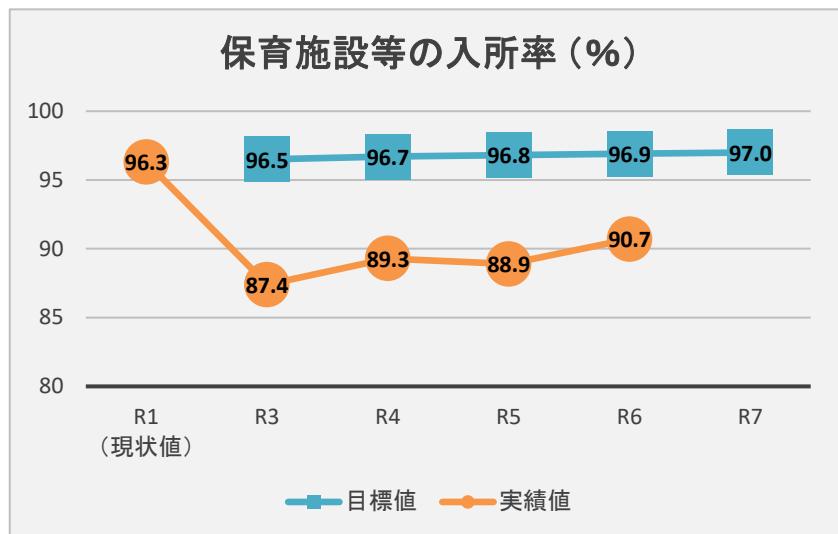
担当課
こども課

成果

利用者同士の交流の場を提供することで子育てに関する不安や悩みを解消する環境づくりに貢献できた。

課題・方向性

引き続き利用者が地域の方々と交流できる場を提供するとともに、寄り添った支援を行う。



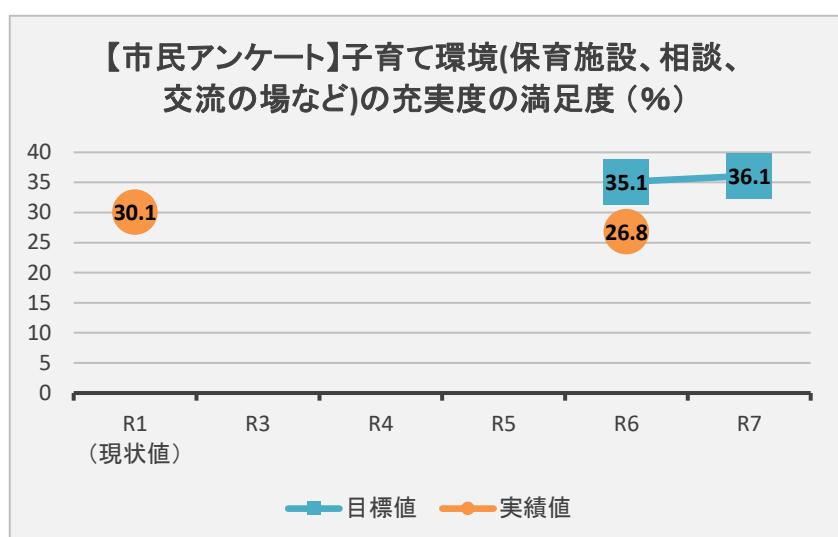
担当課
こども課

成果

令和7年度開園に向けた認定こども園化を1施設進めるとともに、公立偏重とならないよう定員管理を進めることで、入所率を上昇させることができた。

課題・方向性

保育施設2園の民営化の進捗を踏まえながら適切な定員管理を行い、引き続き保護者のニーズに合わせた入所決定を行う。



担当課
企画課

成果

前回調査時と比較して満足度が3.3ポイント減少了した。

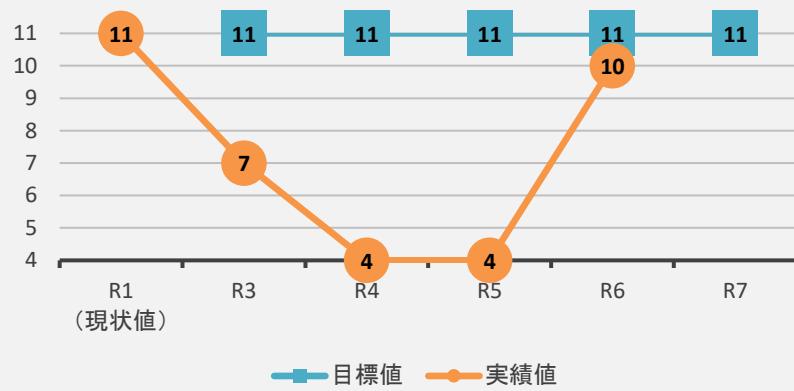
課題・方向性

-

◆分野12「学校教育」

施策目的「自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を身につけた未来を担う子どもが育つまちになる」

標準学力テストで全国平均を上回る 小学校数(校)



担当課
学校教育課

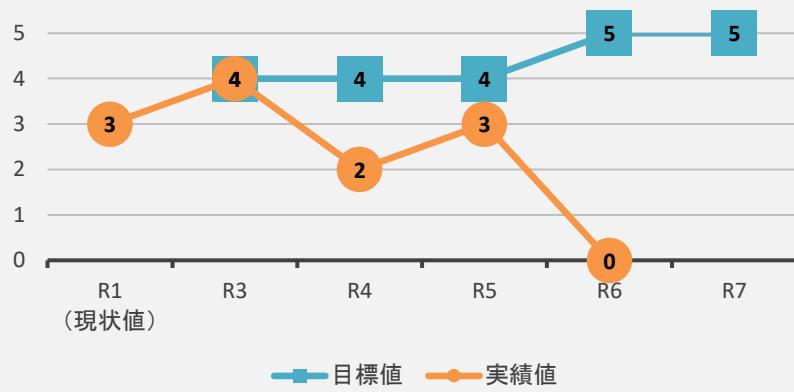
成果

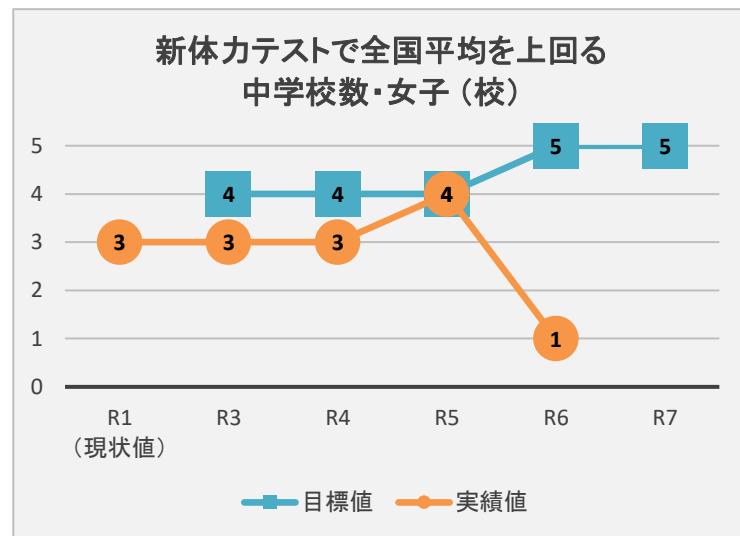
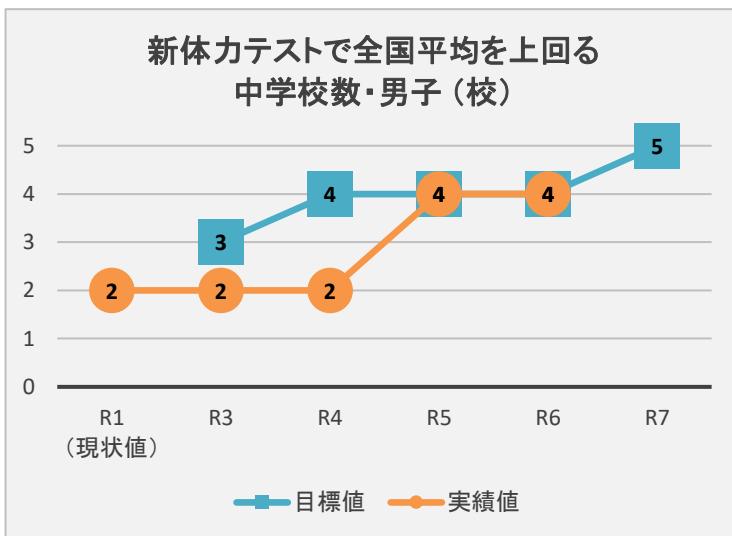
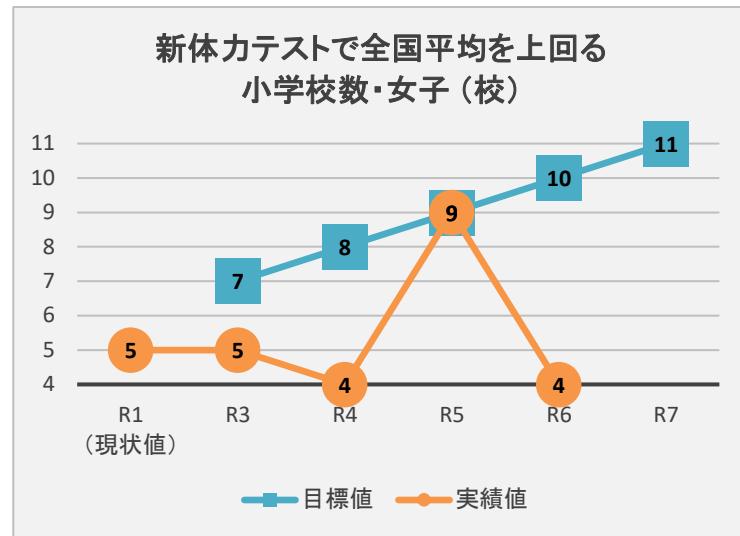
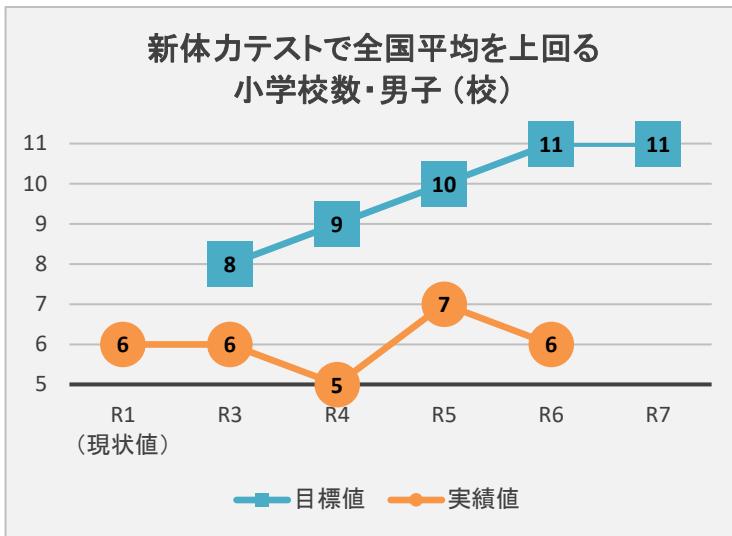
実績値は、小学校・中学校において令和元年に比べて下がっている。しかし、市内全体の結果を見ると、小学校では4、5、6年の国語・算数の正答率が全国平均を上回った。中学校では、2年の英語で全国平均を上回った。

課題・方向性

学校間の学力の差や教員の授業力の差が課題であると考える。今後も、学校訪問での指導等を通して、学習指導要領に基づいた授業改善や「指導と評価の一体化」について具体的に継続して指導していく。

標準学力テストで全国平均を上回る 中学校数(校)





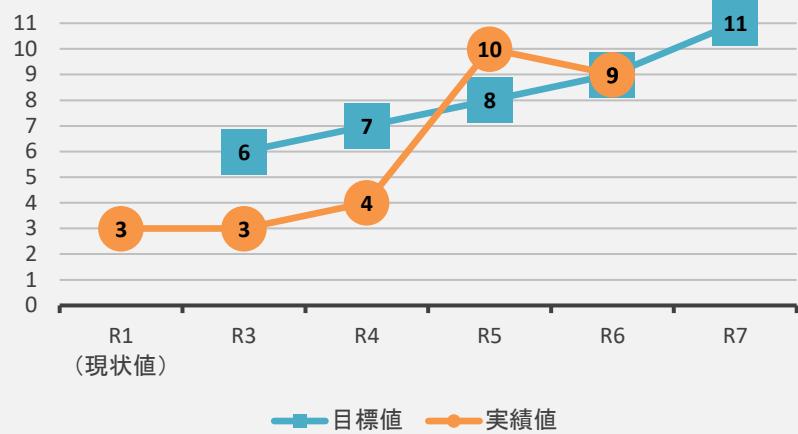
成果

令和元年度と比較すると、全国平均を上回った校数は、小学校では男子が同数の6校、女子が1校減少の4校、中学校では男子が2校増加の4校、女子が2校減少の1校であった。

課題・方向性

全国的に児童生徒の体力低下は否めないが、市小中学校は組織的な体力向上の取組により、中学女子以外は大きく数値を落とさず維持することができた。今後は、生涯スポーツの視点から「体育の授業では、進んで学習に参加している」ことについて指導し、評価していく。

小学生の豊かな心の育成の達成度(校)



担当課
学校教育課

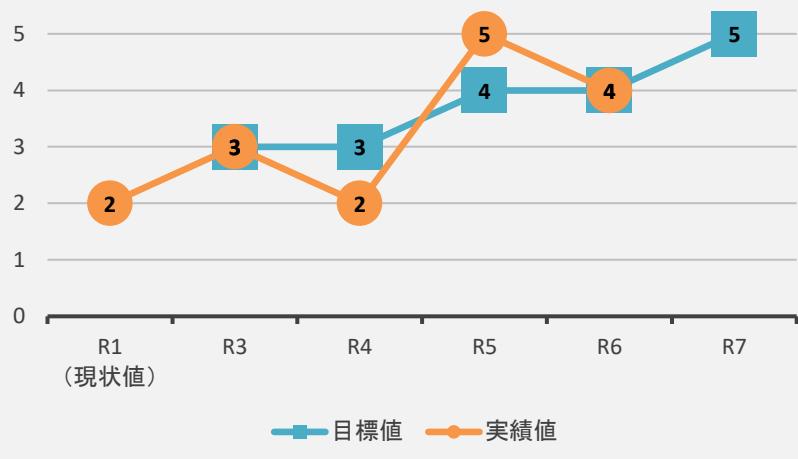
成果

各校の学校評価「豊かな心の育成」の評価は、小学校では2校がB評価で、中学校では1校がC評価であった。全小中学校において、学校が先導役になり、保護者・地域と連携しきめ細かな指導を行ったことで児童生徒の豊かな心の醸成が図られたと考える。

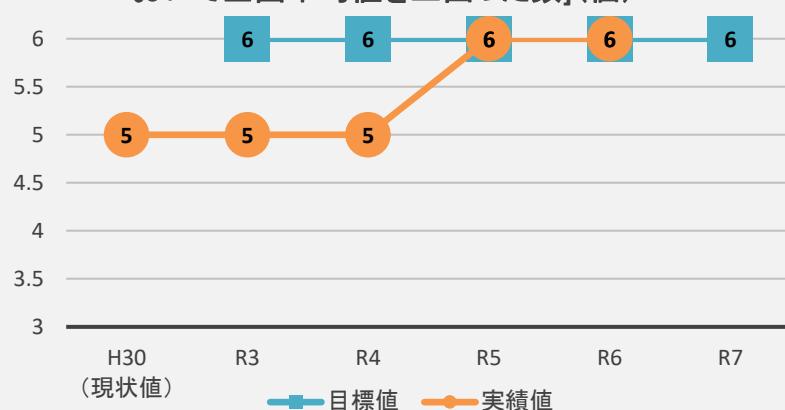
課題・方向性

市内全校コミュニティ・スクールにより、学校と地域が一体となって、地域の教育力を生かし、様々な人たちとの体験活動や交流活動などを通して、あいさつの励行や温かな人間関係づくり、自己有用感の向上を図ることができた。引き続き、地域の教育力を生かした教育活動を推進していく。

中学生の豊かな心の育成の達成度(校)



学校における教育の情報化 [以下6指標において全国平均値を上回った数](個)



担当課
学校教育課

成果

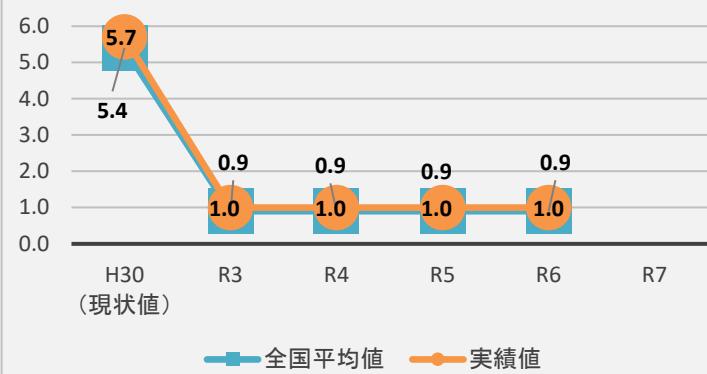
GIGAスクール構想により、ICT環境整備が進み、ICT教育環境、教員の指導力も向上してきている。

課題・方向性

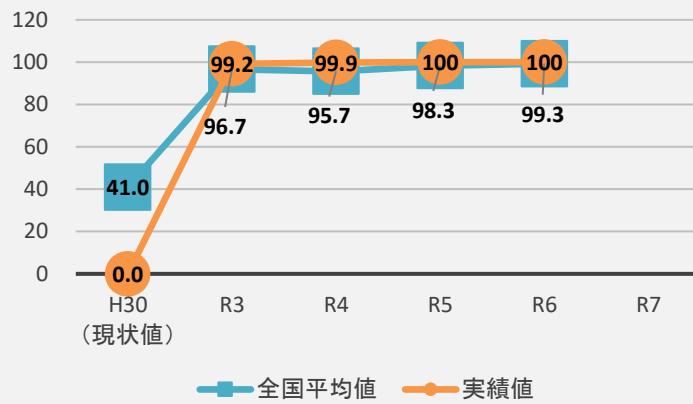
ICT環境整備が進んできていることを踏まえ、教員のICT活用指導力のさらなる向上を目指す。

(内訳)

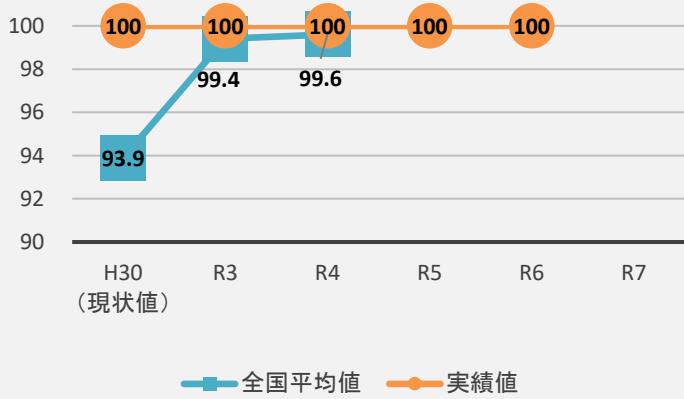
学校における教育の情報化 [教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数](人/台)



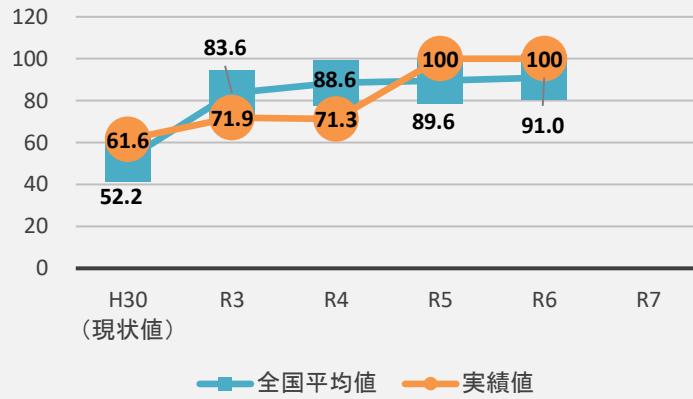
学校における教育の情報化 [普通教室の無線LAN整備率](%)



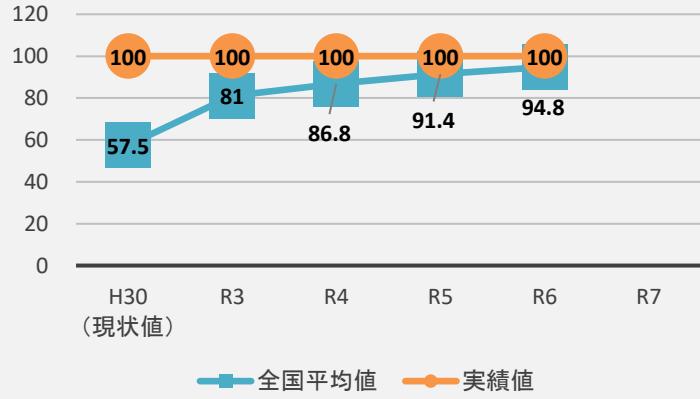
学校における教育の情報化 [インターネット接続率](%)



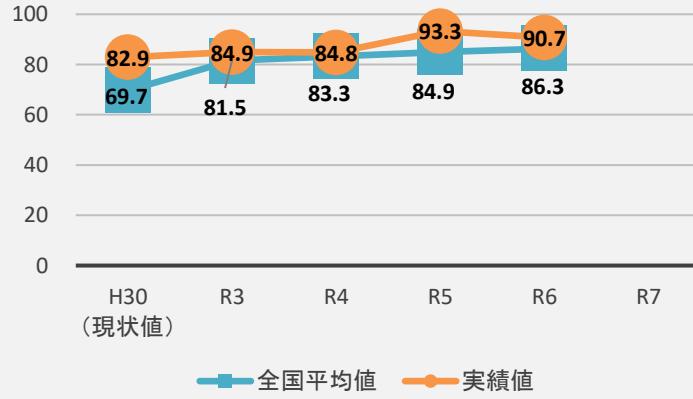
学校における教育の情報化 [普通教室の大型掲示装置整備率](%)



学校における教育の情報化 [統合型校務支援システム整備率](%)



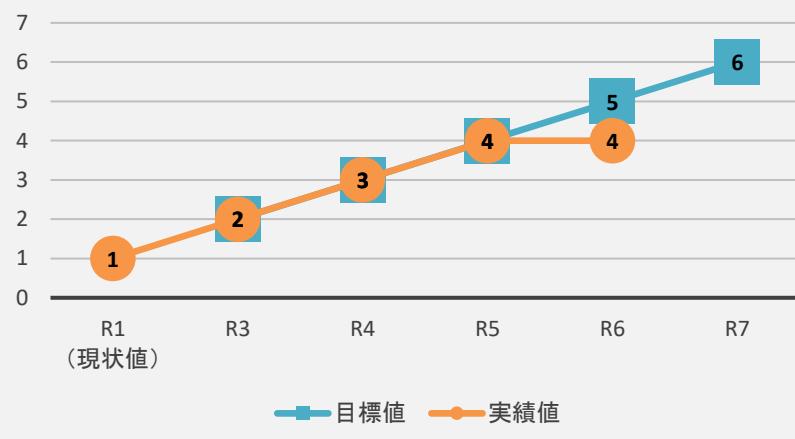
学校における教育の情報化 [教員のICT活用指導力](%)



◆分野13「青少年」

施策目的「心身ともに健全な子どもが育つ家庭や地域の教育力が高いまちになる」

放課後子ども教室開設数（箇所）



担当課
生涯学習課

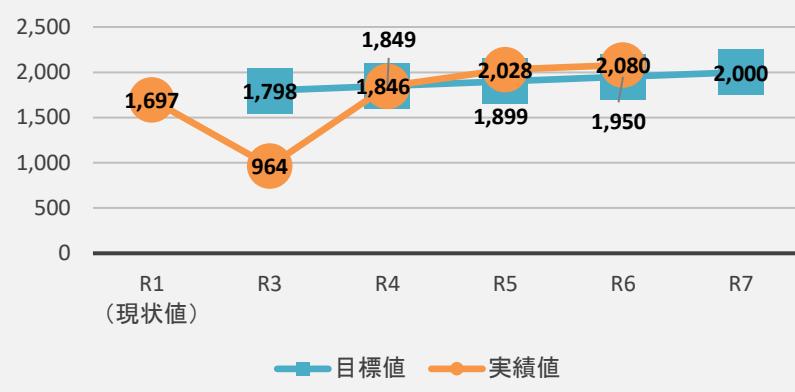
成果

地域学校協働活動の一つである放課後子ども教室を多数の地域住民の参画のもと3学校区においてモデル事業として実施することができた。

課題・方向性

地域の公民館を中心とし、地域で活躍する人材発掘を行うと同時に地域住民の参画を得て、学校を核とした地域づくりに努める。

公民館で開催する少年少女教室の参加者数（人）



担当課
生涯学習課

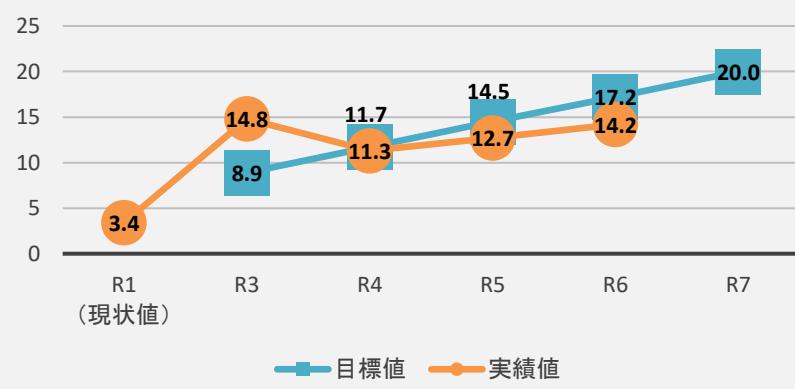
成果

全公民館合同での少年少女教室を開催するなど、令和7年度の目標値を達成することができた。

課題・方向性

実績値を維持しつつ、内容の充実を図る。

インターネット問題に関する講座への参加率（%）



担当課
生涯学習課

成果

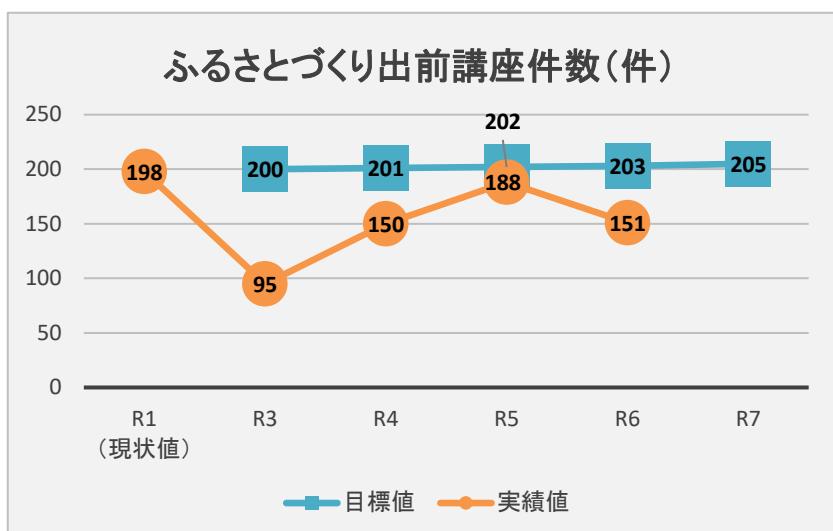
青少推及び補導員会の共同開催にて、ネットパトロールの研究目的を含めた講演会を実施した。

課題・方向性

青少推及び補導員を中心とし、青少年健全育成団体等に講座受講を促し、地域の児童・生徒又はその保護者などへインターネット問題について広く周知を図る。

◆分野14「生涯学習」

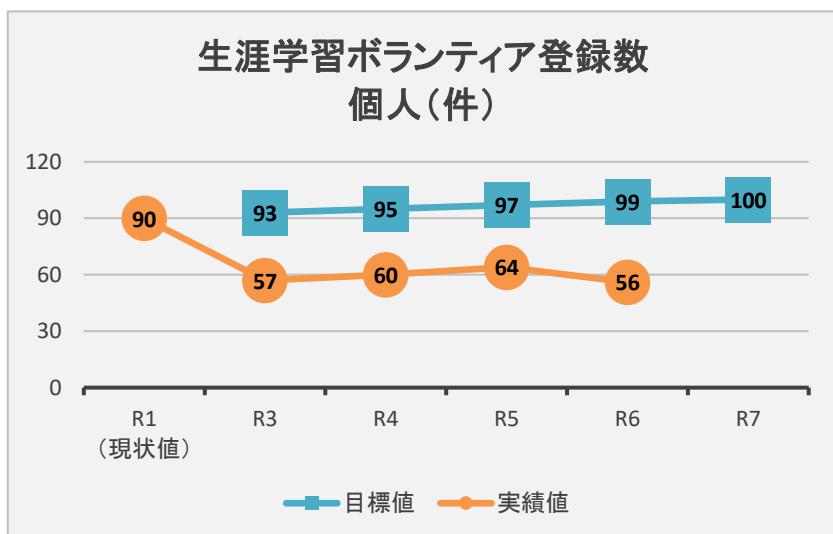
施策目的「生涯にわたって学び続けることができ、生きがいと活力に満ちたまちになる」



担当課
生涯学習課

成果
目標値には達していないが、必要とする市民の学習ニーズには対応することができた。

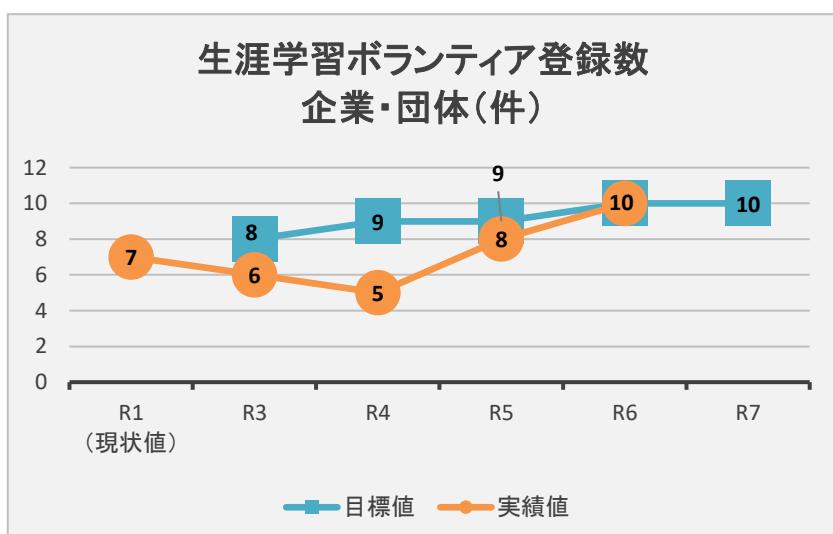
課題・方向性
出前講座メニューの充実と認知度の向上を図り、本市並びに公共機関が推進する事業を市民へ周知啓発する機会の提供を継続する。



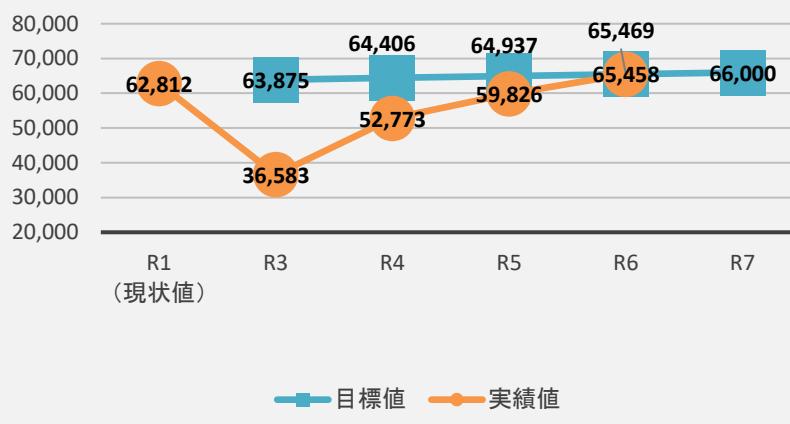
担当課
生涯学習課

成果
新型コロナウイルス感染症の影響により、個人登録数は減少したままだが、団体登録数は増加し、学習機会を提供することができた。

課題・方向性
生涯学習社会の構築には、個人の学習成果を還元する場として、ボランティア講師の活動の場を広げていく必要がある。また、多様な学習ニーズに応えるため、様々な分野で活躍する個人や団体、企業など登録への働きかけをし、今後もより一層のボランティア講師の充実に努める。



向井千秋記念子ども科学館利用者 入館者(平均値)(人)



担当課

向井千秋記念子ども科学館

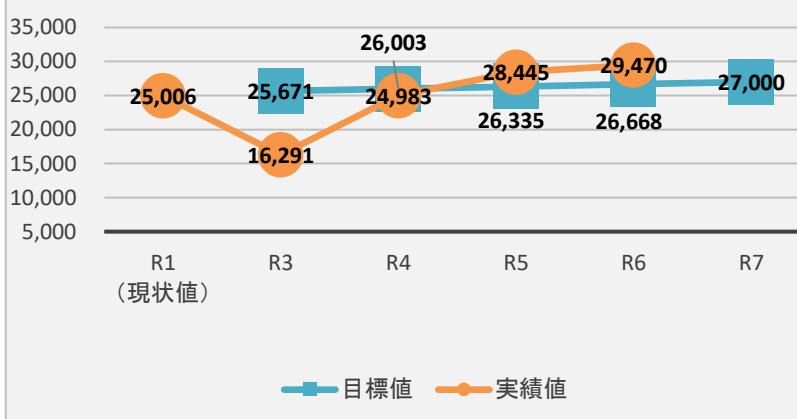
成果

前年対比で入館者数は9.4%、プラネタリウムの観覧者数は3.6%増加している。入館に対するプラネタリウムの観覧率(観覧者数/入館者数)は45%であることから、プラネタリウムを目的に来館している方が多く、令和5年度より導入した「観覧券付入館券」(セット券)の効果が出ている。

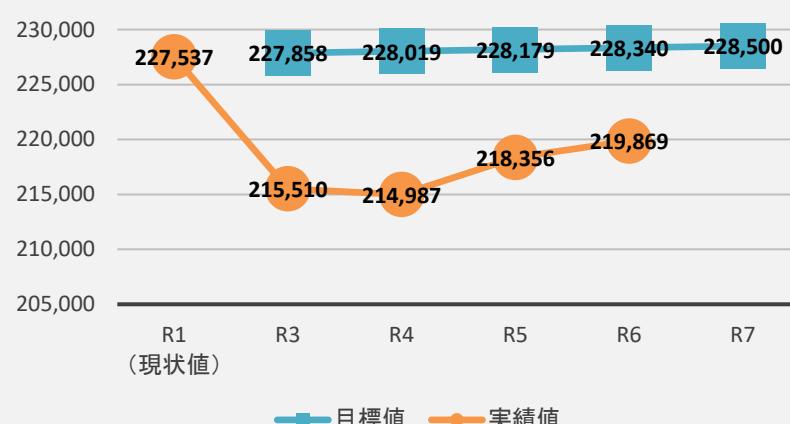
課題・方向性

現在、入館者に対する観覧者の割合は増加しているため、今後もこの水準を維持してリピーターを増やすことが重要である。また、新規の入館者・観覧者の獲得のため、引き続き広報活動に努める。

向井千秋記念子ども科学館利用者 観覧者(平均値)(人)



図書館資料延べ貸出点数(点)



担当課

図書館

成果

コロナ前の数値には戻っていないが、貸出点数は、前年度の218,356点から0.7%の微増となった。

課題・方向性

資料収集方針に基づき、利用者の多様なニーズに対応できるよう蔵書の充実に努めるとともに、利用しやすい環境を整えていく。

【市民アンケート】生涯学習活動(学習機会、公民館活動など)の充実度の満足度(%)

36.4

41.4

30.4

42.4

R1
(現状値)

R3

R4

R5

R6

R7

—■ 目標値 —● 実績値

担当課
企画課

成果

前回調査時と比較して満足度が6.0ポイント減少した。

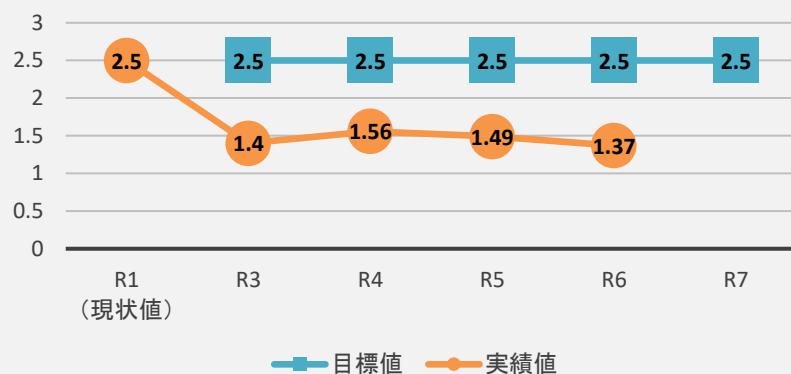
課題・方向性

—

◆分野15「文化」

施策目的「地域の歴史や伝統、芸術や文化に誇りをもち、魅力ある文化を育み、心豊かに暮らせるまちになる」

芸術文化施設における市民1人当たり年間利用回数(回)



担当課
文化振興課

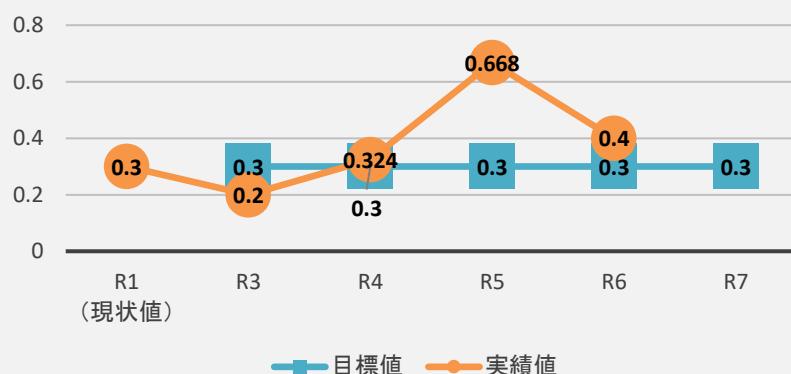
成果

目標値には届かなかったものの、イベント開催の増加傾向により文化会館・芸術ホールともに利用者数が増加した。

課題・方向性

老朽化した施設の維持管理が課題であり、安全安心な施設の利用のため、施設の長寿命化を図っていく。

歴史文化施設における市民1人当たり年間利用回数(回)



担当課
文化振興課

成果

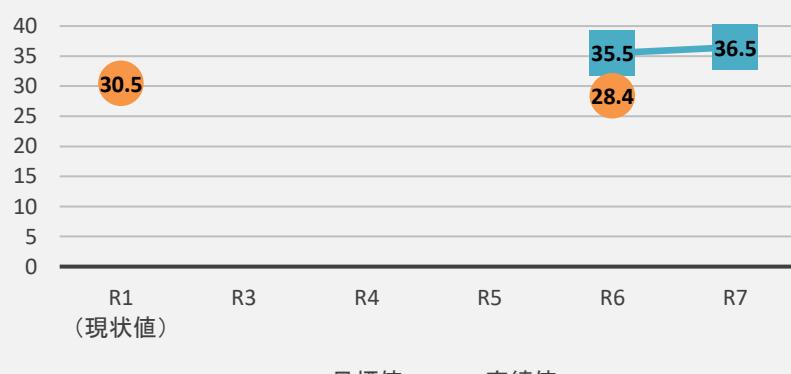
第一資料館及び田山花袋記念文学館において、魅力ある企画展・特別展を開催した結果、入館者数が増加した。また、文化財を活用したイベント「文化財ルネッサンス」の新規活用者を獲得したこと、第二資料館入館者増加につながった。

課題・方向性

魅力ある良質な展示会は担当者のスキルに左右されがちであることから、安定・継続的な展示水準の維持が課題であり、今後も人材育成に努める必要がある。

また、新規入館者獲得が課題であるが、市内にある県立や民間のミュージアム・見学施設との連携による共同イベント等を実施し、回遊性向上のみならず本市がもつ文化の特徴・特色を学習する機会の創出を図ることが重要である。

【市民アンケート】文化活動(文化・芸術、伝統文化、地域活動など)の充実度の満足度(%)



担当課
企画課

成果

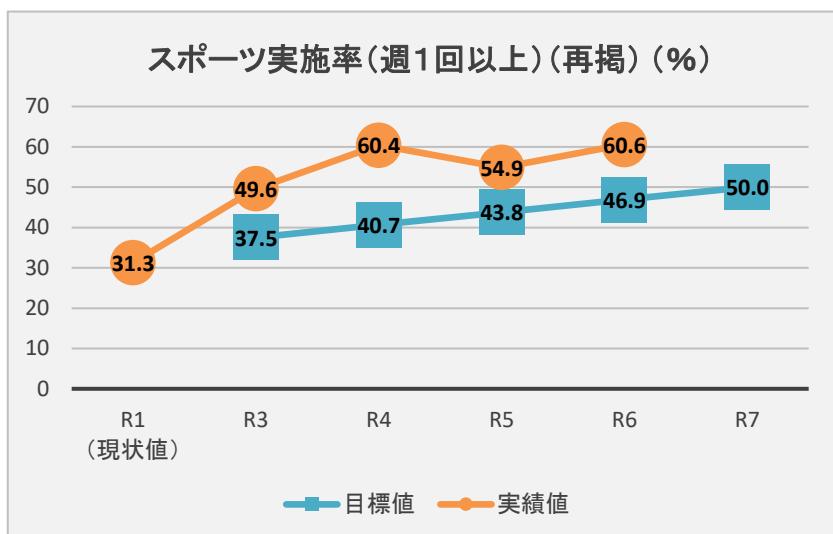
前回調査時と比較して満足度が2.1ポイント減少した。

課題・方向性

-

◆分野16「スポーツ」

施策目的「スポーツを生活に取り入れ、誰もがスポーツを楽しめるまちになる」

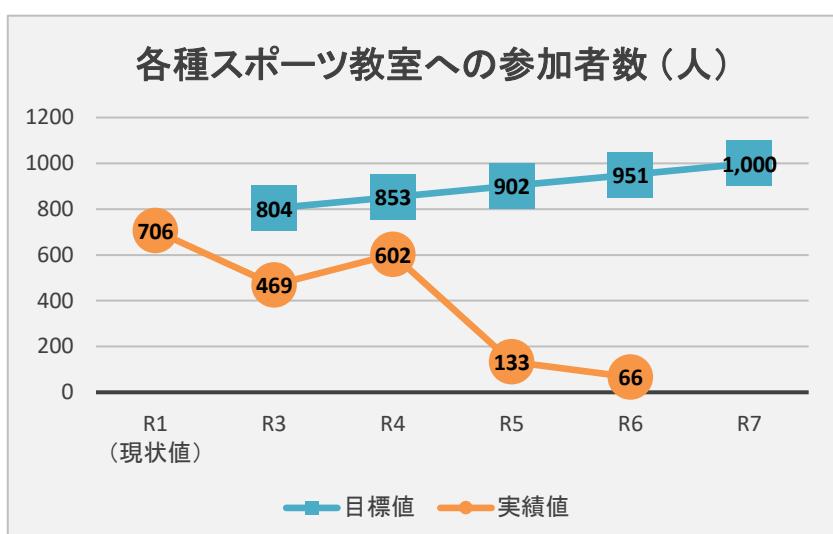


担当課

スポーツ振興課

成果

スポーツ実施率は、スポーツ事業参加者及び公民館利用者等へのアンケートにより算出している。体力の保持増進や健康志向の高まりから各種スポーツ事業への参加意識の向上が見られ、仲間づくりやコミュニケーション形成など、市民それぞれの目的に応じ取り組んでおり、目標値に達することができた。



担当課

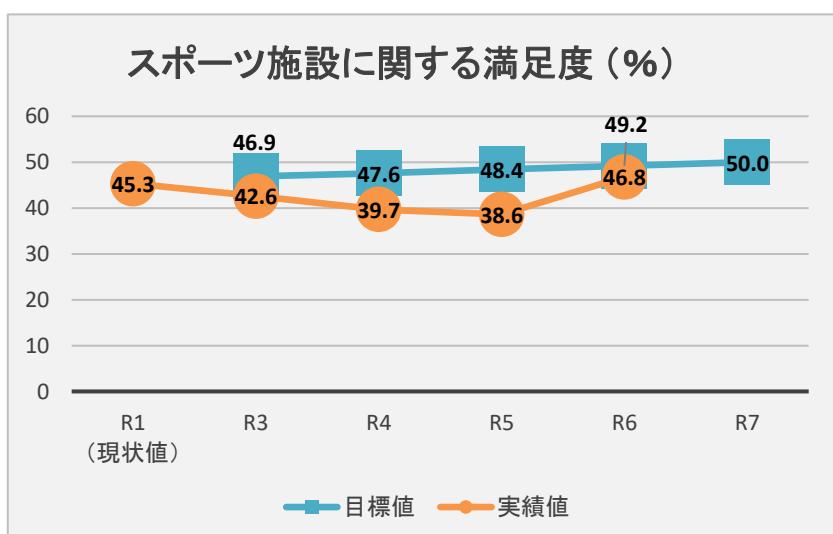
スポーツ振興課

成果

市民がより参加しやすいよう、新種目の導入を図るなどの工夫を試みた。しかし、参加者が集まらず、目標値に達することができなかった。

課題・方向性

市民が気軽にスポーツをする機会を設けて、運動習慣を身に着け、定着化が図れる事業の実施が必要である。



担当課

スポーツ振興課

成果

施設の大半が建設後40年以上経過し、老朽化が進む各スポーツ施設であるが、定期的な点検を実施の上、改修や修繕を行うことで、利用者の安全性を確保することができた。

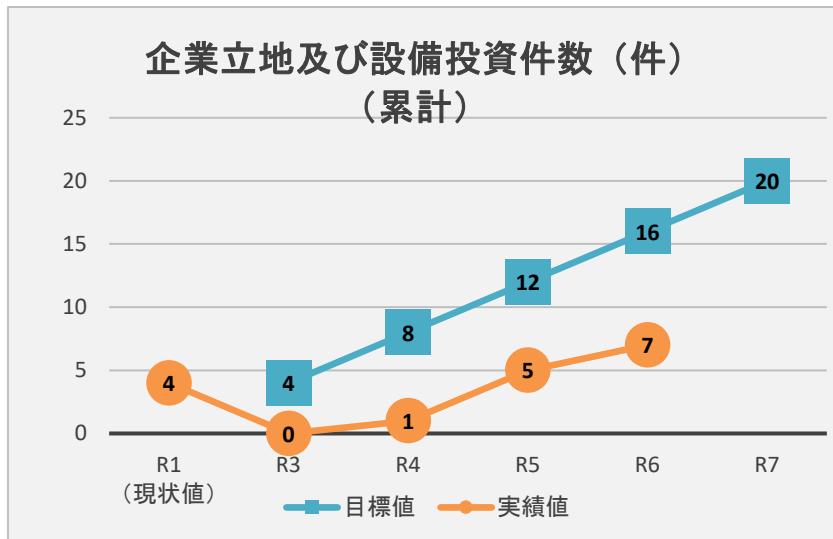
課題・方向性

老朽化した施設の維持・改修のほか、熱中症対策やバリアフリー化など、年間を通して利用者が快適かつ安全にスポーツができる環境を整えていく必要がある。

基本目的IV【経済と都市】都市と自然が調和し 人と産業が躍動する 魅力あるまち

◆分野17「産業」

施策目的「新しい産業と既存産業が調和して発展するまちになる」



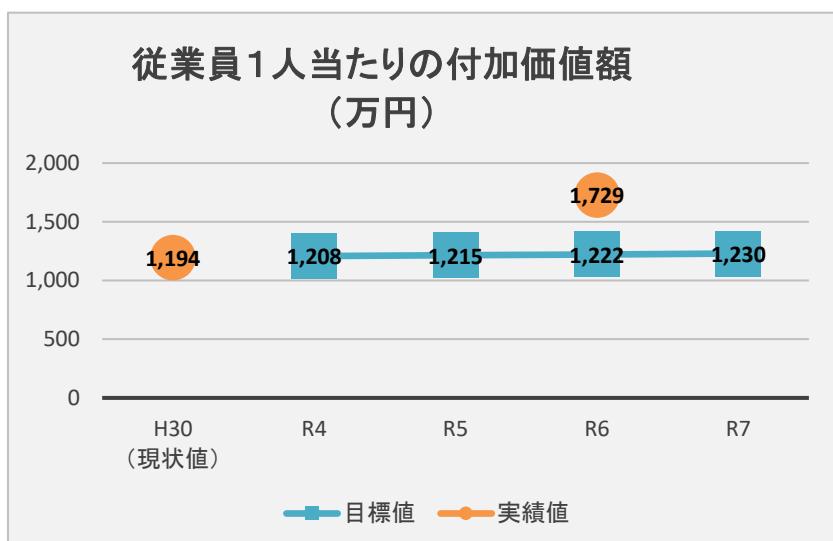
担当課
商工課

成果

国の先端設備導入計画策定に伴う固定資産税の特例により毎年一定数の設備投資が行われている。令和6年度2件、令和5年度4件、令和4年度1件

課題・方向性

企業が立地するための用地の確保が課題。また、本市への立地、又は既存工場の拡張を望む企業ニーズの把握が必要。新規団地造成の動向も踏まえ、各種支援策の検討を進める。



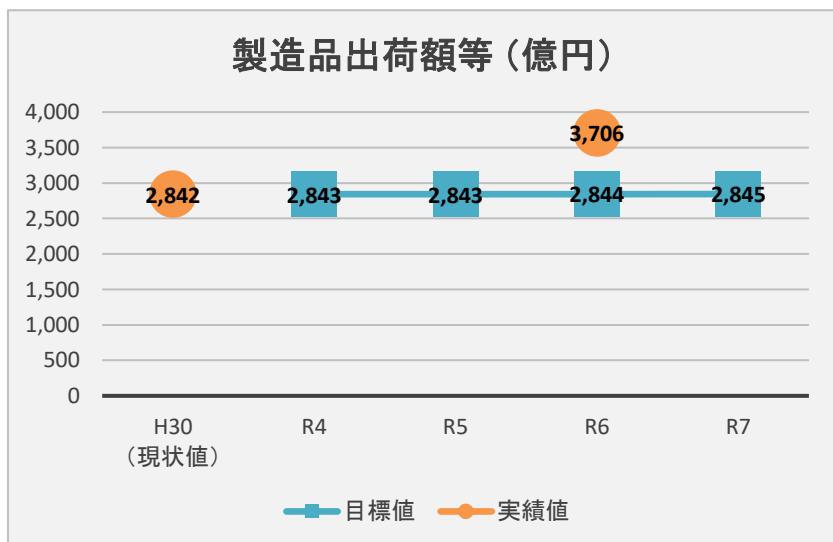
担当課
商工課

成果

年度目標値(1,222万円)を上回るとともに、令和7年度目標値にも達している。

課題・方向性

製造業では人手不足が深刻な課題となっている。現状を維持するためには生産性向上が必要であり、国や県などの支援メニューを斡旋して先端設備の投資を促進する。



担当課
商工課

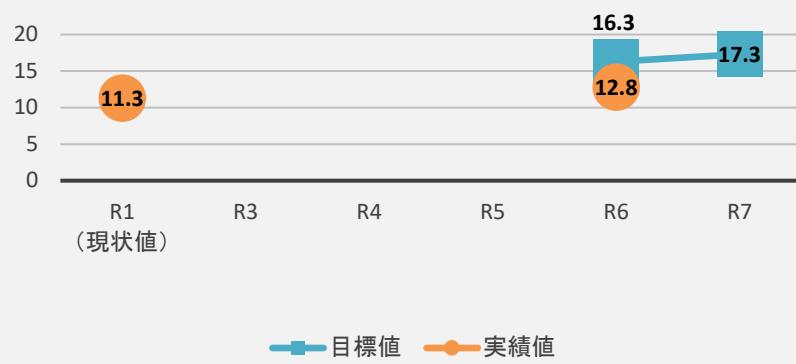
成果

年度目標値(2,844億円)を上回るとともに、令和7年度目標値にも達している。

課題・方向性

現状維持のため、引き続き地場産業（中小企業等）を支援し企業イノベーションや生産性向上を促進する。

【市民アンケート】企業誘致・起業(新規企業誘致、起業など)の振興の満足度(%)



担当課
企画課

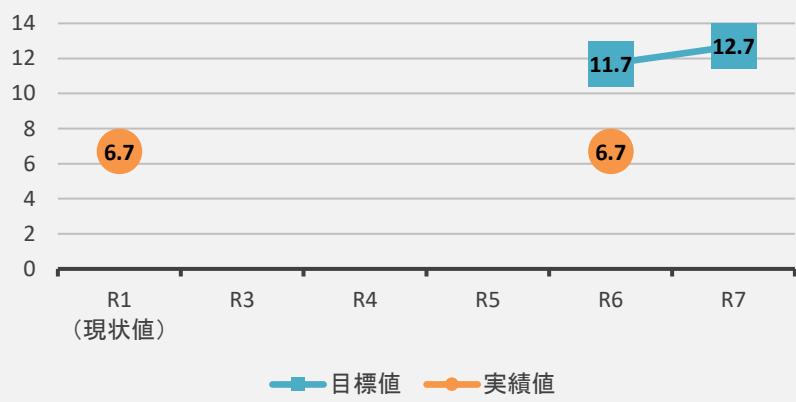
成果

前回調査時と比較して満足度が1.5ポイント増加した。

課題・方向性

—

【市民アンケート】商工業(経営改善、跡取り、担い手など)の振興の満足度(%)



担当課
企画課

成果

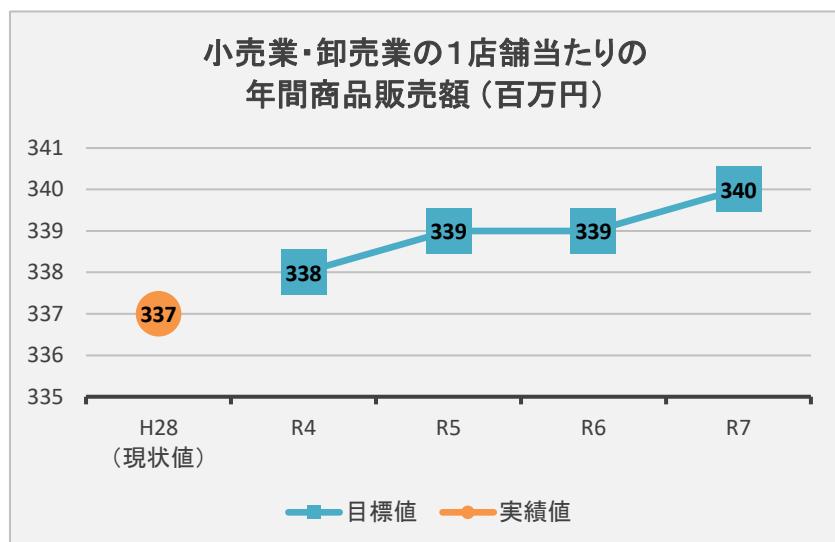
前回調査時から満足度の増減はなかった。

課題・方向性

—

◆分野18「商業」

施策目的「事業者が元気で活力のあるまちになる」



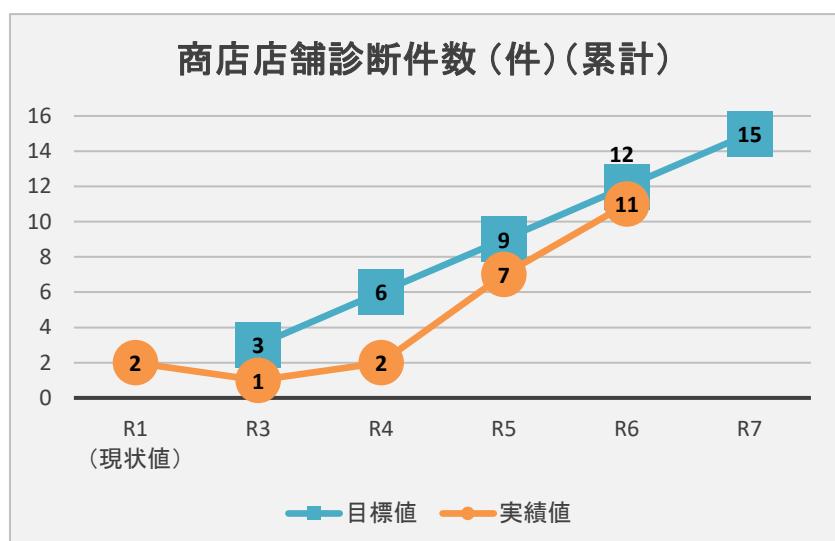
担当課
商工課

成果

-

課題・方向性

-



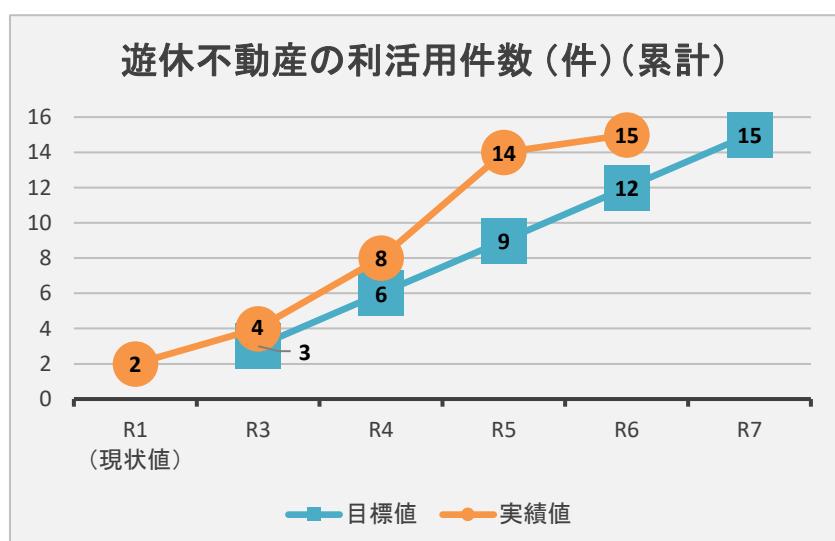
担当課
商工課

成果

中小企業診断士が申込店舗の経営状況等診断を行い、経営継続に向けた課題の洗い出し・アドバイスを行った。

課題・方向性

今後も継続的に診断事業を実施し、地域に根付くような店舗経営の実現に向けた支援を行う。



担当課
商工課

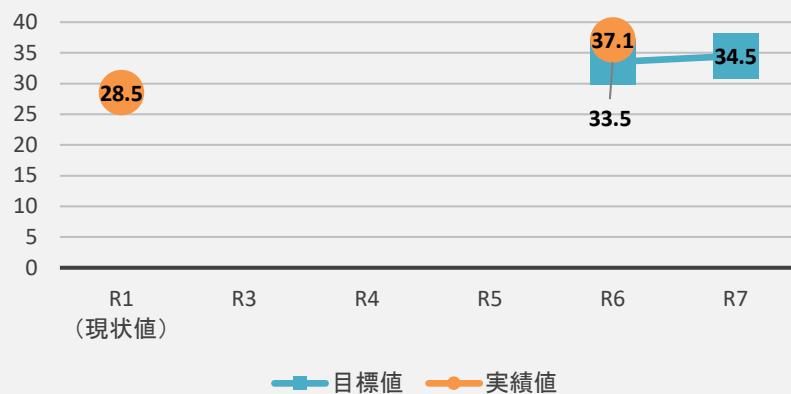
成果

遊休不動産を改装し、新たに店舗とするなどして利活用を図った。

課題・方向性

空き店舗等の遊休不動産を利活用される方に対して支援を行うことで、経済活動の活性化を図る。

【市民アンケート】買物(商店、スーパーなど)の便利さ、まちなかのにぎわいの満足度(%)



担当課
企画課

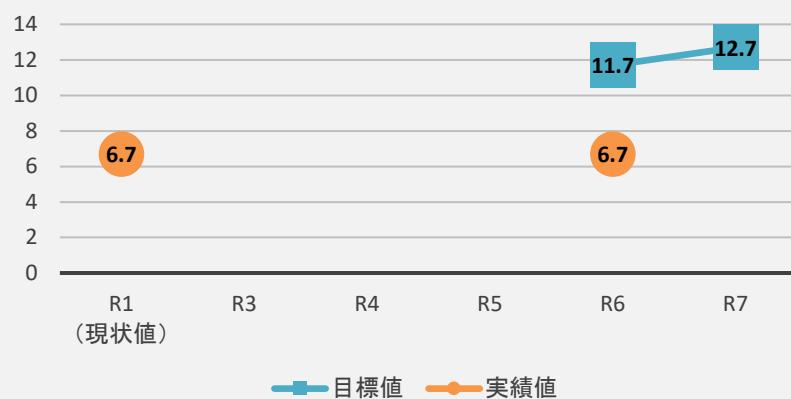
成果

前回調査時と比較して満足度が8.6ポイント増加した。

課題・方向性

-

【市民アンケート】商工業(経営改善、跡取り、担い手など)の振興の満足度(%)



担当課
企画課

成果

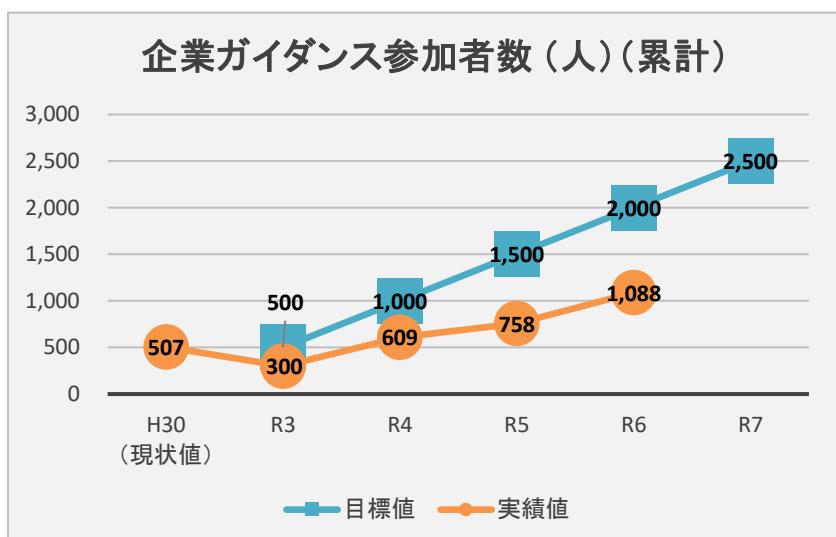
前回調査時から満足度の増減はなかった。

課題・方向性

-

◆分野19「労働環境」

施策目的「生き生きと安心して働ける環境が整ったまちになる」



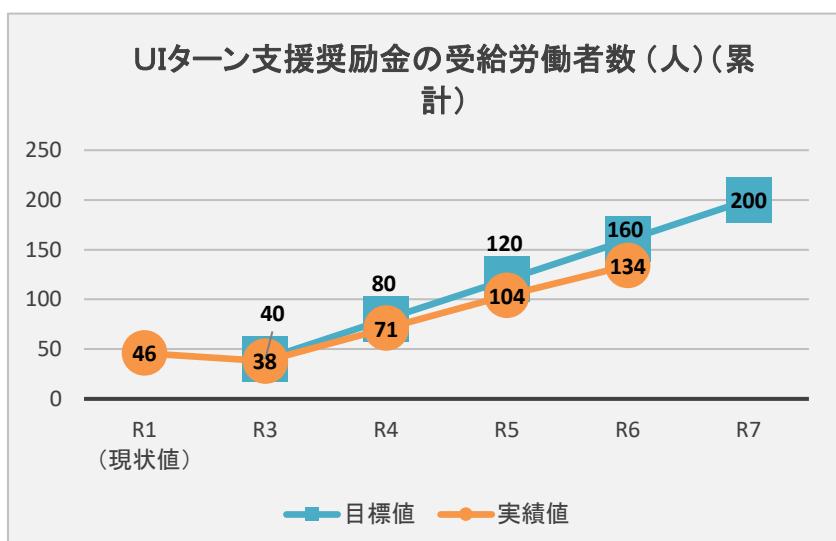
担当課
商工課

成果

西邑楽高校、関東学園大学附属高校、板倉高校、館林商工で出張ガイダンスを開催。延べ30社が学生330人に対して企業説明を行った。

課題・方向性

進学率の向上により、館林邑楽地域内の高校生の就職が少なくなっている。事業の在り方について検討を進める。



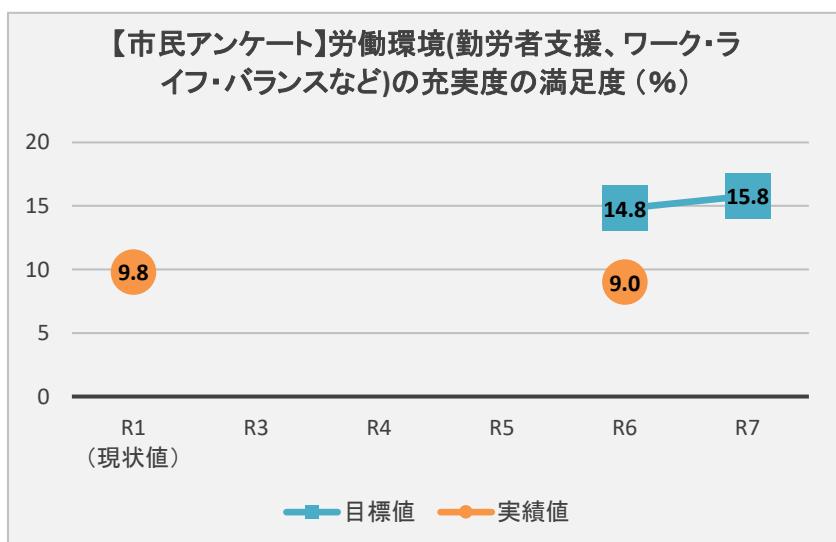
担当課
商工課

成果

7社30名に奨励金を支給した。

課題・方向性

少子化の影響で企業が人材確保することが非常に難しくなっている。また、近隣に比べ低賃金であることから、域外への労働力の流出も懸念される。待遇改善等による企業の魅力向上や自社の情報発信の必要性について、企業への働きかけを推進する。



担当課
企画課

成果

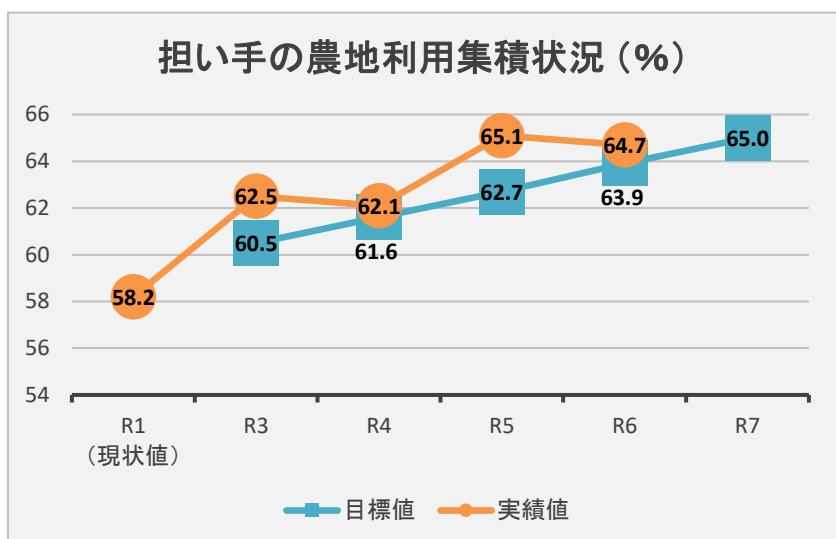
前回調査時と比較して満足度が0.8ポイント減少した。

課題・方向性

-

◆分野20「農業」

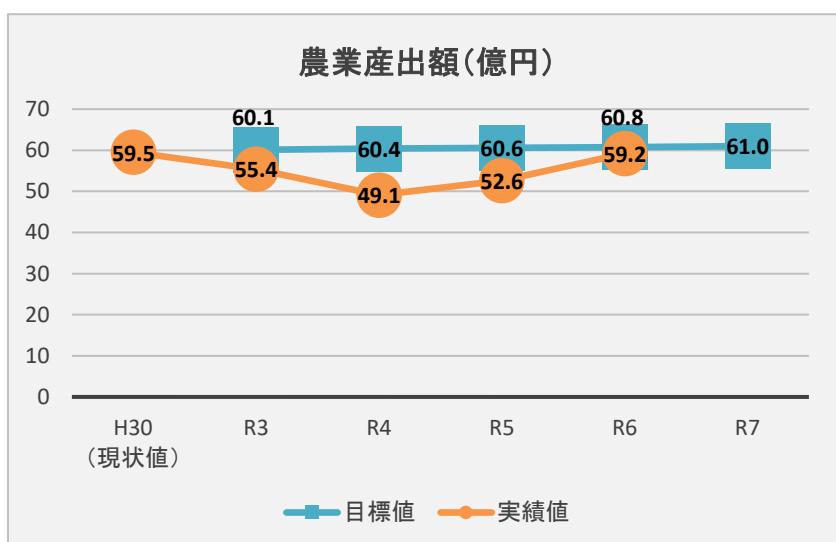
施策目的「安全で魅力ある農産物を安定して提供できるまちになる」



担当課
農業振興課

成果
担い手の農地利用集積状況は、昨年度よりは低下しているが、農地中間管理事業の取り組み効果が出ている。

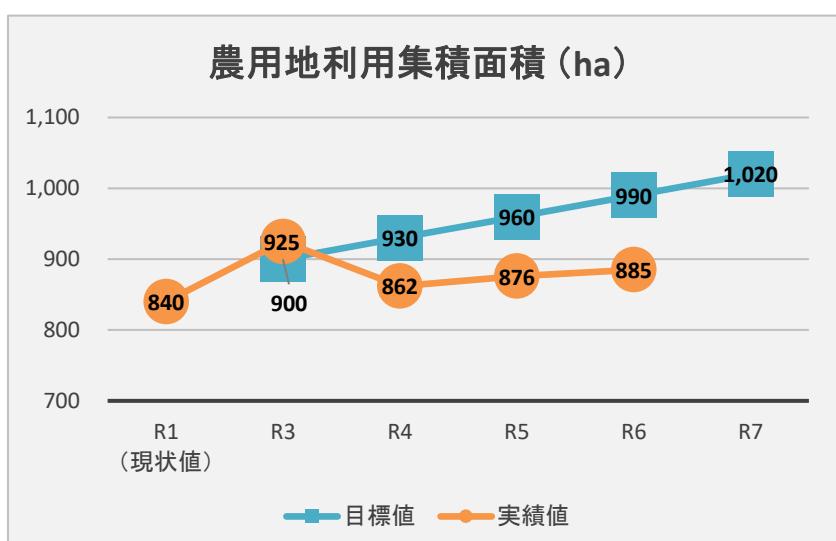
課題・方向性
農業従事者の高齢化や後継者不足により遊休農地や耕作放棄地の増加が予想されるが、引き続き、農地利用の最適化の促進を図る。



担当課
農業振興課

成果
農産物出荷額は、昨年度より増加しているが、新型コロナウイルス感染症の影響がまだあり、消費低迷の要因と思われる。

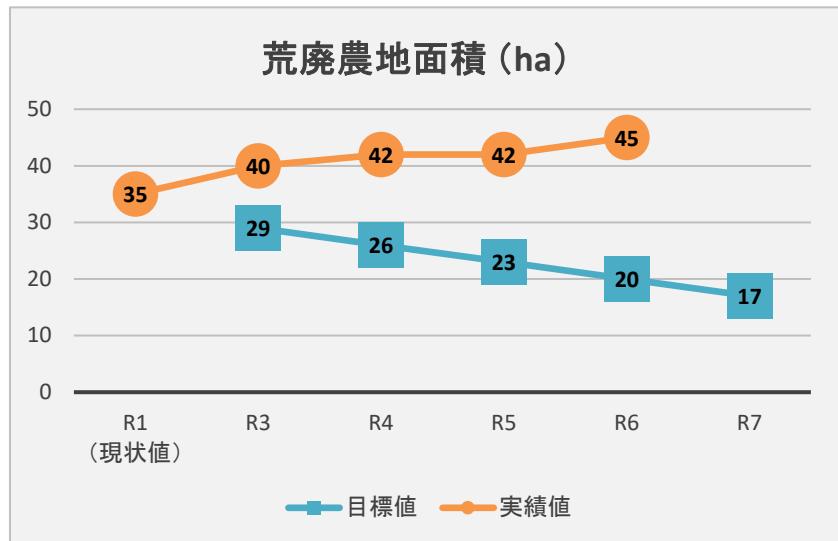
課題・方向性
農業従事者の高齢化や後継者不足や資材高騰など情勢が不安定なため、引き続き各種政策を通じて支援を行う。



担当課
農業委員会事務局

成果
農用地利用集積状況は、年度目標を下回っている。要因としては、農業従事者の高齢化や後継者不足、新規就農者の減少などにより農地の集積・集約化が図れなかつたことが考えられる。

課題・方向性
農業従事者の高齢化や後継者不足などにより遊休農地の増加が予想されるが、引き続き、農地利用の最適化の促進を図る。



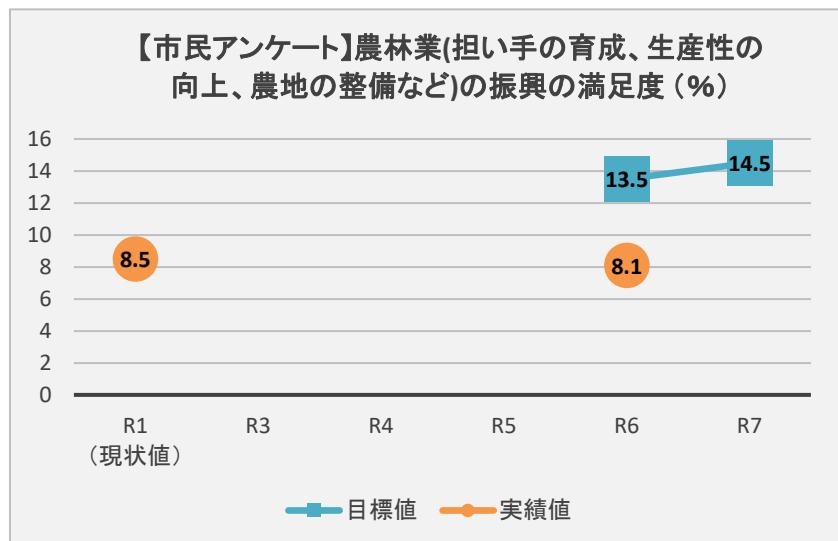
担当課
農業委員会事務局

成果

農業従事者の高齢化等に伴い離農農家の増加や生産性が低く耕作不便農地などにより耕作されない農地が増えているため、令和6年度の目標値(20ha)まで解消することは達成できなかった。

課題・方向性

農業従事者の高齢化や後継者不足のほか、生産性が低く耕作不便農地などにより耕作されない農地が増加しているため、引き続き、遊休農地の発生防止の呼びかけや農地パトロールによる早期発見に努める。また、農地中間管理機構の活用や担い手への農地集積・集約化を推進することによって遊休農地の解消に努める。



担当課
企画課

成果

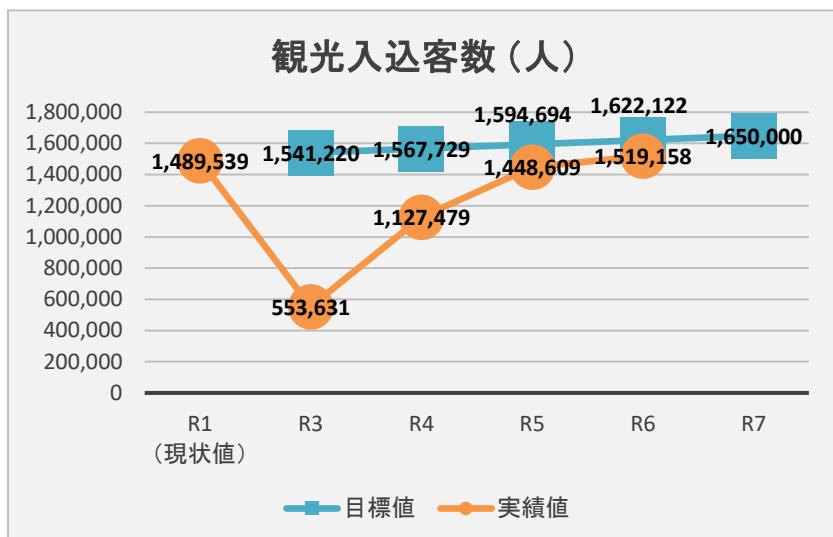
前回調査時と比較して満足度が0.4ポイント減少した。

課題・方向性

-

◆分野21「観光」

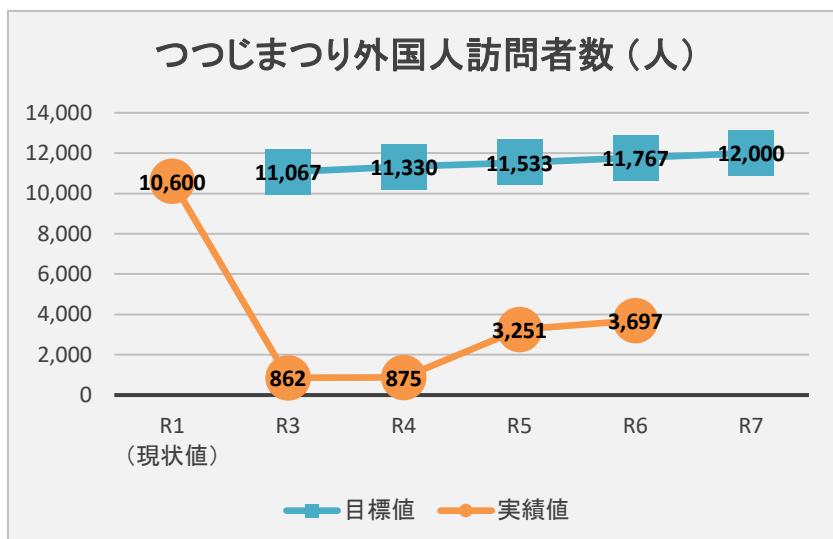
施策目的「多くの人々から愛される活力と魅力あふれるまちになる」



担当課
つつじのまち観光課

成果
HOTEL KOMORINUのオープンなど新規観光コンテンツにより観光入込数が前年からは若干増加した。

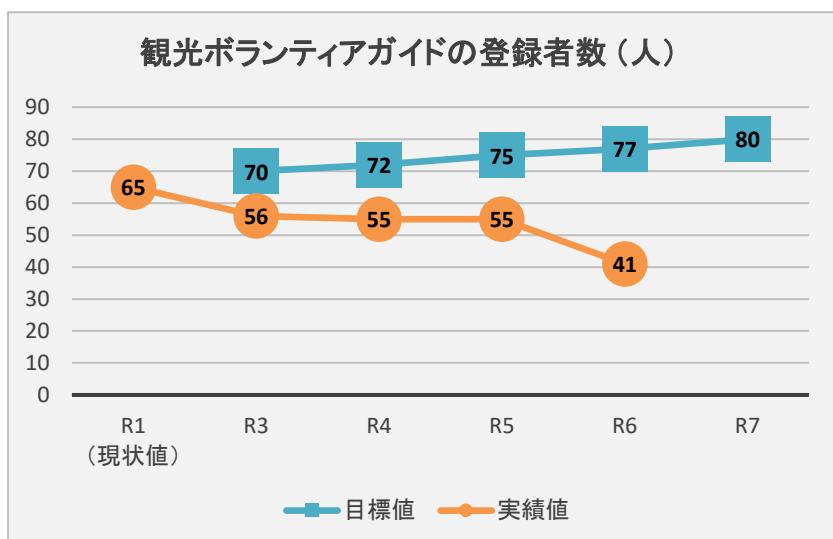
課題・方向性
既存の観光イベントのブラッシュアップや積極的な情報発信、里沼やアニメマーリズム等の新規コンテンツの開発により入込数の増加を目指す。



担当課
つつじのまち観光課

成果
前年と比べ、つつじまつり全体で、コロナ禍で減少していたツアーバスの増加もあったことから、インバウンド観光客も増加がみられたが、目標値とはまだ乖離がある。

課題・方向性
群馬県等と連携し、外国人旅行会社向け情報サイトへの記事の投稿や観光商談会等を活用し広くPRを図る。

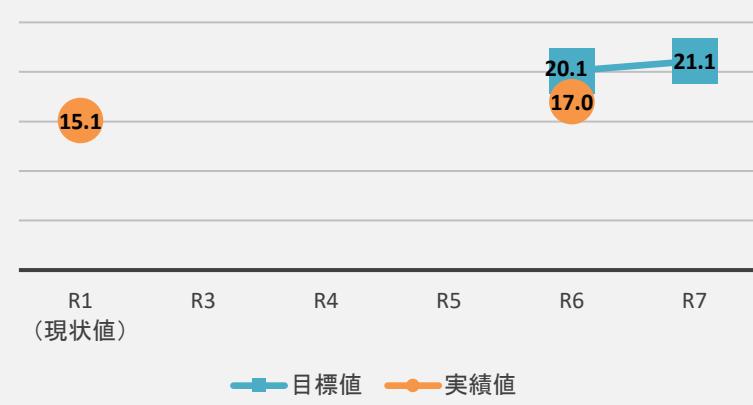


担当課
つつじのまち観光課

成果
高齢化等の影響で、会員数が大幅に減少してしまった。

課題・方向性
観光客等からの要請に対応できるよう、適宜ボランティアの育成研修や・支援等を実施し、案内技術の向上を図る。また、高齢化が課題となっているため、登録者の確保に務める。

【市民アンケート】観光産業(観光資源の活用、PRなど)の振興の満足度(%)



担当課
企画課

成果

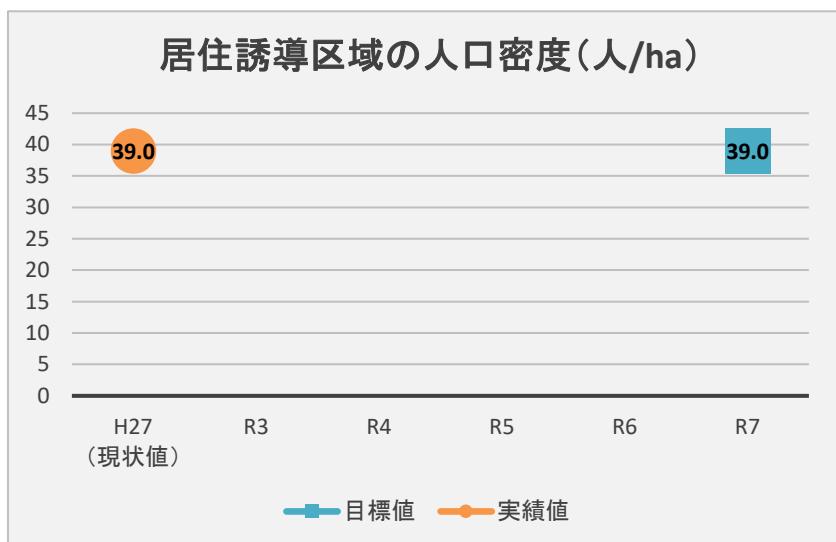
前回調査時と比較して満足度が1.9ポイント増加した。

課題・方向性

-

◆分野22「まちのにぎわい」

施策目的「人が集まり、市民自らがつくる、にぎわいと魅力あるまちになる」



担当課
都市計画課

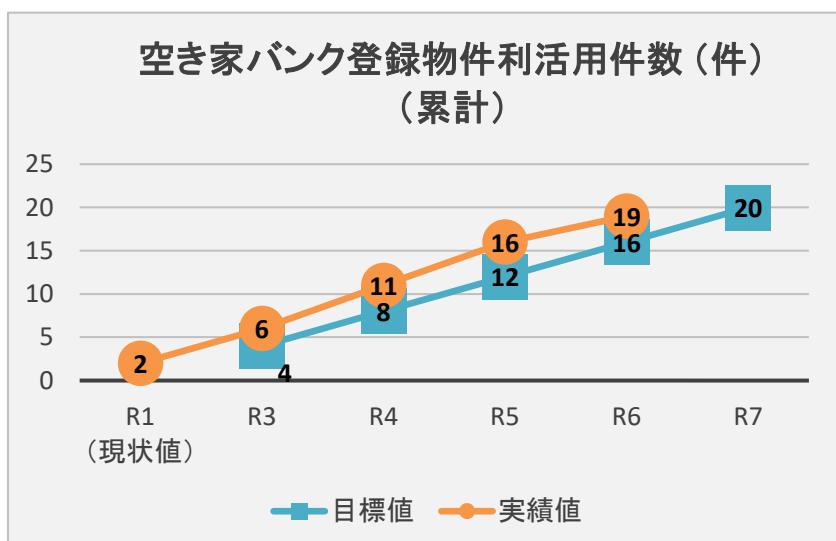
成果

立地適正化計画の中で示した誘導施策の進捗管理を行い、各課と連携し、居住誘導区域内の人口密度を維持できるような施策内容であるか検討を行つた。

課題・方向性

社会情勢の変化や関連計画の改定など、関連する状況の変化に対応しながら各施策の進捗管理を行い、各施策の位置づけや内容について今後も担当課と検討をしていく。

検討結果を踏まえ、立地適正化計画の改定を行う。



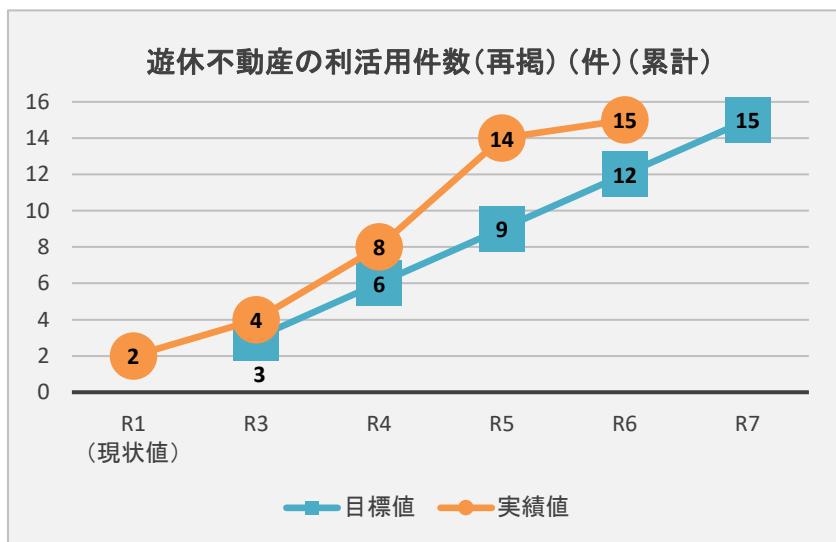
担当課
企画課

成果

令和6年度の利活用件数は3件であり、前年度実績(5件)からやや数値が低下した。

課題・方向性

利活用推進のためには、空き家バンクの登録物件を増やす必要があるものの、現状1軒となっていることから、市内の不動産会社に働きかけるなどして、登録物件を増やしていく。



担当課
商工課

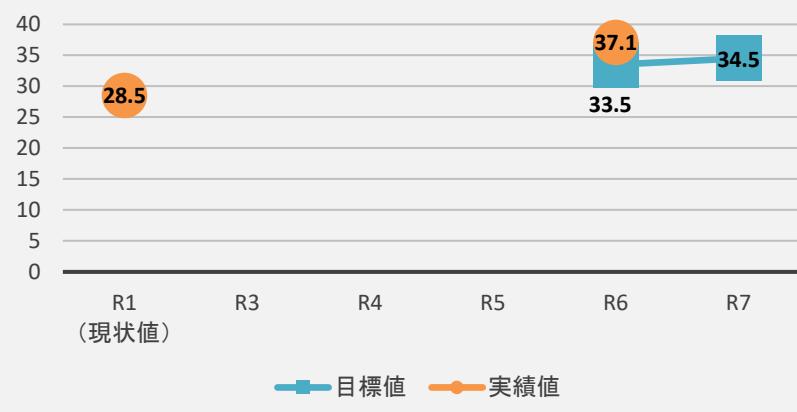
成果

遊休不動産を改装し、新たに店舗とするなどして利活用を図った。

課題・方向性

空き店舗等の遊休不動産を利活用される方に対して支援を行うことで、経済活動の活性化を図る。

【市民アンケート】買物(商店、スーパーなど)の便利さ、まちなかのにぎわいの満足度(%)



担当課
企画課

成果

前回調査時と比較して満足度が8.6ポイント増加した。

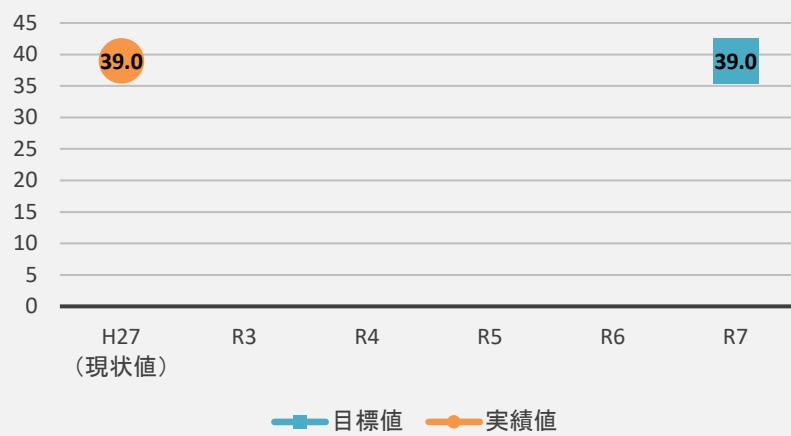
課題・方向性

—

◆分野23「土地利用」

施策目的「地域性に応じた土地利用ができているまちになる」

居住誘導区域の人口密度(人/ha)



担当課
都市計画課

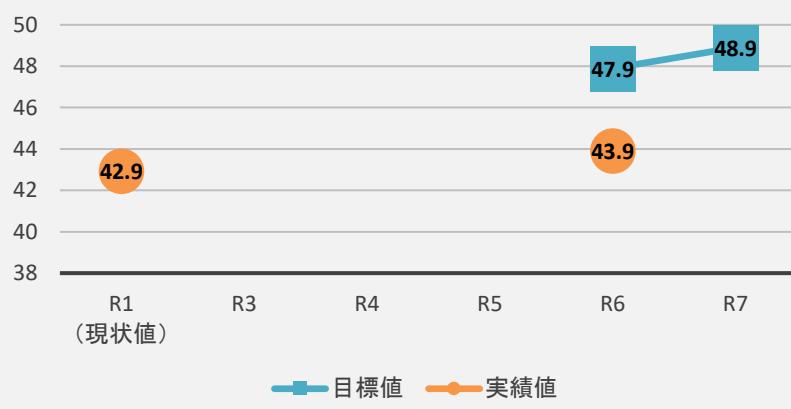
成果

立地適正化計画の中で示した誘導施策の進捗管理を行い、各課と連携し、居住誘導区域内の人口密度を維持できるような施策内容であるか検討を行つた。

課題・方向性

社会情勢の変化や関連計画の改定など、関連する状況の変化に対応しながら各施策の進捗管理を行い、各施策の位置づけや内容について今後も担当課と検討をしていく。
検討結果を踏まえ、立地適正化計画の改定を行う。

【市民アンケート】景観(まちなみ、自然・農地の風景など)の美しさの満足度(%)



担当課
企画課

成果

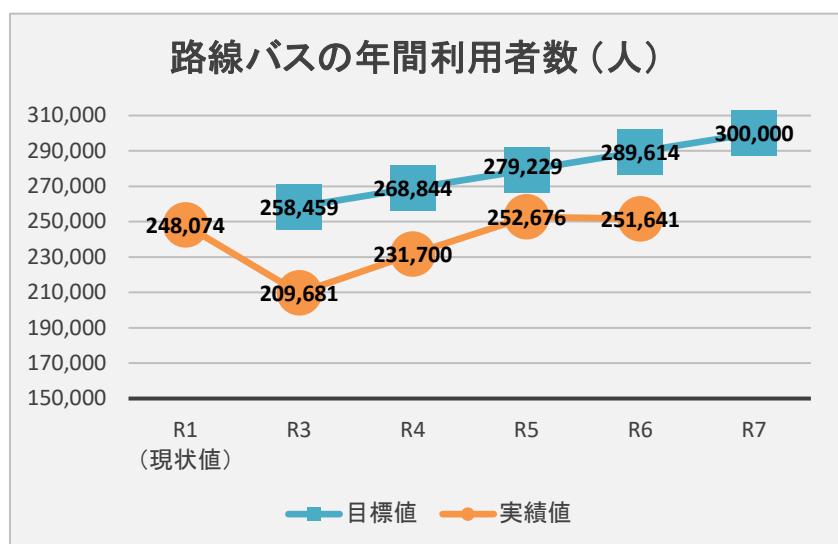
前回調査時と比較して満足度が1.0ポイント增加了。

課題・方向性

-

◆分野24「道路・交通」

施策目的「人や物が安全で快適に移動できるまちになる」



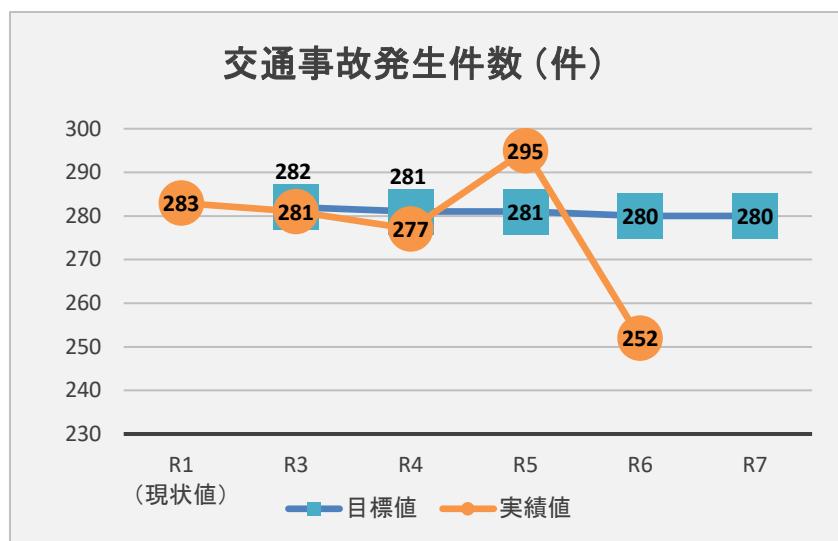
担当課
安全安心課

成果

館林都市圏地域公共交通計画に基づき、広域路線2路線の経路変更、市内生活路線1路線の経路変更及びダイヤ改正を行った。
利用促進事業としては、沿線高校への啓発チラシ配布や乗り方教室を実施した。

課題・方向性

館林都市圏地域公共交通計画に基づく施策を推進することにより、暮らしに寄り添う交通ネットワークの構築に取り組み、利用者数の増加を目指す。



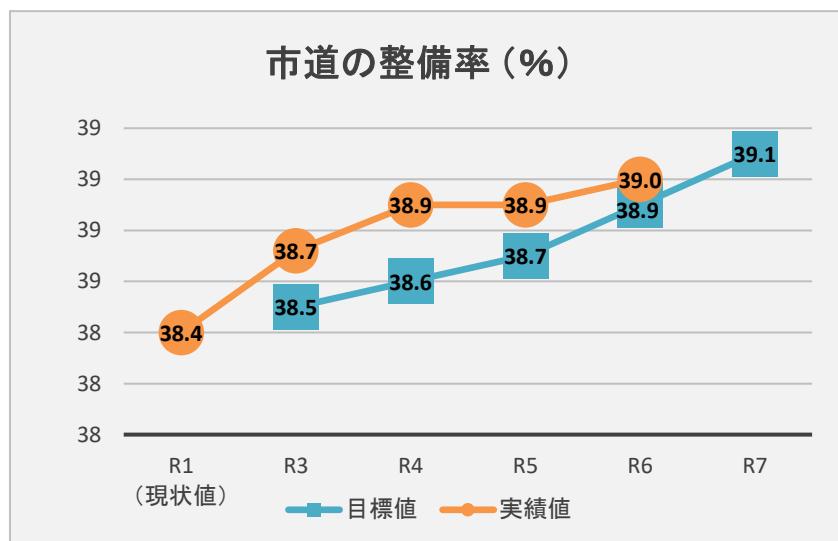
担当課
安全安心課

成果

関係機関・団体と連携し交通安全運動を実施するとともに、地域要望等に基づき、交通安全施設の整備・維持に努めた。

課題・方向性

関係機関・団体と連携し啓発に取り組むとともに、交通安全施設整備の推進を図る。



担当課
道路河川課

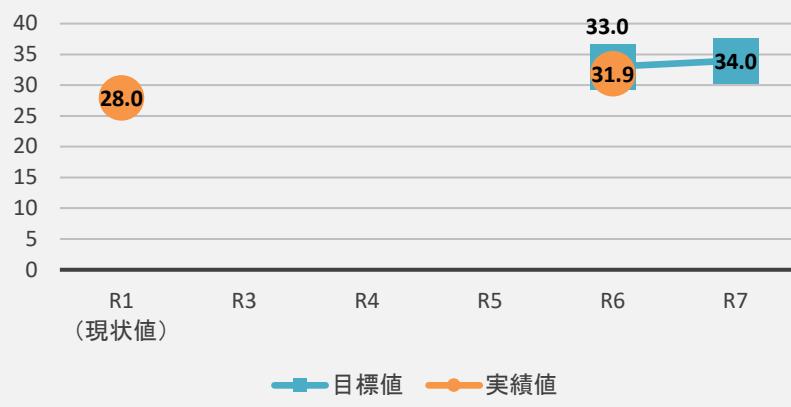
成果

継続的に整備している路線の完成と、民間開発行為による道路の市への帰属により整備率が上昇した。

課題・方向性

着手中の路線の整備を進めるとともに、予算確保の促進による要望道路の整備を進める。

【市民アンケート】交通安全(意識啓発、交通安全施設などの整備)の対策の満足度 (%)



担当課
企画課

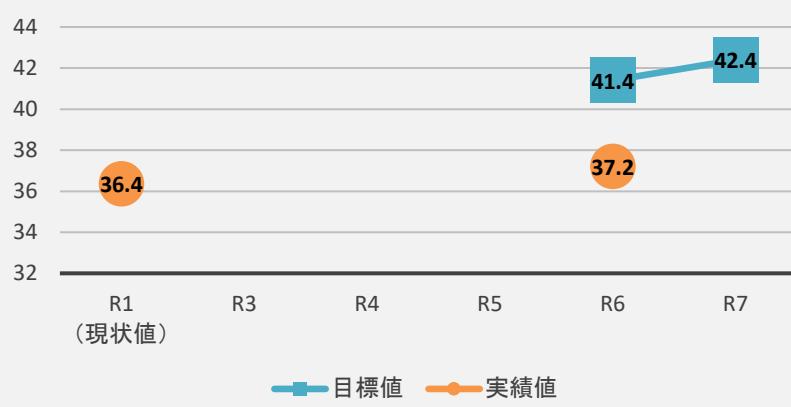
成果

前回調査時と比較して満足度が3.9ポイント増加した。

課題・方向性

-

【市民アンケート】道路網(国道、県道、市道など)の充実度の満足度 (%)



担当課
企画課

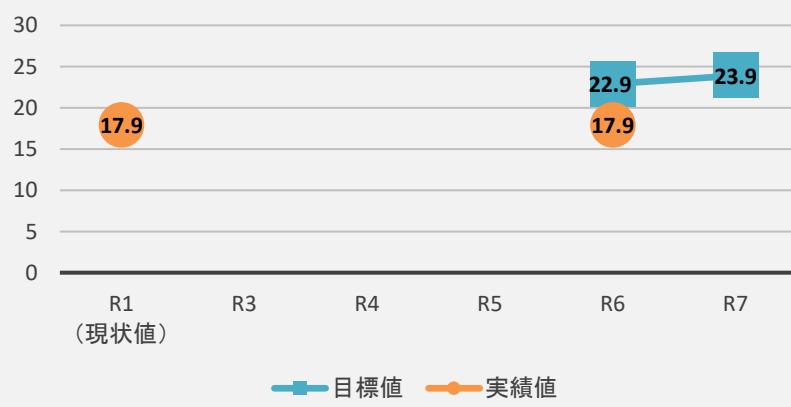
成果

前回調査時と比較して満足度が0.8ポイント増加した。

課題・方向性

-

【市民アンケート】公共交通(鉄道・バスなど)の充実度の満足度 (%)



担当課
企画課

成果

前回調査時から満足度の増減はなかった。

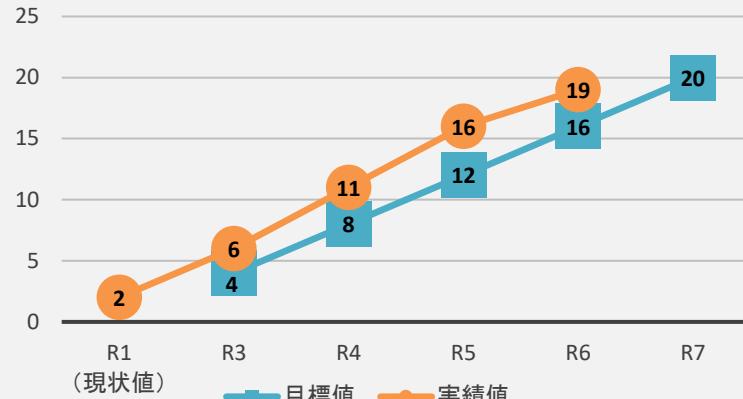
課題・方向性

-

◆分野25「居住環境」

施策目的「快適な居住環境で暮らしやすいまちになる」

空き家バンク登録物件利活用件数(再掲)(件)
(累計)



担当課
企画課

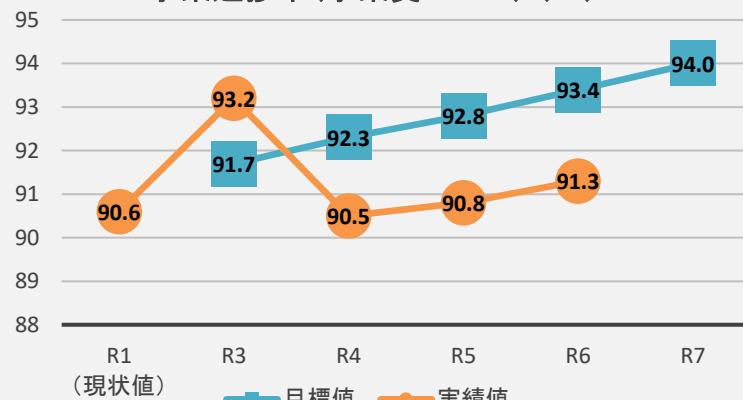
成果

令和6年度の利活用件数は3件であり、前年度実績(5件)からやや数値が低下した。

課題・方向性

利活用推進のためには、空き家バンクの登録物件を増やす必要があるものの、現状1軒となっていることから、市内の不動産会社に働きかけるなどして、登録物件を増やしていく。

西部第一南地区画整理事業
事業進捗率(事業費ベース) (%)



担当課
区画整理課

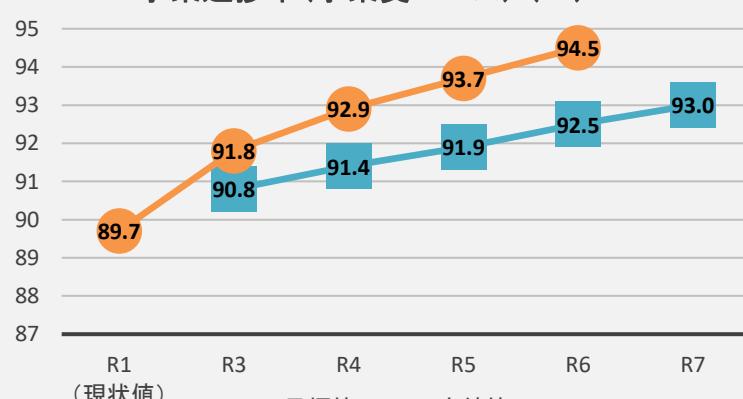
成果

令和6年度末現在での進捗状況は、仮換地指定率97.9%、道路築造率94.7%、建物移転率98.3%である。

課題・方向性

難航地権者の強固な反対により事業進捗に支障をきたしている。難航地権者と交渉を進め、区画道路等の整備、移転補償等を推進していく。

西部第一中地区画整理事業
事業進捗率(事業費ベース) (%)



担当課
区画整理課

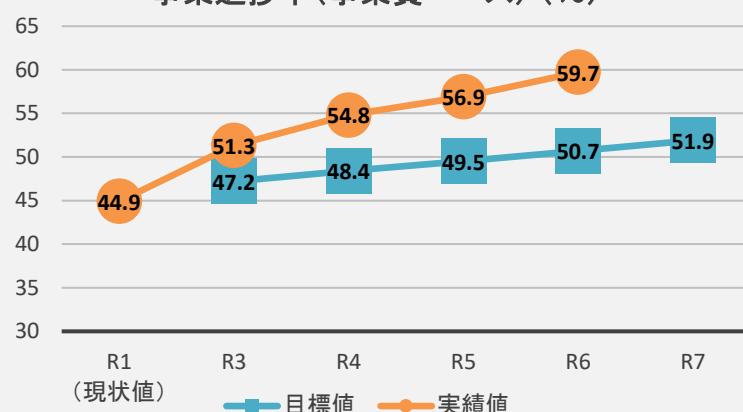
成果

令和6年度末現在での進捗状況は、仮換地指定率100%、道路築造率96.4%、建物移転率99.5%である。

課題・方向性

事業の終盤に差し掛かっているが、未移転物件が数件残っている。未移転物件との交渉を進め、事業完了に向けた事業展開を計画的に行っていく。

西部第二土地区画整理事業 事業進捗率(事業費ベース) (%)



担当課
区画整理課

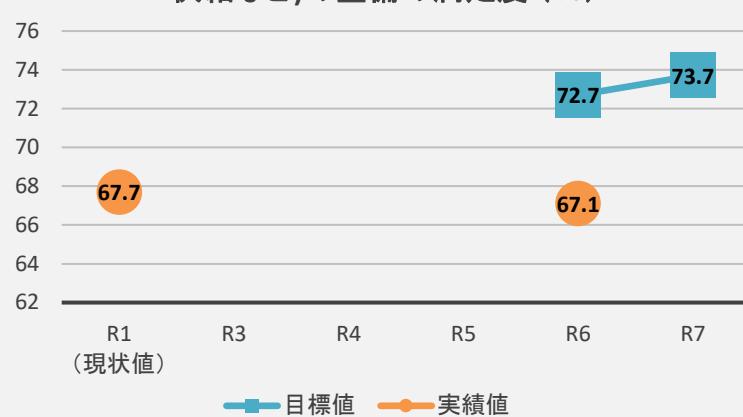
成果

令和6年度末現在での進捗状況は、仮換地指定率96.2%、道路築造率53.7%、建物移転率56.4%である。

課題・方向性

本地区の事業進捗による宅地化の進行により、地区内の幹線排水路の整備や通学路等の道路整備が喫緊の課題であり、計画的な建物移転等を進めていく。

【市民アンケート】上水道(安全安心な水の安定供給など)の整備の満足度 (%)



担当課
企画課

成果

前回調査時と比較して満足度が0.6ポイント減少した。

課題・方向性

-

【市民アンケート】情報基盤(インターネット環境など)の充実度の満足度 (%)



担当課
企画課

成果

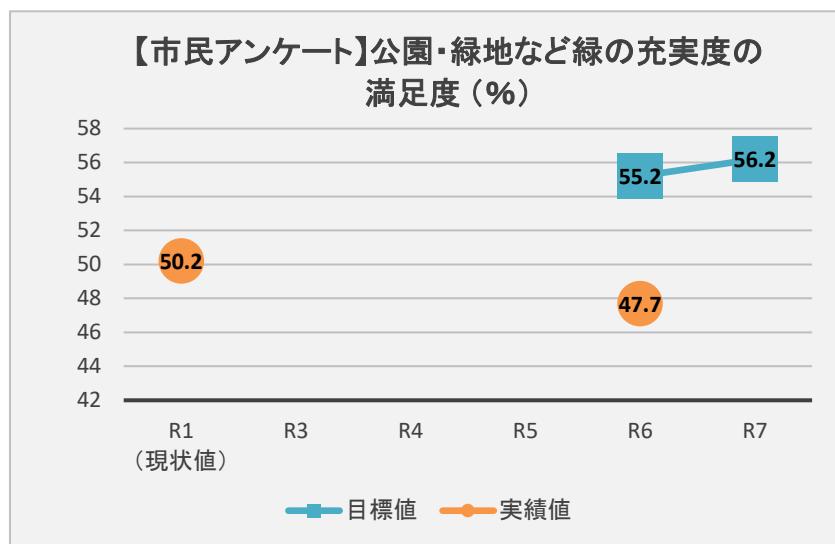
前回調査時と比較して満足度が0.9ポイント增加了。

課題・方向性

-

◆分野26「公園・緑地」

施策目的「花と緑に囲まれ、憩いと安らぎのあふれた、ガーデンシティと言われるまちになる」



担当課
企画課

成果
前回調査時と比較して満足度が2.5ポイント減少した。

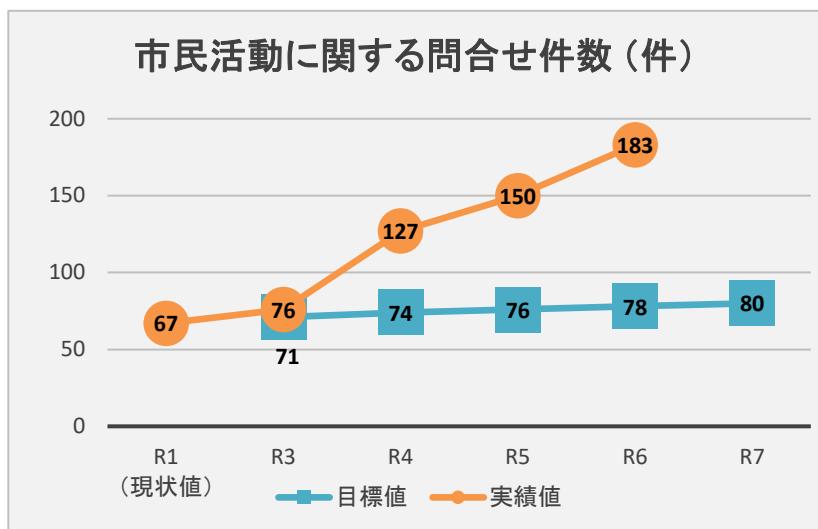
課題・方向性

—

基本目的V【行政経営】公民連携を推進し 地域経営の視点を持つ 持続可能なまち

◆分野27「市民協働」

施策目的「市民と行政が共創して発展できるまちになる」

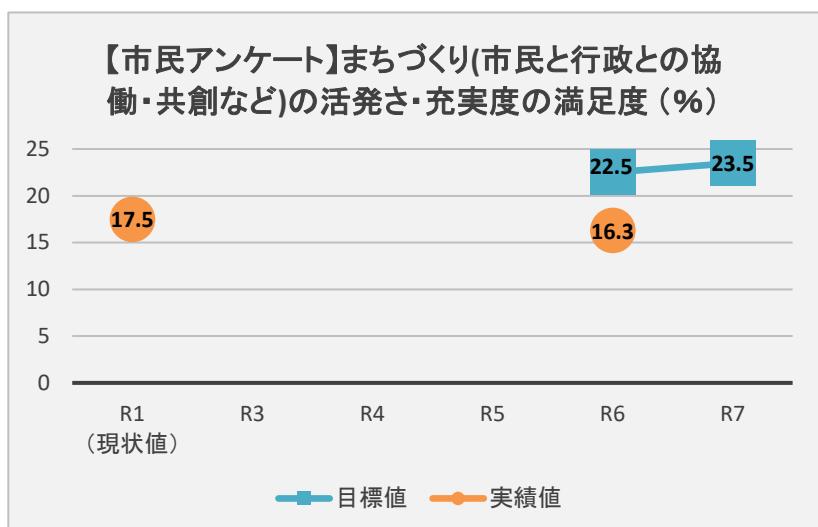


成果

各種イベントやそれにかかるボランティア事業についての問い合わせが増加した。特にボランティア関連の問い合わせが増加しており、社会貢献意識の向上や地域活動への関心が拡大していると捉えている。

課題・方向性

様々な能力や経験を持つ市民が市民活動において活躍できるよう「きっかけづくり・仲間づくり・活躍の場づくり」などの支援を引き続き進める。



成果

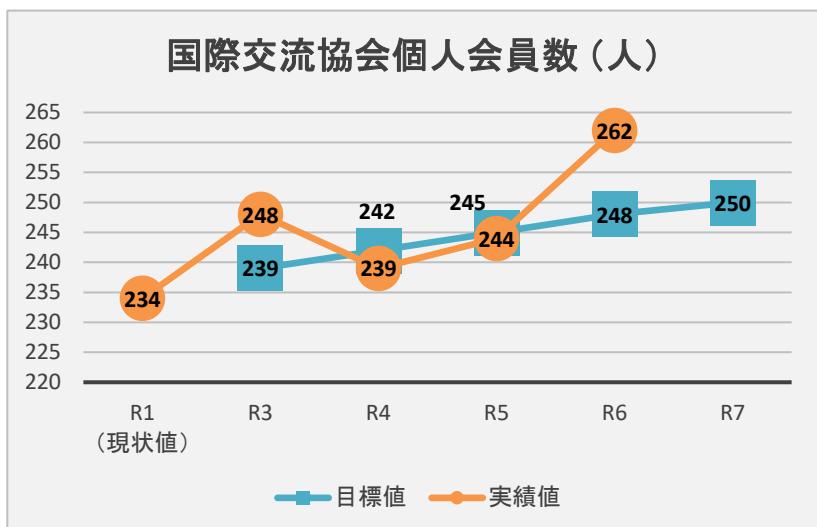
前回調査時と比較して満足度が1.2ポイント減少した。

課題・方向性

—

◆分野28「人権の尊重」

施策目的「市民一人一人の人権が尊重され、誰もが安心して平和に暮らせるまちになる」



担当課

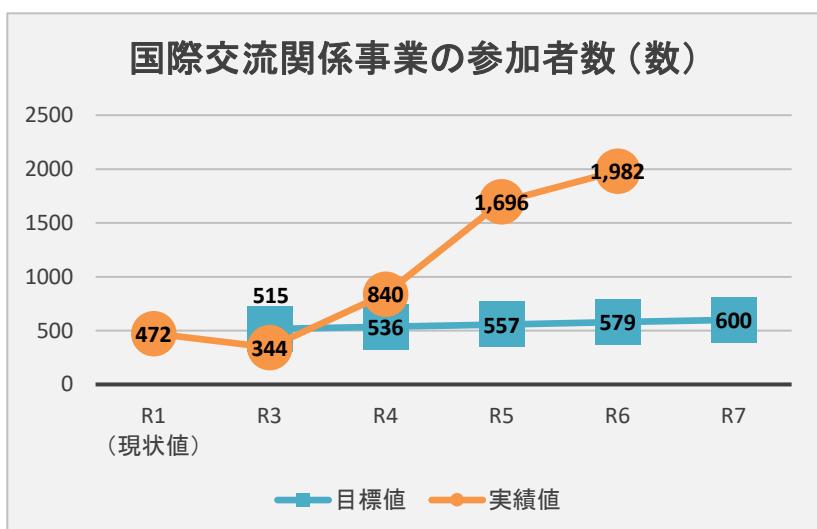
共生社会推進課

成果

定期事業として日本語教室を毎週月・火・木曜日の計4教室及び小・中学生、高校生の学習支援のためのスタディールームを開催するとともに、国際交流まつりや日本語教室研修旅行など交流事業を開催し、会員数の増加につながった。

課題・方向性

外国人住民の増加に伴い、協会の果たす役割は一層重要となっている。安定的に事業を推進するためには、会員数の確保が課題である。今後も情報発信や周知を図るなどして会員を増やしていく。



担当課

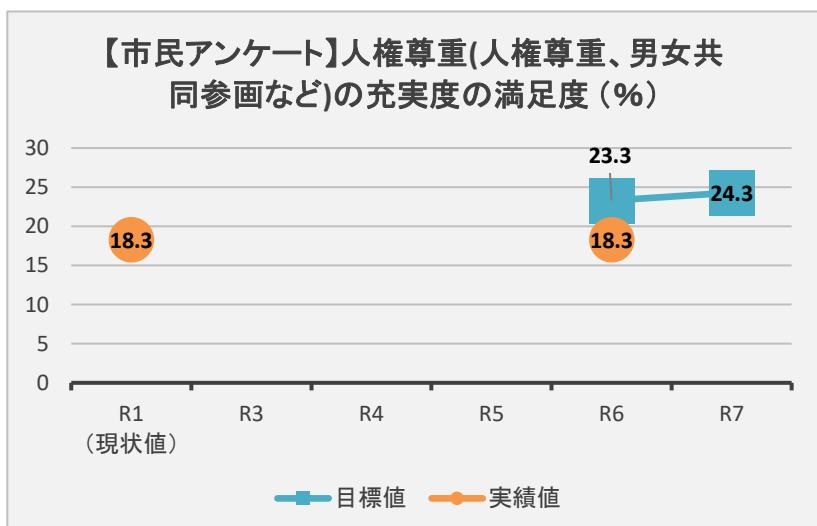
共生社会推進課

成果

通年での日本語教室や、国際交流まつりなどに加え、70周年歓迎事業や公開セミナーなどを実施できたことで、参加者数が増加した。また、国際交流協会の各事業を通じて、文化の違いを学んだり、コミュニケーションを取る機会が増え、多文化共生社会の実現への一助となった。

課題・方向性

外国人住民の増加に伴い、生活習慣や価値観の多様化など多文化共生社会への対応が求められている。日本人も外国人も安心して暮らせる地域を目指し、相互理解のための交流事業や言葉の問題を抱える外国人住民のための日本語教室など、多文化共生の地域づくりを推進していく。



担当課

企画課

成果

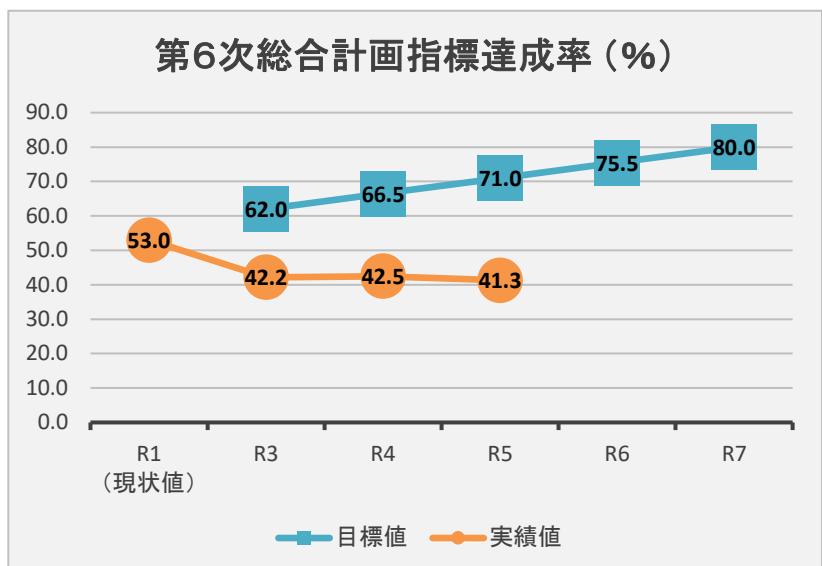
前回調査時から満足度の増減はなかった。

課題・方向性

-

◆分野29「行政活動」

施策目的「時代に対応できる自立した持続可能なまちになる」



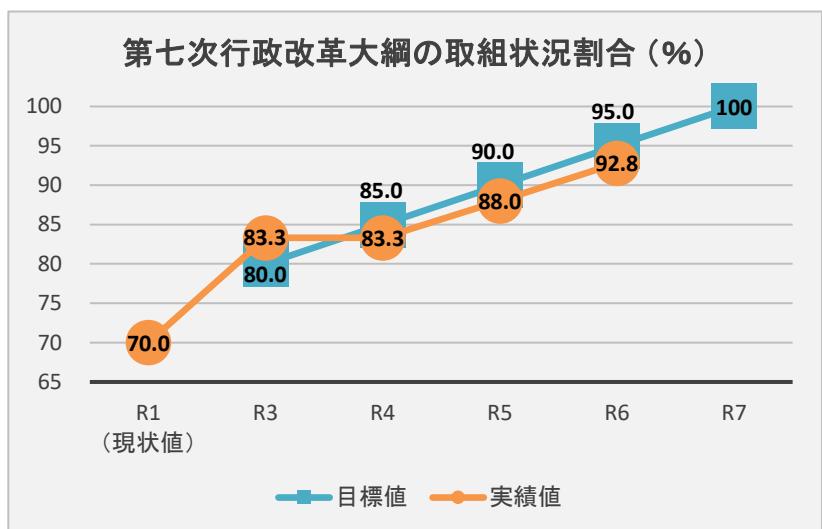
担当課
企画課

成果

全125指標中、出典元となる統計調査等の集計年次でなかった計7指標を除く、計118指標について評価を実施した結果、現状値からの進捗率が80%以上となつたものが37指標であった。

課題・方向性

指標の目標を達成できなかつた事業については、施策の見直しを行うなどの改善を行い、各指標の目標達成に向けて取り組む。また、目標を達成した事業についても、成果の更なる拡大に努める。



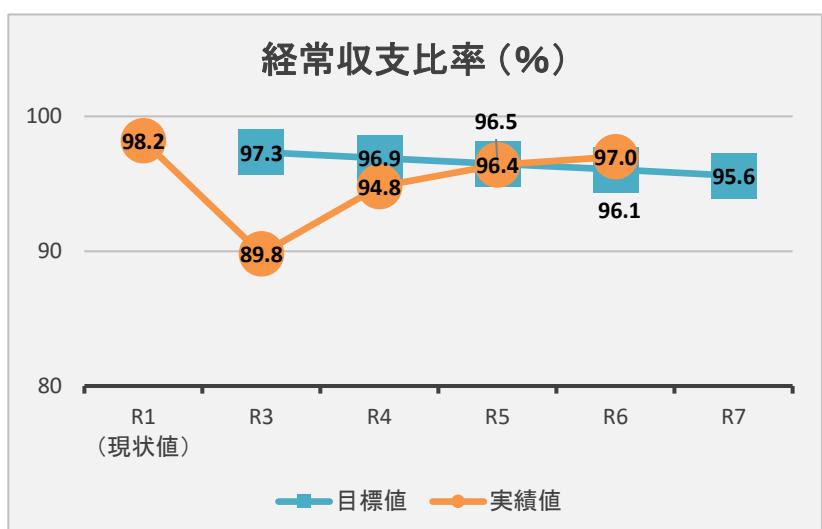
担当課
企画課

成果

全28計画のうち、「実施・完了」又は「継続実施」の計画が20件、予定通りに進んでる計画が6件であり、進捗率が92.8%となり、目標値を下回つた。

課題・方向性

引き続き進捗管理を行うとともに、スケジュールより遅れている計画については、できるだけ早く目標が達成されるよう努める。



担当課
財政課

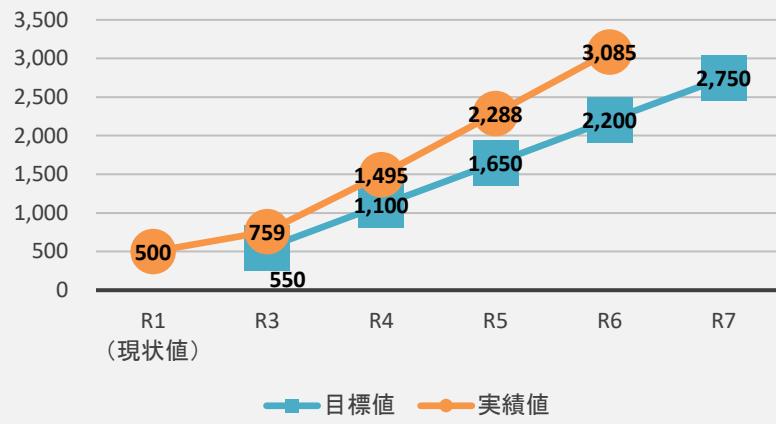
成果

前年度から0.6ポイント増加した(前年度96.4%)

課題・方向性

目標値を達成することができなかつた。今後も公共施設等の維持管理費や社会保障費等の経常経費が上昇していくことが見込まれるため、財政の健全性に留意しつつ、適切な財政運営に取り組んでいく。

資金運用の総合計額(万円)(累計)



担当課
出納室

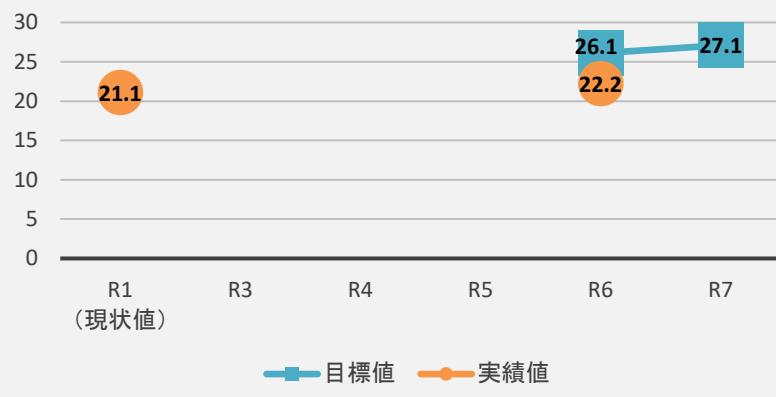
成果

効果的な運用を行うことができた。

課題・方向性

指標については目標値を達成しており、引き続き市況を把握しながら効率的な運用に努める。

【市民アンケート】行政サービス(高品質・迅速・正確なサービスなど)の充実度の満足度(%)



担当課
企画課

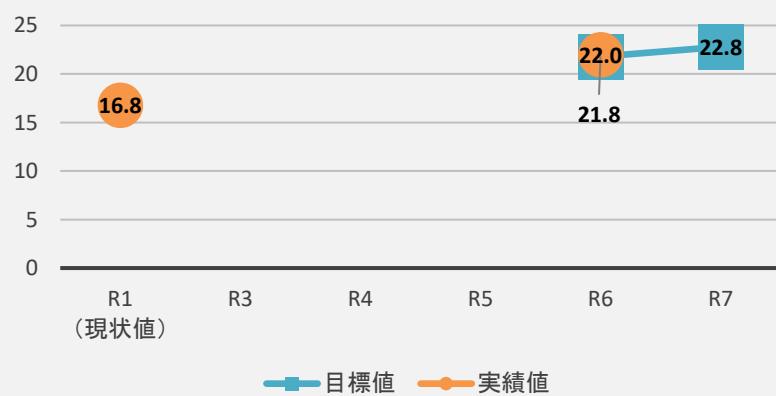
成果

前回調査時と比較して満足度が1.1ポイント增加了。

課題・方向性

-

【市民アンケート】行財政(組織や事務事業などの見直し、健全な財政など)の運営の満足度(%)



担当課
企画課

成果

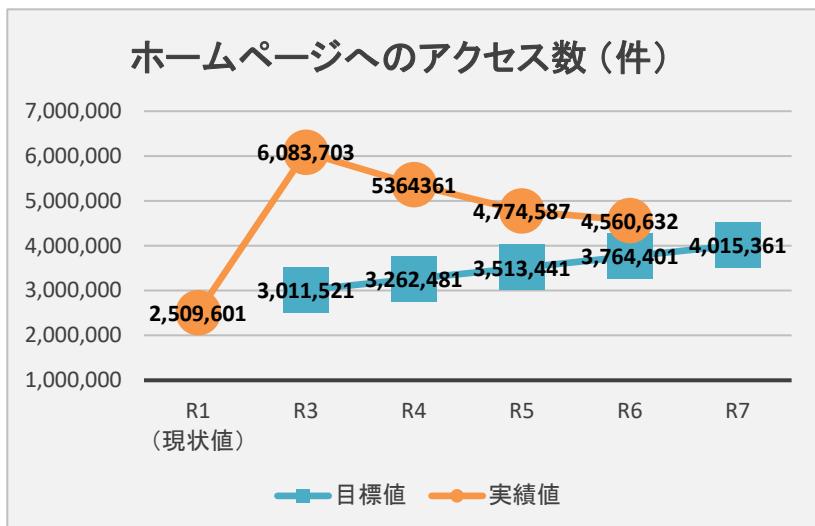
前回調査時と比較して満足度が5.2ポイント增加了。

課題・方向性

-

◆分野30「情報の共有」

施策目的「市政の透明性を高め、誰もがまちへの愛着と誇りのあるまちになる」



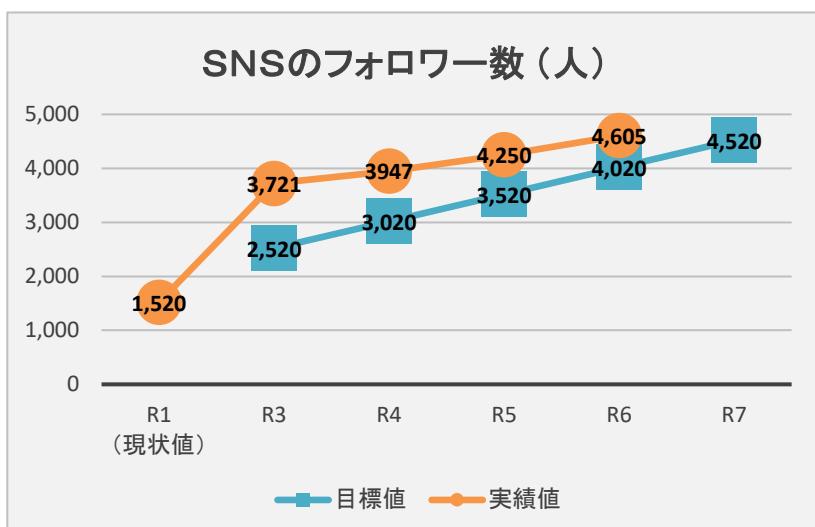
担当課
秘書課

成果

年度目標値(3,764,401件)を上回るとともに、令和7年度目標値にも達している。

課題・方向性

ホームページは、市民など利用者にとって利便性の高い情報手段である。分かりやすいページ作りのほか、早く、正確な情報の提供に努めていく。



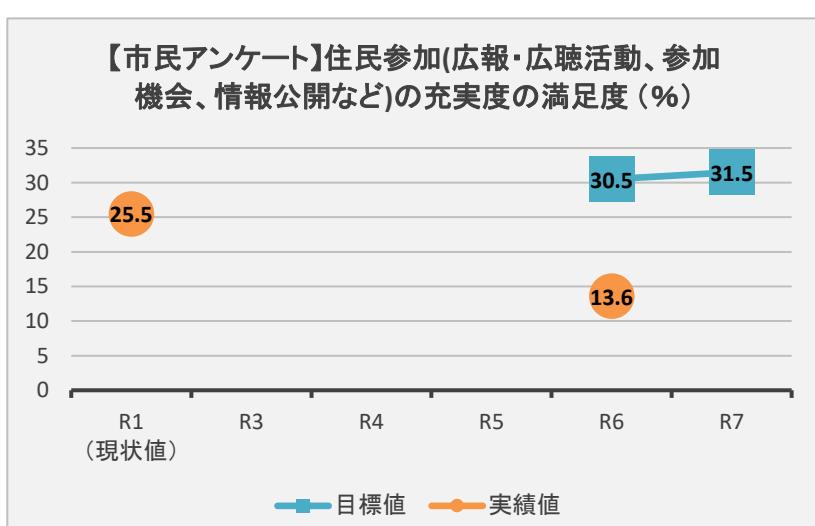
担当課
秘書課

成果

年度目標値(4,020人)を上回るとともに、令和7年度目標値にも達している。

課題・方向性

市ホームページなど他媒体と連動させながら特性を生かした運用を行っていく。



担当課
企画課

成果

前回調査時と比較して満足度が11.9ポイント減少した。

課題・方向性

-